

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2021年2月3日提出
【発行者名】	大和アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松下 浩一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【事務連絡者氏名】	西脇 保宏 連絡場所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
【電話番号】	03-5555-3431
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型) インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型) 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	各ファンドについて、3兆円を上限とし、合計で9兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

第一部 【証券情報】

(1) 【ファンドの名称】

安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

（注1）上記の総称を「ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ（愛称：ミルフィーユ）（奇数月分配型）」とします。

（注2）以下「当ファンド」という場合、上記を総称して、またはそれぞれを指しているものとします。

(2) 【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（契約型）の受益権です。

信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付はありません。また、提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付もありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(3) 【発行(売出)価額の総額】

各ファンドについて、3兆円を上限とし、合計で9兆円を上限とします。

(4) 【発行(売出)価格】

各ファンドについて、1万口当たり取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(5) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%（税抜2.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

(6) 【申込単位】

販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

(7) 【申込期間】

2021年2月4日から2021年8月3日まで（継続申込期間）

（終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）

(8) 【申込取扱場所】

委託会社にお問合わせ下さい。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

- ・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(9) 【払込期日】

受益権の取得申込者は、販売会社が定める期日（くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。）までに、取得申込代金（取得申込金額、申込手数料および申込手数料に対する消費税等に相当する金額の合計額をいいます。以下同じ。）を販売会社において支払うものとします。

販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

(10) 【払込取扱場所】

受益権の取得申込者は、取得申込代金を、申込取扱場所において支払うものとします。申込取扱場所については、前(8)をご参照下さい。

(11) 【振替機関に関する事項】

振替機関は下記のとおりです。

株式会社 証券保管振替機構

(12) 【その他】

受益権の取得申込者は、申込取扱場所において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとしてします。

ニューヨーク証券取引所またはICEフューチャーズ・ヨーロッパのいずれかの休業日と同じ日付の日を申込受付日とする受益権の取得および換金の申込みの受け付けは、行ないません。

申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

委託会社の各営業日（ ）の午後3時までには受け付けた取得および換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日（ ）の取扱いとなります。

（ ）前 の申込受付中止日を除きます。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。取扱い可能なコースについては、販売会社にお問合わせ下さい。なお、コース名は、販売会社により異なる場合があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約を締結します。なお、上記の契約または規定について、別の名称で同様の権利義務関係を規定する契約または規定が用いられることがあり、この場合上記の契約または規定は、当該別の名称に読替えるものとしてします（以下同じ。 ）。

取得申込金額に利息は付きません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとしてします。

ファンドの分配金、償還金、一部解約金は、社振法および上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

(参考)

投資信託振替制度とは、

ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。

・ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行なわれますので、受益証券は発行されません。

第二部 【ファンド情報】

第1 【ファンドの状況】

1 【ファンドの性格】

(1) 【ファンドの目的及び基本的性格】

1. 安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

当ファンドは、内外の公社債、不動産投資信託証券および株式を実質的な主要投資対象とし、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、次のとおりです。

商品分類	単位型投信・追加型投信	追加型投信
	投資対象地域	内外
	投資対象資産(収益の源泉)	資産複合
属性区分	投資対象資産	その他資産（投資信託証券（資産複合 資産配分固定型（株式、債券、不動産投信）））
	決算頻度	年6回（隔月）
	投資対象地域	グローバル（含む日本）
	投資形態	ファミリーファンド
	為替ヘッジ	為替ヘッジなし

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

2. インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

当ファンドは、海外の公社債ならびに内外の不動産投資信託証券および株式を実質的な主要投資対象とし、安定的な配当等収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、「1. 安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じです。

3. 成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

当ファンドは、海外の公社債ならびに内外の不動産投資信託証券および株式を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。一般社団法人投資信託協会による商品分類・属性区分は、「1. 安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じです。

（注1）商品分類の定義

- ・「追加型投信」...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンド
- ・「内外」...目論見書または投資信託約款（以下「目論見書等」といいます。）において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの
- ・「資産複合」...目論見書等において、株式、債券、不動産投信（リート）およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるもの

（注2）属性区分の定義

- ・「その他資産」...組入れている資産
- ・「資産複合 資産配分固定型」...目論見書等において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるもの
- ・「年6回（隔月）」...目論見書等において、年6回決算する旨の記載があるもの
- ・「グローバル」...目論見書等において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるもの
- ・「ファミリーファンド」...目論見書等において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するもの
- ・「為替ヘッジなし」...目論見書等において、為替のヘッジを行なわない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないもの

商品分類表〈各ファンド共通〉

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信	国内	株式
	海外	債券
追加型投信	内外	不動産投信
		その他資産 ()
		資産複合

（注）当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

属性区分表〈各ファンド共通〉

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式				
一般	年1回	グローバル (含む日本)		
大型株				
中小型株	年2回	日本		
債券				
一般	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ()
公債		欧州		
社債	年6回 (隔月)	アジア		
その他債券		オセアニア		
クレジット属性 ()		中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
不動産投信	年12回 (毎月)	アフリカ		
その他資産 (投資信託証券 (資産複合 資産配分固定型) (株式、債券、不動産投信))	日々	中近東 (中東)		
資産複合 ()	その他 ()	エマージング		
資産配分固定型				
資産配分変更型				

（注）当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

商品分類・属性区分の定義について、くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ（アドレス <http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

上記1.～3.は、「ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ（愛称：ミルフィーユ）（奇数月分配型）」を構成します。

各ファンドの名称について、次のとおり略称を用いることがあります。

ファンドの名称	略称
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	安定重視ポートフォリオ
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	インカム重視ポートフォリオ
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	成長重視ポートフォリオ

< 信託金の限度額 >

- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、各ファンドについて1兆円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は、受託会社と合意のうえ、限度額を変更することができます。

< ファンドの特色 >

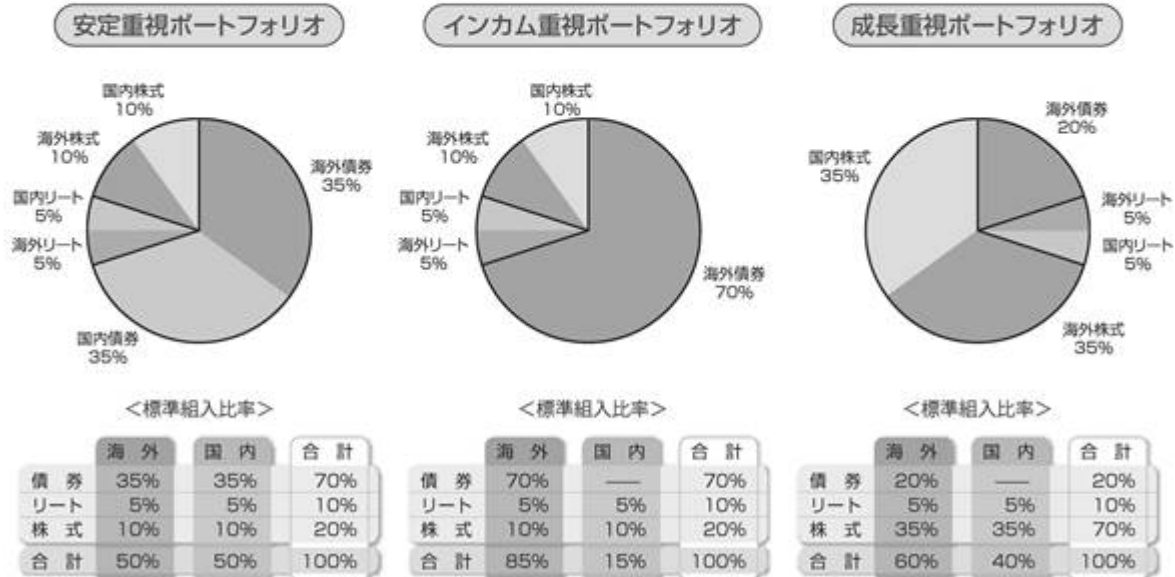
1

内外の債券、リートおよび株式に投資します^(注)。

(注)「インカム重視ポートフォリオ」および「成長重視ポートフォリオ」は、「わが国の債券」に投資しません。

資産配分のイメージ

各ファンド（安定重視ポートフォリオ／インカム重視ポートフォリオ／成長重視ポートフォリオ）における各資産の組入比率については、それぞれ下記の標準組入比率を目処とします。



※上記はイメージであり、実際の組入比率とは異なります。

※市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。

ファンドの仕組み

●当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



(注1) 「インカム重視ポートフォリオ」および「成長重視ポートフォリオ」については、「ダイワ日本国債マザーファンド」を除きます。

(注2) 「インカム重視ポートフォリオ」および「成長重視ポートフォリオ」については、「わが国の国債」を除きます。

2

海外の債券への投資にあたっては、ソブリン債等に投資します。

※「ソブリン債等」とは、国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債などをいいます。

- ドル通貨圏（米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等）、欧州通貨圏（ユーロ、ポンド、北欧通貨および東欧通貨等）の2つの通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。
- ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします。

ポートフォリオのイメージ

ドル通貨圏：50%程度 欧州通貨圏：50%程度



※北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ

※東欧通貨：ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、チェコ・コルナ等

※欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。

(注) 上記はイメージであり、実際の投資割合が上記のとおりとなるとは限りません。

- 国債の格付けは、取得時においてA格相当以上^{※1}、国債以外の格付けは、取得時においてAA格相当以上^{※2}とすることを基本とします。

債券の格付けについて



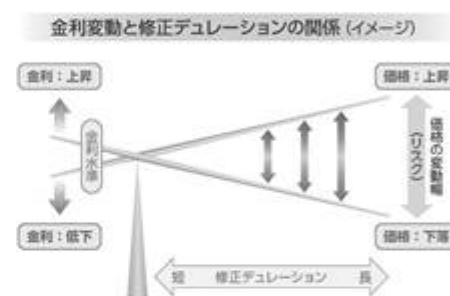
債券の格付けとは、償還時までの債券の元本、利息の支払いの確実性に関する将来の見通しを示すもので、ムーディーズ (Moody's) やS&Pグローバル・レーティング (S&P) といった格付会社が各債券の格付けを行なっています。付与された格付けは、随時見直しが行なわれ、発行体の財務状況の変化などによって格上げや格下げが行なわれることがあります。

- ※1 ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上
- ※2 ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上

- ポートフォリオの修正デュレーションは5 (年) 程度から10 (年) 程度の範囲を基本とします。

修正デュレーションについて

- 修正デュレーションとは、「金利が変動したときに債券価格がどのくらい変化するか」を示す指標です。
- 修正デュレーションが長いほど、金利が変動したときの債券価格の変動（ブレ幅）が大きくなります。

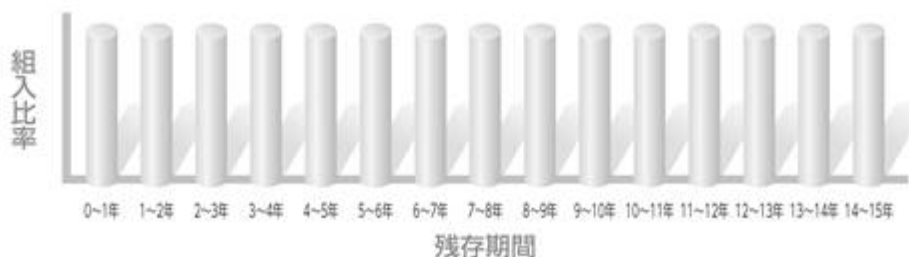


- 金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。

3 わが国の国債への投資にあたっては、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。

- 原則として、最長15年程度までの国債を、各残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

残存期間ごとの組入イメージ



※上記はイメージであり、実際の組入比率とは異なります。

- ダイワ日本国債マザーファンドにおいて、国債の組入れは原則として高位を保ちます。
- 運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、債券の組入総額ならびに債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

4

内外のリートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。

- わが国のリートへの投資にあたっては、個別銘柄の組入不動産の種類等を考慮します。
- 海外のリートへの投資にあたっては、組入れる銘柄の業種および国・地域配分の分散を考慮します。
- 海外のリーートの運用は、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクが行ないます。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。

海外のリーートの投資対象地域 (イメージ)



投資対象銘柄の業種 (イメージ)



※上記はイメージであり、実際に投資するとは限りません。

5

海外の株式への投資にあたっては、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮します。

- 北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に分散します。

投資対象の地域別構成 (イメージ)



投資対象のイメージ



- ◆北米の株式の運用は、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクが行ないます。

ダイワ北米好配当株マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。

- ◆北米の株式への投資にあたっては、株式のほかハイブリッド優先証券[®]を主要投資対象とします。

※ハイブリッド優先証券とは…

- ・株式と債券の両方の性質を併せ持った証券です。
- ・弁済順位は、株式と債券の中間の位置付けとなります。

〈コーヘン&ステアーズ・キャピタル・マネジメント・インクについて〉

- 米国最初のリート専門の運用会社として1986年7月に設立。
- 優先リートを含むハイブリッド証券などのインカム資産に加え、インフラ株といった実物資産クラスの運用を展開。
- リート運用では最大級の資産規模。
- ワールドワイドなリサーチ力と運用力を有する。
- 所在地：アメリカ合衆国 ニューヨーク州 ニューヨーク

◆欧州の株式の運用は、アムンディ・アイルランド・リミテッドが行ないます。

ダイワ欧州好配当株マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランド・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

〈アムンディ・アイルランド・リミテッドについて〉

アムンディ・アイルランド・リミテッドは、運用資産額で欧州および世界でトップクラスに入るフランスの資産運用会社アムンディ・グループの主要運用拠点のひとつで、アイルランド（ダブリン市）に所在します。

6

わが国の株式への投資にあたっては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、成長性、企業のファンダメンタルズ、株価の割安性等に着目し、投資銘柄を選定します。

投資対象のイメージ



※配当利回り：株式投資を行なう際に用いられる株式の投資価値を測る指標のひとつです。個別銘柄の配当利回りから株価の割安度の測定や、株式市場全体の配当利回りと市場金利を比較して、株価水準の妥当性の測定などを行なうことができます。

$$\text{配当利回り (\%)} = (\text{1株当たり年間配当金} \div \text{株価}) \times 100$$

銘柄選定プロセス



定量・定性分析による銘柄選定

予想配当利回り、
成長性、企業のファンダメンタルズ、
株価の割安性 等

• 保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

• 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.～6.の運用が行なわれないことがあります。

7

毎年、奇数月（1、3、5、7、9、11月）の各10日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

〈分配方針〉

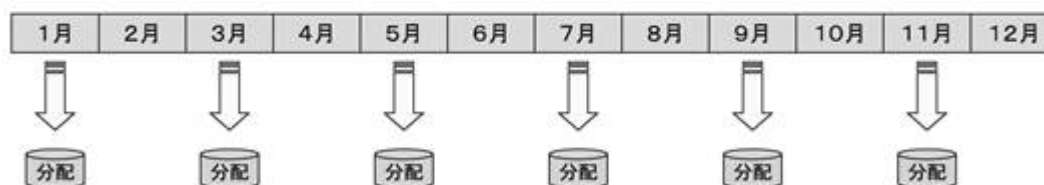
〔安定重視ポートフォリオ／成長重視ポートフォリオ〕

- 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- 原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続して行なうことをめざします。基準価額の水準等によっては、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

〔インカム重視ポートフォリオ〕

- 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- 原則として、配当等収益等を中心に継続した分配を行なうことをめざします。基準価額の水準等によっては、今後の分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

収益分配のイメージ



- 上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

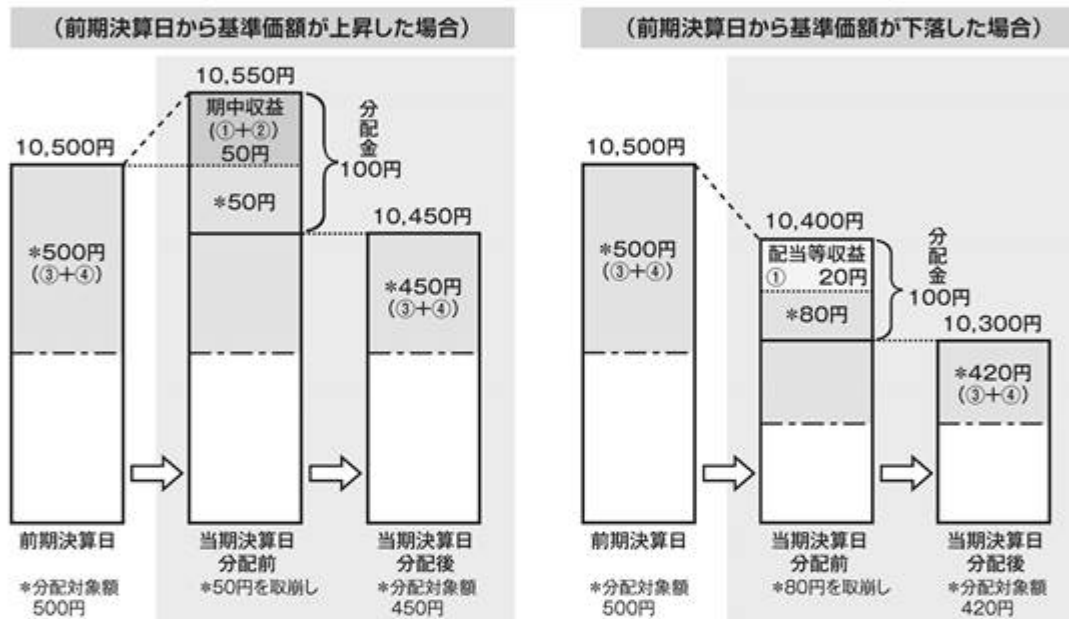
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が
支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）



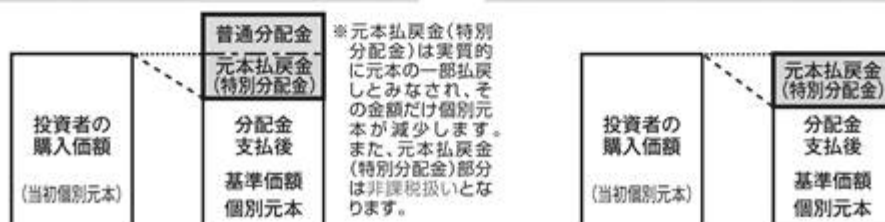
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。

（分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合）

（分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合）



普通分配金 … 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 … 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ(特別分配金)減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、「4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご参照下さい。

(2) 【ファンドの沿革】

2005年11月14日

信託契約締結、当初自己設定、運用開始

(3) 【ファンドの仕組み】

受益者

お申込者

収益分配金(注1)、償還金など お申込金(5)

お取扱窓口	販売会社	<p>受益権の募集・販売の取扱い等に関する委託会社との契約(1)に基づき、次の業務を行ないます。</p> <p>受益権の募集の取扱い 一部解約請求に関する事務 収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務 など</p>
-------	------	--

1

収益分配金、償還金など お申込金(5)

委託会社	大和アセットマネジメント株式会社	<p>当ファンドにかかる証券投資信託契約(以下「信託契約」といいます。)(2)の委託者であり、次の業務を行ないます。</p> <p>受益権の募集・発行 信託財産の運用指図 信託財産の計算 運用報告書の作成 など</p>
------	------------------	---

運用指図

2

損益 信託金(5)

受託会社	<p>三井住友信託銀行株式会社</p> <p>再信託受託会社：株式会社日本カストディ銀行</p>	<p>信託契約(2)の受託者であり、次の業務を行ないます。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。また、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。</p> <p>委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分 信託財産の計算 など</p>
------	--	---

損益 投資

投資対象	<p>内外の公社債、不動産投資信託証券および株式 など</p> <p>ファミリーファンド方式で運用を行ないます。</p> <p>なお、次の各マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、投資顧問会社(注2)に運用の指図にかかる権限を委託します(カッコ内は投資顧問会社名)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド(コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク) ・ダイワ北米好配当株マザーファンド(コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク) ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド(アムンディ・アイルランド・リミテッド)
------	--

(注1)「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は自動的に再投資されます。

(注2)投資顧問会社は、委託会社との間の運用委託契約(3)に基づき、委託会社から権限の委託を受けて、各マザーファンドにおける外貨建資産の運用の指図を行ないます(4)。

1：受益権の募集の取扱い、一部解約請求に関する事務、収益分配金、償還金、一部解約金の支払いに関する事務の内容等が規定されています。

- 2: 「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づいて、あらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容に基づき締結されます。証券投資信託の運営に関する事項(運用方針、委託会社および受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬、信託期間等)が規定されています。
- 3: 運用指図権限委託の内容およびこれにかかる事務の内容、投資顧問会社が受ける報酬等が定められています。
- 4: 投資顧問会社が法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託会社は、運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更することができます。
- 5: 販売会社は、各取得申込受付日における取得申込金額の総額に相当する金額を、追加信託が行なわれる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払込みます。

委託会社および受託会社は、それぞれの業務に対する報酬を信託財産から収受します。また、販売会社には、委託会社から業務に対する代行手数料が支払われます。

< 委託会社の概況(2020年11月末日現在) >

・ 資本金の額 151億7,427万2,500円

・ 沿革

1959年12月12日	大和証券投資信託委託株式会社として設立
1960年 2月17日	「証券投資信託法」に基づく証券投資信託の委託会社の免許取得
1960年 4月 1日	営業開始
1985年11月 8日	投資助言・情報提供業務に関する兼業承認を受ける。
1995年 5月31日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づき投資顧問業の登録を受ける。
1995年 9月14日	「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」に基づく投資一任契約にかかる業務の認可を受ける。
2007年 9月30日	「金融商品取引法」の施行に伴い、同法第29条の登録を受けたものとみなされる。 (金融商品取引業者登録番号: 関東財務局長(金商)第352号)
2020年 4月 1日	大和アセットマネジメント株式会社に商号変更

・ 大株主の状況

名称	住所	所有 株式数	比率
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	株 2,608,525	% 100.00

2 【投資方針】

(1) 【投資方針】

主要投資対象

下記の各マザーファンド(以下総称して「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。

1. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券

2. ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券（安定重視ポートフォリオのみ）
3. ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券
4. ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券
5. ダイワ北米好配当株マザーファンドの受益証券
6. ダイワ欧州好配当株マザーファンドの受益証券
7. ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンドの受益証券
8. ダイワ好配当日本株マザーファンドの受益証券

投資態度

<安定重視ポートフォリオ>

イ. 主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ロ. 各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率を目処に投資を行ないません。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の35%

ダイワ日本国債マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の35%

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワ北米好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ欧州好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ好配当日本株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の10%

ハ. 保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。なお、保有外貨建資産の売買代金、償還金、利金等の受取りまたは支払いにかかる為替予約等を行なうことができるものとします。

ニ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<インカム重視ポートフォリオ>

イ. 主として、マザーファンドを通じて海外の公社債ならびに内外の不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の成長をめざします。

ロ. 各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率を目処に投資を行ないません。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の70%

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワ北米好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ欧州好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の3.3%

ダイワ好配当日本株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の10%

ハ. ~ニ.（安定重視ポートフォリオと同規定）

<成長重視ポートフォリオ>

イ．主として、マザーファンドを通じて海外の公社債ならびに内外の不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、配当等収益の確保と値上がり益の獲得により、信託財産の成長をめざします。

ロ．各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率を目処に投資を行ないません。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の20%

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の5%

ダイワ北米好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の11.6%

ダイワ欧州好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の11.6%

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の11.6%

ダイワ好配当日本株マザーファンドの受益証券...信託財産の純資産総額の35%

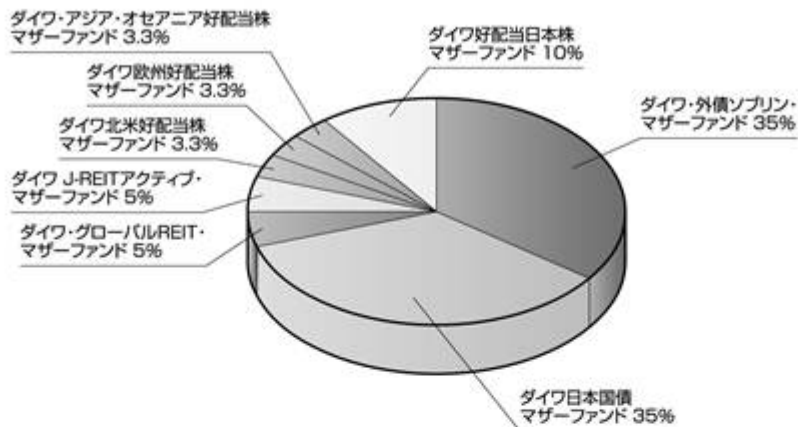
ハ．～ニ．（安定重視ポートフォリオと同規定）

〈各マザーファンドの標準組入比率について〉

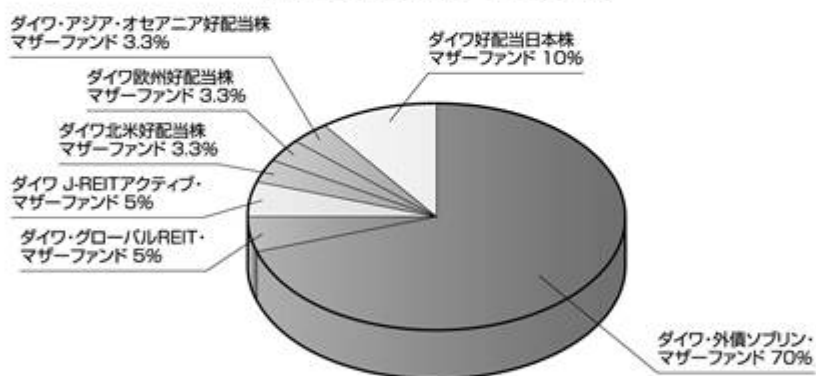
各ファンド(安定重視ポートフォリオ/インカム重視ポートフォリオ/成長重視ポートフォリオ)における各マザーファンドの受益証券の組入比率については、それぞれ下記の標準組入比率を目処に投資を行ないます。

ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。

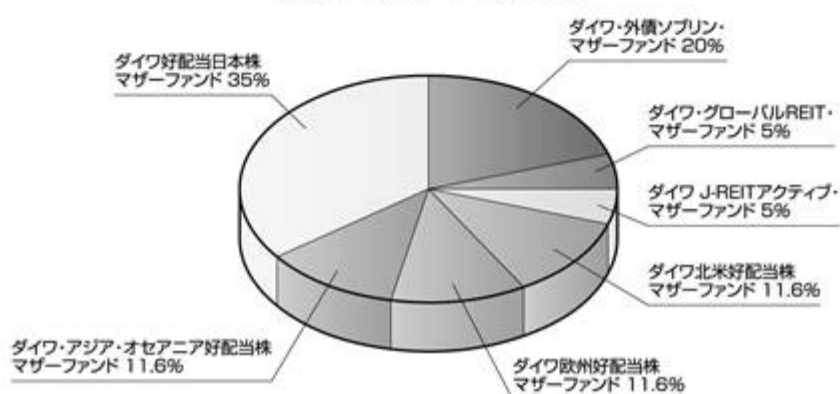
〈安定重視ポートフォリオ〉



〈インカム重視ポートフォリオ〉



〈成長重視ポートフォリオ〉



(2) 【投資対象】

〈各ファンド共通〉

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．約束手形

ハ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、大和アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結されたマザーファンドの受益証券、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.の証券または証書の性質を有するもの

3. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

4. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金

2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）

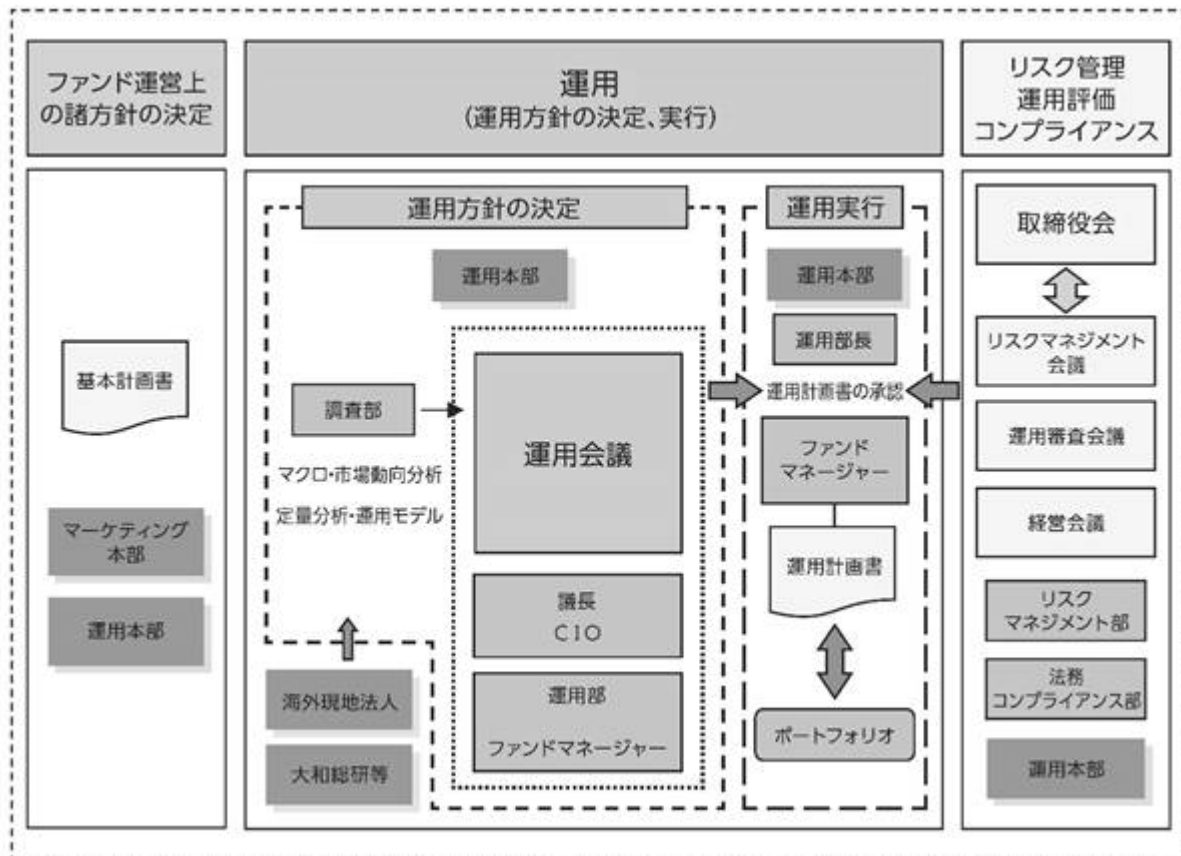
3. コール・ローン

4. 手形割引市場において売買される手形

(3) 【運用体制】

運用体制

ファンドの運用体制は、以下のとおりとなっています。



運用方針の決定にかかる過程

運用方針は次の過程を経て決定しております。

イ．基本計画書の策定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を商品担当役員の決裁により決定します。

ロ．基本的な運用方針の決定

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ハ．運用計画書の作成・承認

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

職務権限

ファンド運用の意思決定機能を担う運用本部において、各職位の主たる職務権限は、社内規則によって、次のように定められています。

イ．CIO (Chief Investment Officer) (3名)

運用最高責任者として、次の職務を遂行します。

- ・基本的な運用方針の決定
- ・その他ファンドの運用に関する重要事項の決定

ロ．Deputy-CIO (0~5名程度)

CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ハ．インベストメント・オフィサー (0~5名程度)

CIOおよびDeputy-CIOを補佐し、その指揮を受け、職務を遂行します。

ニ．運用部長（各運用部に1名）

ファンドマネージャーが策定する運用計画を決定します。

ホ．運用チームリーダー

ファンドの基本的な運用方針を策定します。

ヘ．ファンドマネージャー

ファンドの運用計画を策定して、これに沿ってポートフォリオを構築します。

運用審査会議、リスクマネジメント会議および経営会議

次のとおり各会議体において必要な報告・審議等を行なっています。これら会議体の事務局となる内部管理関連部門の人員は25～35名程度です。

イ．運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

ロ．リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

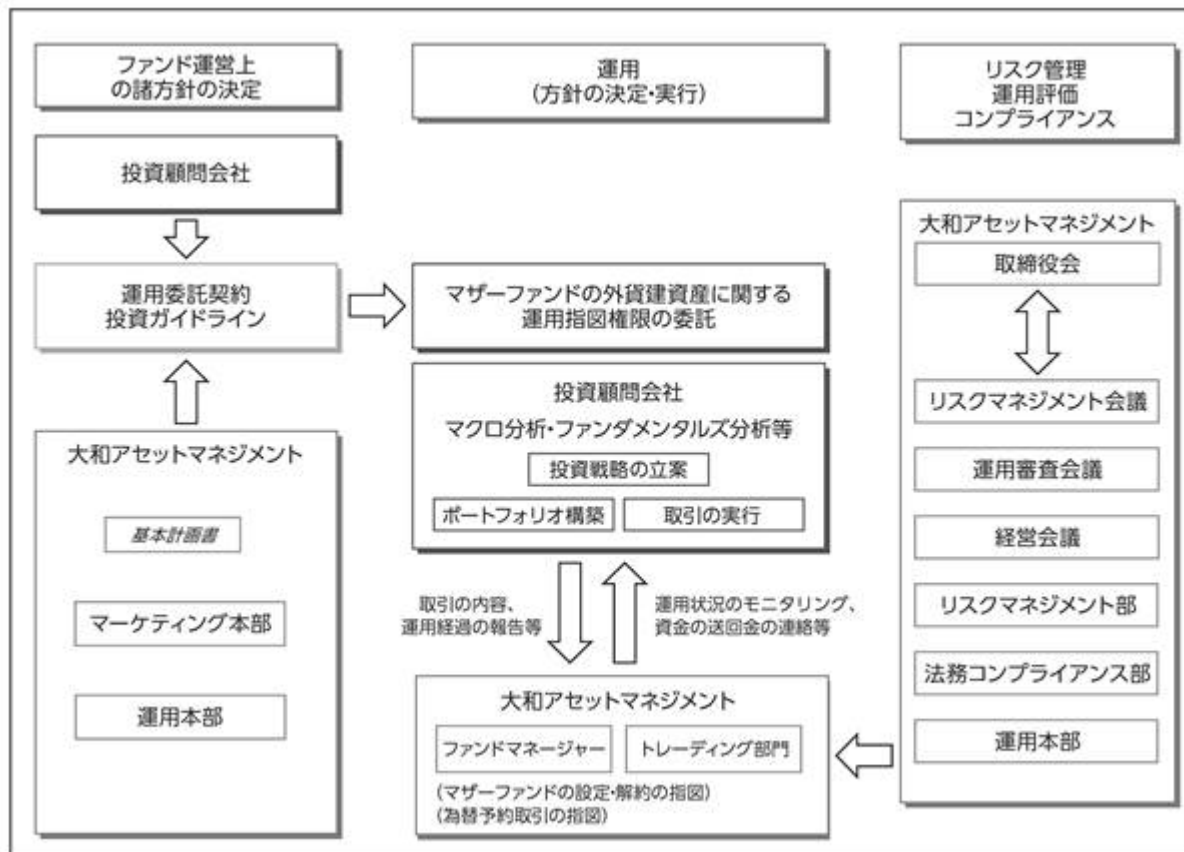
ハ．経営会議

法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

受託会社に対する管理体制

受託会社に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行なっています。また、受託会社より内部統制の整備および運用状況の報告書を受け取っています。

海外リート、海外（北米）株式および海外（欧州）株式にかかる運用体制について（マザーファンドにかかるものを含みます。）



イ．ファンド運営上の諸方針の決定

ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を商品担当役員の決裁により決定します。なお、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、「ダイワ北米好配当株マザーファンド」および「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」では、投資顧問会社に外貨建資産の運用の指図にかかる権限を委託します。このため、当該投資顧問会社と委託会社の間で締結する運用委託契約に基づく投資ガイドラインに、このファンド運営上の諸方針が反映されます。

ロ．運用の実行

投資顧問会社は、投資ガイドラインに基づき、投資戦略の立案、ポートフォリオ構築を行ない、取引を実行します。

ハ．モニタリング

委託会社は、投資顧問会社との間で取引の内容、運用経過の報告等を受け、資金動向等について必要な連絡を取るとともに、運用の状況、投資ガイドラインの遵守状況等をモニタリングします。

また、定期的なアンケートの実施およびコンプライアンスレポートの徴求により、運用体制、管理体制、コンプライアンス体制等についての報告を受けています。さらに、現地訪問による調査も行なっています。

ニ．リスク管理、運用評価、コンプライアンス

(前 に同じ。)

上記の運用体制は2020年11月末日現在のものであり、変更となる場合があります。

(4) 【分配方針】

<安定重視ポートフォリオ/成長重視ポートフォリオ>

分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。

原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続して行なうことをめざします。基準価額の水準等によっては、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益(評価益を含みます。)等を中心に分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

留保益は、前(1)に基づいて運用します。

<インカム重視ポートフォリオ>

(安定重視ポートフォリオ/成長重視ポートフォリオと同規定)

原則として、配当等収益等を中心に継続した分配を行なうことをめざします。基準価額の水準等によっては、今後の分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益(評価益を含みます。)等を中心に分配を行ないません。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。

(安定重視ポートフォリオ/成長重視ポートフォリオと同規定)

(5)【投資制限】

<各ファンド共通>

株式(信託約款)

株式への直接投資は、行ないません。

外貨建資産(信託約款)

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限(信託約款)

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引(信託約款)

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額(信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。)との合計額について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約を指図することができます。

信用リスク集中回避(信託約款)

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

資金の借入れ(信託約款)

イ. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コー

ル市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

ロ．一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または解約代金の入金日までの間、もしくは償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は、借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

ハ．収益分配金の再投資にかかる借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

二．借入金の利息は信託財産中から支弁します。

<参考> マザーファンドの概要

1. ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

(1) 投資方針

主要投資対象

内外の公社債等を主要投資対象とします。

投資態度

イ．主として海外のソブリン債等（国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債など）に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

ロ．海外のソブリン債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。

ア．米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等をドル通貨圏、ユーロ、ポンド、北欧通貨および東欧通貨等を欧州通貨圏とし、2通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。

北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ

東欧通貨：ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、チェコ・コルナ等

イ．ドル通貨圏内では米ドルへの投資割合を50%程度、欧州通貨圏内ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします（ただし、欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。）。

ロ．国債については、取得時においてA格相当以上（ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上）とすることを基本とします。国債を除く投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上（ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上）とすることを基本とします。

ハ．ポートフォリオの修正デュレーションは5（年）程度から10（年）程度の範囲を基本とします。

ニ．金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建の国債先物取引等を利用することがあります。

ホ．為替については、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建資産の投資比率合計を、信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。

二．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

(2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．転換社債の転換、新株予約権（新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．特定目的会社にかかる特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

7．コマーシャル・ペーパー

8．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前7.までの証券または証書の性質を有するもの

9．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

10．投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

11．外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

12．預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

13．外国法人が発行する譲渡性預金証書

14．指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

15. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

16. 外国の者に対する権利で前15.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書、前8.ならびに前12.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券および前8.ならびに前12.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前9.の証券および前10.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

(3) 主な投資制限

株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）の行使等により取得したものに限り、

株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

先物取引等

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号イもしくは同項第5号の取引を行なう市場および当該市場を開設するものをいいます。以下同じ。）における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

ロ．委託会社は、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。

ハ．委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

- ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとし、ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとし、なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとし、
- ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとし、
- ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとし、
- 金利先渡取引および為替先渡取引
- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとし、ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品の時価総額を超えないものとし、なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとし、
- ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとし、なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとし、
- ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとし、
- ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとし、

2. ダイワ日本国債マザーファンド

(1) 投資方針

主要投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

投資態度

- イ．主としてわが国の国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。
- ロ．わが国の国債への投資にあたっては、原則として、最長15年程度までの国債を、各残存期間毎の投資金額がほぼ同程度となるように組入れます。

ハ．国債の組入れは原則として高位を保ちます。

ニ．運用の効率化を図るため、債券先物取引等を利用することがあります。このため、公社債の組入総額ならびに債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ホ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

(2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

2.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. 転換社債の転換、新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使、社債権者割当または株主割当により取得した株券または新株引受権証書

2.～16.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

なお、前1.の証券または証書、前8.ならびに前12.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券および前8.ならびに前12.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前9.の証券および前10.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

(3) 主な投資制限

（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

外貨建資産への投資は、行ないません。

先物取引等

イ.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

ロ.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドのハ.と同規定）

スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

ロ.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

ハ.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

ニ. スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ.（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

金利先渡取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．（ダイワ・外債ソブリン・マザーファンドと同規定）

ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

3. ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

(1) 投資方針

主要投資対象

海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）および店頭登録（登録予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。

投資態度

イ．海外の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして分散投資を行ないます。

ロ．投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。

(a) 個別銘柄の投資価値を分析して、銘柄ごとの配当利回り、期待される成長性、相対的な割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。

(b) 組入れる銘柄の業種および国・地域配分の分散を考慮します。

ハ．外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。

ニ．不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。

ホ．外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

ヘ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

(2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．約束手形

ハ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.の証券または証書の性質を有するもの
3. 外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
4. 外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
5. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
6. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、前3.の証券および前4.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

(3) 主な投資制限

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(4) 運用指図権限の委託

委託会社は、運用の指図に関する権限のうち、外貨建資産の運用に関する権限を次の者に委託します。

コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

New York, New York, USA

前 の規定にかかわらず、前 により委託を受けた者が、法律に違反した場合、信託契約に違反した場合、信託財産に重大な損失を生ぜしめた場合等において、委託会社は、運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更することができます。

4. **ダイワJ - REITアクティブ・マザーファンド**

(1) 投資方針

主要投資対象

わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。以下同じ。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（以下総称して「不動産投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。

投資態度

イ．わが国の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。

ロ．投資にあたっては、以下の方針に従って行なうことを基本とします。

(a) 個別銘柄の投資価値を分析して、銘柄ごとの配当利回り、期待される成長性、相対的な割安度などを勘案し投資銘柄を選定します。

(b) 個別銘柄の組入不動産の種類等を考慮します。

八．不動産投資信託証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。

二．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

(2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産(本邦通貨表示のものに限ります。)の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。)

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利(金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)に定めるものに限ります。)

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図することができます。

1．コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

2．投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)

3．投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)

4．新投資口予約権証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいい、不動産投資信託証券にかかる投資法人より発行されたものに限ります。)

5．指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

なお、前2.の証券および前3.の証券を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1．預金

2．指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

3．コール・ローン

4．手形割引市場において売買される手形

(3) 主な投資制限

株式への直接投資は、行ないません。

投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。

同一銘柄の不動産投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

先物取引

委託会社は、わが国の金融商品取引所における不動産投信指数先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号口に掲げるものであって、不動産投信指数を対象とするものをいいます。)および外国の金融商品取引所におけるこの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建の指図は、建玉の合計額が、組入有価証券の時価総額の範囲内とします。
2. 先物取引の買建の指図は、建玉の合計額が、有価証券の組入可能額(組入有価証券を差し引いた額)に信託財産が限月までに受取る組入公社債、組入外国貸付債権信託受益証券、組入貸付債権信託受益権、組入抵当証券および組入指定金銭信託の受益証券の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに前(2)の1.から4.までに掲げる金融商品で運用している額(以下「金融商品運用額等」といいます。)の範囲内とします。

5. ダイワ北米好配当株マザーファンド

6. ダイワ欧州好配当株マザーファンド

7. ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

(1) 投資方針

<ダイワ北米好配当株マザーファンド>

主要投資対象

北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券(上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。)を主要投資対象とします。

投資態度

- イ. 主として、北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券を主要投資対象として、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ロ. 銘柄の選定にあたっては、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮します。
- ハ. 外貨建資産の運用にあたっては、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに運用の指図にかかる権限を委託します。
- ニ. 株式およびハイブリッド優先証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上とすることを基本とします。
- ホ. 保有外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。なお、保有外貨建資産の売買代金、償還金、利金等の受取りまたは支払いにかかる為替予約等を行なうことができるものとします。
- ヘ. 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

<ダイワ欧州好配当株マザーファンド>

主要投資対象

欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。)を主要投資対象とします。

投資態度

イ．主として、欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象として、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。

ロ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

ハ．外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランド・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

ニ．株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上とすることを基本とします。

ホ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

ヘ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

<ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド>

主要投資対象

アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。

投資態度

イ．主として、アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象として、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。

ロ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

ハ．（ダイワ欧州好配当株マザーファンドのニ．と同規定）

ニ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドのホ．と同規定）

ホ．（ダイワ北米好配当株マザーファンドのヘ．と同規定）

(2) 投資対象

<ダイワ北米好配当株マザーファンド>

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限りません。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．外国通貨表示の株券または新株引受権証券

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6. 特定目的会社にかかる特定社債券(金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。)
7. 特別の法律により設立された法人の発行する出資証券(金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。)
8. 協同組織金融機関にかかる優先出資証券(金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。)
9. 特定目的会社にかかる優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券(金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。)
10. コマーシャル・ペーパー
11. 外国通貨表示の新株引受権証券(分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。)および新株予約権証券
12. 外国の者の発行する証券または証書で、前1.または前5.の証券または証書の性質を有するハイブリッド優先証券
13. 前12.以外の外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの
14. 投資信託または外国投資信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。)
15. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券(金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。)
16. 外国貸付債権信託受益証券(金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。)
17. 預託証書(金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。)
18. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
19. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)
20. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
21. 外国の者に対する権利で前20.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書、前12.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するもの、および前13.ならびに前17.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券、前12.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券または証書の性質を有するもの、および前13.ならびに前17.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前14.の証券および前15.の証券(投資法人債券を除きます。)を以下「投資信託証券」といいます。

委託会社は、信託金を、前 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形
5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
6. 外国の者に対する権利で前5.の権利の性質を有するもの

<ダイワ欧州好配当株マザーファンド>

<ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド>

（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1.～11.（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

12. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前1.から前11.までの証券または証書の性質を有するもの

13. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）

14. 投資証券、投資法人債券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）

15. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）

16. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）

17. 外国法人が発行する譲渡性預金証書

18. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

19. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの

20. 外国の者に対する権利で前19.の有価証券の性質を有するもの

なお、前1.の証券または証書、前12.ならびに前16.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券および前12.ならびに前16.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

(3) 主な投資制限

<各ファンド共通>

株式への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

先物取引等

イ. 委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、組入有価証券の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、有価証券の組入可能額（組入有価証券を差引いた額）に信託財産が限月までに受取る組入公社債および組入外国貸付債権信託受益証券ならびに組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならび

に前(2) の1.から4.までに掲げる金融商品で運用している額(以下「金融商品運用額等」といいます。)の範囲内とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ロ. 委託会社は、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、為替の売予約と合わせて、保有外貨建資産の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、為替の買予約と合わせて、外貨建有価証券の買付代金等実需の範囲内とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有外貨建資産の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ハ. 委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

1. 先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、保有金利商品(信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2) の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。)の時価総額の範囲内とします。

2. 先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに金融商品運用額等の範囲内とします。ただし、保有金利商品が外貨建てで、信託財産の外貨建資産組入可能額(約款上の組入可能額から保有外貨建資産の時価総額を差引いた額。以下同じ。)に信託財産が限月までに受取る外貨建組入公社債および組入外国貸付債権信託受益証券ならびに外貨建組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額が当該金融商品運用額等の額より少ない場合には外貨建資産組入可能額に信託財産が限月までに受取る外貨建組入有価証券にかかる利払金および償還金を加えた額を限度とします。

3. コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引

イ. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。

ロ. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ. スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純

資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

金利先渡取引および為替先渡取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。

ロ．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ニ．為替先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる為替先渡取引の想定元本の総額が、保有外貨建資産の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有外貨建資産の時価総額が減少して、為替先渡取引の想定元本の総額が保有外貨建資産の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する為替先渡取引の一部の解約を指図するものとします。

ホ．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、市場実勢金利等をもとに算出した価額で行なうものとします。

ヘ．委託会社は、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

(4) 運用指図権限の委託

<ダイワ北米好配当株マザーファンド>

（ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドと同規定）

（ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドと同規定）

<ダイワ欧州好配当株マザーファンド>

委託会社は、運用の指図に関する権限のうち、外貨建資産の運用に関する権限を次の者に委託します。

アムンディ・アイルランド・リミテッド

1 ジョージズ・キー・プラザ、ジョージズ・キー、ダブリン2、アイルランド

（ダイワ・グローバルREIT・マザーファンドと同規定）

<ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド>

該当事項はありません。

8. ダイワ好配当日本株マザーファンド

(1) 投資方針

主要投資対象

わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。

投資態度

- イ．主としてわが国の金融商品取引所上場株式に投資して、高水準の配当収入の確保と、値上がり益の獲得をめざします。
- ロ．株式への投資にあたっては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、成長性、企業のファンダメンタルズ、株価の割安性等に着目し、投資銘柄を選定します。
- ハ．株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上とすることを基本とします。
- ニ．J-REIT（不動産投資信託証券）に投資することがあります。J-REITへの投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。当該J-REITは、外貨建資産を保有する場合があります。
- ホ．当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

(2) 投資対象

当ファンドにおいて投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1．次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条に掲げるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、後掲(3)、および に定めるものに限ります。）

ハ．約束手形

ニ．金銭債権のうち、投資信託及び投資法人に関する法律施行規則第22条第1項第6号に掲げるもの

2．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

委託会社は、信託金を、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

1．株券または新株引受権証書

2．～10．（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

11．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券

12．～20．（ダイワ欧州好配当株マザーファンドと同規定）

なお、前1.の証券または証書、前12.ならびに前16.の証券または証書のうち前1.の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、前2.から前6.までの証券および前12.ならびに前16.の証券または証書のうち前2.から前6.までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、前13.の証券および前14.の証券（投資法人債券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。

（ダイワ北米好配当株マザーファンドと同規定）

(3) 主な投資制限

株式への投資割合には、制限を設けません。

外貨建資産への直接投資は、行ないません。

先物取引等

イ．委託会社は、わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします（以下同じ。）。

- 1．先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、組入有価証券の時価総額の範囲内とします。
- 2．先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、有価証券の組入可能額（組入有価証券を差引いた額）に信託財産が限月までに受取る組入公社債および組入貸付債権信託受益権の利払金および償還金を加えた額を限度とし、かつ信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに前(2) の1.から4.までに掲げる金融商品で運用している額（以下「金融商品運用額等」といいます。）の範囲内とします。
- 3．コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

ロ．委託会社は、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利にかかるこれらの取引と類似の取引を次の範囲で行なうことの指図をすることができます。

- 1．先物取引の売建ておよびコール・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、保有金利商品（信託財産が1年以内に受取る組入有価証券の利払金および償還金等ならびに前(2) の1.から4.までに掲げる金融商品で運用されているものをいいます。）の時価総額の範囲内とします。
- 2．先物取引の買建ておよびプット・オプションの売付けの指図は、建玉の合計額が、信託財産が限月までに受取る組入有価証券にかかる利払金および償還金等ならびに金融商品運用額等の範囲内とします。
- 3．コール・オプションおよびプット・オプションの買付けの指図は、支払いプレミアム額の合計額が取引時点の保有金利商品の時価総額の5%を上回らない範囲内とし、かつ全オプション取引にかかる支払いプレミアム額の合計額が取引時点の信託財産の純資産総額の5%を上回らない範囲内とします。

スワップ取引

イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。

ロ．スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

ハ．スワップ取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかるスワップ取引の想定元本の総額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

- ニ．スワップ取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ホ．委託会社は、スワップ取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。
- 金利先渡取引
- イ．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。
- ロ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ハ．金利先渡取引の指図にあたっては、当該信託財産にかかる金利先渡取引の想定元本の総額が、保有金利商品の時価総額を超えないものとします。なお、信託財産の一部解約等の事由により、上記保有金利商品の時価総額が減少して、金利先渡取引の想定元本の総額が保有金利商品の時価総額を超えることとなった場合には、委託会社は、すみやかにその超える額に相当する金利先渡取引の一部の解約を指図するものとします。
- ニ．金利先渡取引の評価は、市場実勢金利をもとに算出した価額で行なうものとします。
- ホ．委託会社は、金利先渡取引を行なうにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めるときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行なうものとします。

3 【投資リスク】

(1) 価額変動リスク

当ファンドは、株式、ハイブリッド優先証券、公社債、不動産投資信託証券など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づく行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資者のみなさまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額の主な変動要因については、次のとおりです。

〈基準価額の主な変動要因〉

株価変動リスク	株式市況	株 価	基準価額
	改 善	➔	上昇要因
	悪 化	➔	下落要因
公社債の 価格変動リスク	金 利	公社債価格	基準価額
	低 下	➔	上昇要因
	上 昇	➔	下落要因
リートの 価格変動リスク	リート市況	リート価格	基準価額
	改 善	➔	上昇要因
	悪 化	➔	下落要因
外貨建資産の 為替リスク	為替相場	円換算価値	基準価額
	円 安	➔	上昇要因
	円 高	➔	下落要因

○当ファンドの各資産の組入比率は標準組入比率を目標に決定されます。配分が大きい資産が下落する場合、他の資産が上昇しても、当ファンドの基準価額は下落する場合があります。

○上図はイメージ図であり、必ずしも上図どおりにならない場合もあります。

株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります（発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。）。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

ハイブリッド優先証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

ハイブリッド優先証券の価格は、金利、発行体の企業業績等を反映して変動します。一般に、金利の上昇、発行体の企業業績の悪化等は、ハイブリッド優先証券の価格下落の要因となると考えられます。

また、ハイブリッド優先証券の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体の財政難、経営不安等が生じた場合、または生じることが予想される場合には、大きく下落します。この際、ハイブリッド優先証券は一般の債券に比し、弁済順位が劣後するため、影響がより大きくなる可能性があります。

組入ハイブリッド優先証券の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

〈金利変動による価格変化のイメージ図〉

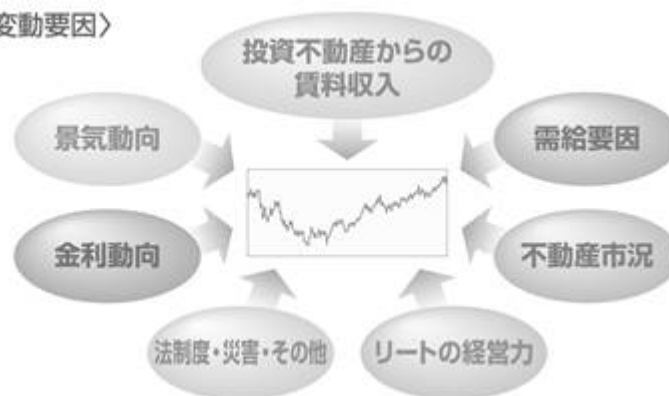


※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります。）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなくなることが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります。）。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

リート（不動産投資信託）への投資に伴うリスク

〈リーートの価格変動要因〉



イ．リートは、株式と同様に金融商品取引所等で売買され、その価格は、不動産市況に対する見通しや市場における需給等、さまざまな要因で変動します。

- ・リートには資産規模が小さく、流動性が低いものもあります。このようなリートへの投資は、流動性の高い株式等に比べ、より制約を受けることが考えられます。
- ・金利の上昇局面においては、他の、より利回りの高い債券等との比較でリートに対する投資価値が相対的に低下し、価格が下落することも想定されます。

ロ．リーートの価格や配当は、リーートの収益や財務内容の変動の影響を受けます。

- ・リーートの収益は、所有する不動産から得られる賃料収入がその大半を占めます。したがって、賃料水準や入居率の低下等により賃料収入が減少した場合には、リーートの収益が悪化し、価格や配当が下落することが考えられます。
- ・リーートの資産価値は、所有する不動産の評価等により変動します。市況の悪化、不動産の老朽化等によってリーートの資産価値が低下した場合には、価格が下落することがあります。なお、実物資産である不動産には、人的災害、自然災害等に伴って大きな損害が発生する可能性もあり、このような場合、リーートの価格が大幅に下落することも想定されます。
- ・リートでは、投資資金を調達するために金融機関等から借入れを行なうことがあります。したがって、金利上昇局面において金利負担等が増加し、収益の悪化要因となることが考えられます。
- ・法人形態のリートでは、経営陣の運営如何によっては収益や財務内容が著しく悪化する可能性があります。リートが倒産等に陥り、投資資金が回収できなくなることもありえます。

ハ．リートに関する法制度（税制、会計制度等）が変更となった場合、リートの価格や配当に影響を与えることが想定されます。

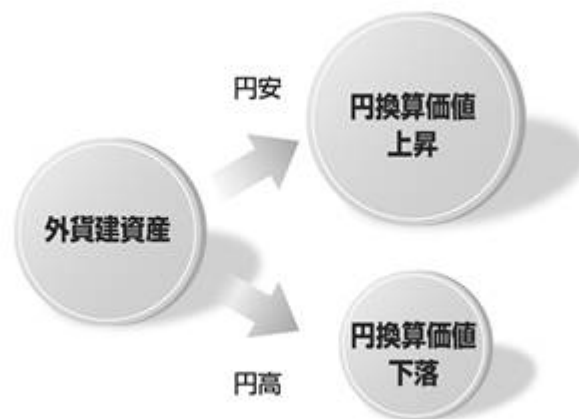
- ・その他、不動産を取巻く規制（建築規制、環境規制等）に変更があった場合も、リートの価格や配当に影響を受けることが考えられます。
- ・金融商品取引所が定める基準に抵触する等の理由から、リートが上場廃止になることもあります。

ニ．組入リートの市場価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

外国証券への投資に伴うリスク

イ．為替リスク

〈為替変動のイメージ図〉



※上図はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドにおいては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。そのため、外貨建資産を実質的に組入れた部分は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

ロ．カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

その他

イ．解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ．ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証書等の短期金融資産で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

(2) 換金性が制限される場合

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。

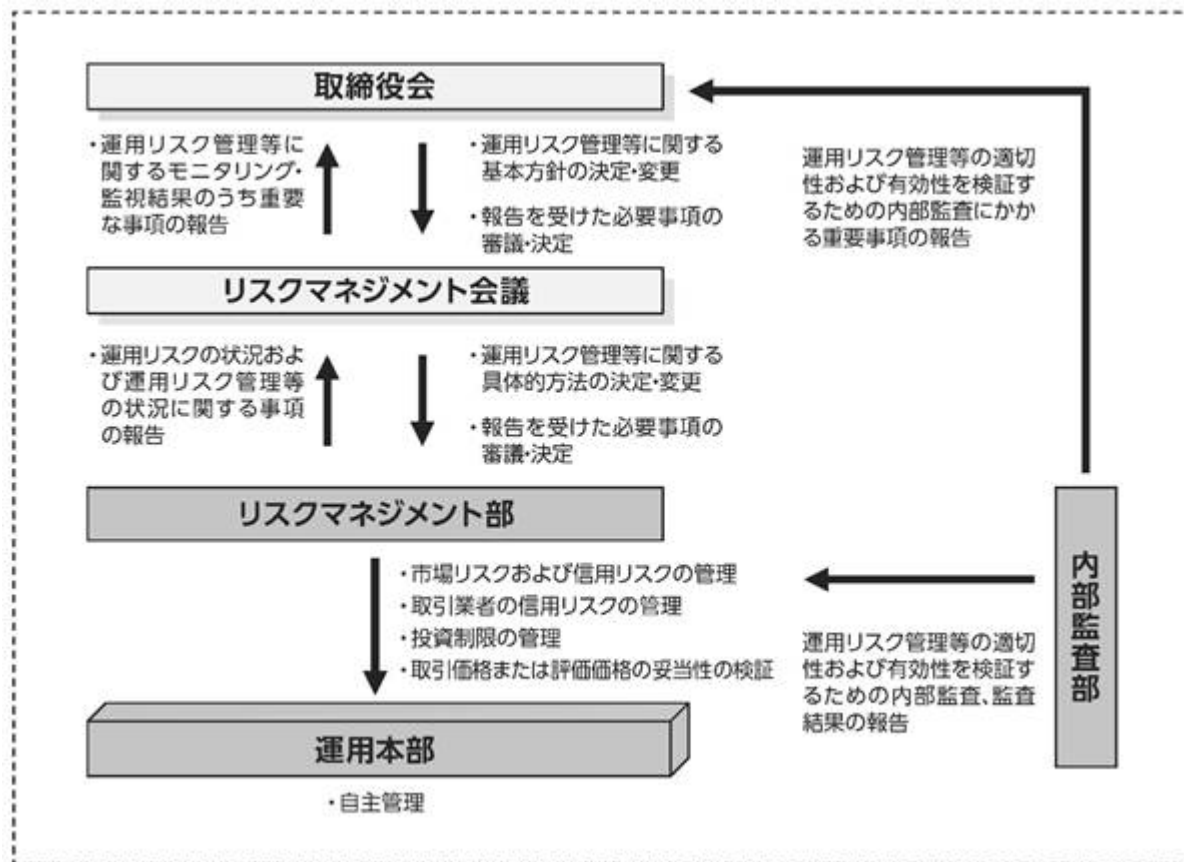
金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。ご換金の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日のご換金の申込みを撤回できます。ただし、受益者がそのご換金の申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にご換金の申込みを受け付けたものとして取扱います。

(3) その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

(4) リスク管理体制

運用リスク管理体制（ ）は、以下のとおりとなっています。



流動性リスクに対する管理体制

当社では、運用リスクのうち、大量の解約・換金によって必要となる資金の確保のために合理的な条件での取引が困難となるリスク、および市場の混乱、取引所における休業、取引の停止等により市場において取引ができないまたは合理的な条件での取引が困難となるリスクを「流動性リスク」とし、当社の運用する信託財産における流動性リスクの防止および流動性リスク発生時における円滑な事務遂行を目的とした事前対策、ならびに流動性リスク発生時における対応策（コンティンジェンシー・プラン）を定めています。

参 考 情 報

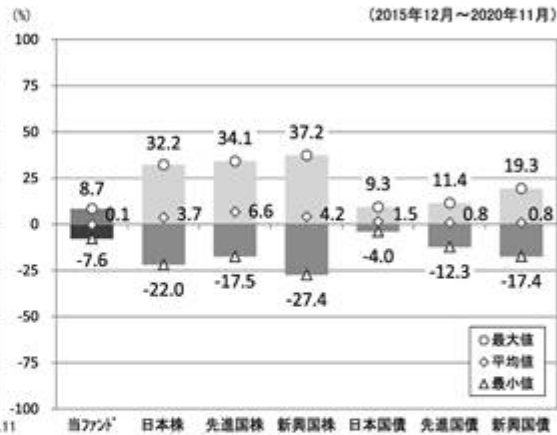
- 下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移

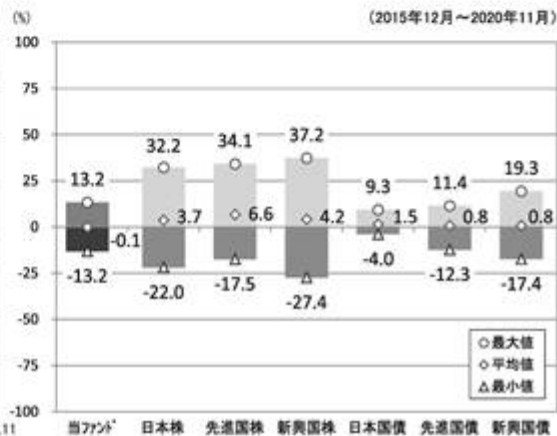
【安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】



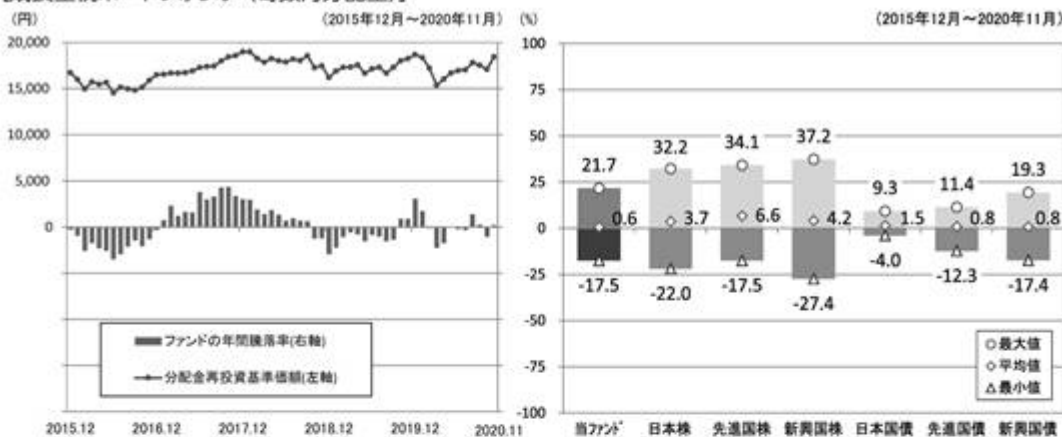
他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



【インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】



【成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではありません。ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

4 【手数料等及び税金】

(1) 【申込手数料】

販売会社におけるお買付時の申込手数料の料率の上限は、2.2%（税抜2.0%）となっています。具体的な手数料の料率等については、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

申込手数料には、消費税等が課されます。

「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

申込手数料は、お買付時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

(2) 【換金(解約)手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

(3) 【信託報酬等】

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に次に掲げる率を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。

安定重視ポートフォリオ	年率1.32% (税抜1.20%)
インカム重視ポートフォリオ	年率1.4025% (税抜1.275%)
成長重視ポートフォリオ	年率1.485% (税抜1.35%)

信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに信託財産中から支弁します。

信託報酬にかかる委託会社、販売会社、受託会社への配分については、次のとおりです。

イ．安定重視ポートフォリオ

	委託会社	販売会社 (各販売会社の取扱純資産総額に応じて)	受託会社
100億円以下の部分	年率1.20% (税抜) から販売会社、受託会社分を除いた額	年率0.60% (税抜)	年率0.05% (税抜)
100億円超 200億円以下の部分		年率0.65% (税抜)	
200億円超 500億円以下の部分		年率0.70% (税抜)	
500億円超 1,000億円以下の部分		年率0.75% (税抜)	
1,000億円超の部分		年率0.80% (税抜)	

ロ．インカム重視ポートフォリオ

	委託会社	販売会社 (各販売会社の取扱純資産総額に応じて)	受託会社

100億円以下の部分	年率1.275%（税抜）から販売会社、受託会社分を除いた額	年率0.65% （税抜）	年率0.05% （税抜）
100億円超 200億円以下の部分		年率0.70% （税抜）	
200億円超 500億円以下の部分		年率0.75% （税抜）	
500億円超 1,000億円以下の部分		年率0.80% （税抜）	
1,000億円超の部分		年率0.85% （税抜）	

ハ．成長重視ポートフォリオ

	委託会社	販売会社 （各販売会社の取 扱純資産総額に 応じて）	受託会社
100億円以下の部分	年率1.35%（税抜）から販売会社、受託会社分を除いた額	年率0.70% （税抜）	年率0.05% （税抜）
100億円超 200億円以下の部分		年率0.75% （税抜）	
200億円超 500億円以下の部分		年率0.80% （税抜）	
500億円超 1,000億円以下の部分		年率0.85% （税抜）	
1,000億円超の部分		年率0.90% （税抜）	

上記の信託報酬の配分には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

前 の販売会社への配分は、販売会社の行なう業務に対する代行手数料であり、委託会社が一旦信託財産から収受した後、販売会社に支払われます。

委託会社は、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」、「ダイワ北米好配当株マザーファンド」、「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」の投資顧問会社が受ける報酬を、次のとおり支払うものとします。

イ．ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

同マザーファンドの日々の純資産総額に次の率を乗じて得た額とします。報酬の支払いは、毎年3月15日および9月15日または信託終了のときに行なうものとします。

275億円以下の部分	年率0.57%
275億円超 1,000億円以下の部分	年率0.47%
1,000億円超 2,500億円以下の部分	年率0.37%
2,500億円超 4,500億円以下の部分	年率0.30%
4,500億円超の部分	年率0.25%

ロ．ダイワ北米好配当株マザーファンド、ダイワ欧州好配当株マザーファンド

各マザーファンドの日々の純資産総額にそれぞれ年率0.5%を乗じて得た額とします。報酬の支払いは、毎年3月15日および9月15日または信託終了のときに行なうものとします。

信託報酬を対価とする役務の内容は、配分先に応じて、それぞれ以下のとおりです。

委託会社：ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価

販売会社：運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価

受託会社：運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

(4) 【その他の手数料等】

信託財産において資金借入れを行なった場合、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（台湾株式等への投資にかかる会計事務所等への支払金等を含むものとします。）、受託会社の立替えた立替金の利息および信託財産にかかる監査報酬ならびに当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に属する有価証券等に関連して発生した訴訟係争物たる権利その他の権利に基づいて益金が生じた場合、当該支払いに際して特別に必要となる費用（データ処理費用、郵送料等）は、受益者の負担とし、当該益金から支弁します。

信託財産で有価証券の売買を行なう際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料にかかる消費税等に相当する金額、信託財産に属する資産を外国で保管する場合の費用は、信託財産中より支弁します。

（ ）「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

< マザーファンドより支弁する手数料等 >

各マザーファンドの投資対象等に応じて、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を支弁します。

(5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

個人の投資者に対する課税

イ．収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として課税され、20%（所得税15%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ロ．解約金および償還金に対する課税

一部解約時および償還時の差益（解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料（税込）を含む）を控除した利益）については、譲渡所得とみなされ、20%（所得税15%および地方税5%）の税率により、申告分離課税が適用されます。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）となります。

ハ．損益通算について

一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、上場株式等（特定公社債、公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および償還差益と相殺することができ、申告分離課税を選択した上場株式等の配当所得および利子所得との損益通算も可能となります。また、翌年以後3年間、上場株式等の譲渡益・償還差益および配当等・利子から繰越控除することができます。一部解約時および償還時の差益については、他の上場株式等の譲渡損および償還差損との相殺が可能となります。

なお、特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問合わせ下さい。

少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「N I S A（ニーサ）」の適用対象です。満20歳以上の方を対象としたN I S Aをご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。また、20歳未満の方を対象とした非課税制度「ジュニアN I S A」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります（他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。）。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。

法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として課税され、15%（所得税15%）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。地方税の源泉徴収はありません。収益分配金のうち所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。ただし、2037年12月31日まで基準所得税額に2.1%の税率を乗じた復興特別所得税が課され、税率は15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）となります。なお、益金不算入制度の適用はありません。

源泉徴収された税金は法人税額から控除されます。

<注1> 個別元本について

投資者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該投資者の元本（個別元本）にあたります。

投資者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。

投資者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

<注2> 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受取る際、イ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、ロ．当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

- （ ）外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- （ ）上記は、2020年11月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- （ ）課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5 【運用状況】

【安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)】

(1) 【投資状況】(2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	694,279,281	99.15
内 日本	694,279,281	99.15
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	5,928,510	0.85
純資産総額	700,207,791	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】(2020年11月30日現在)

【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	133,683,399	1.8153 242,680,308	1.8213 243,477,574	34.77
2	ダイワ日本国債マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	191,505,167	1.2615 241,583,768	1.2625 241,775,273	34.53
3	ダイワ好配当日本株マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	25,856,094	2.6782 69,247,791	2.7250 70,457,856	10.06
4	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	13,656,303	2.5833 35,278,328	2.6117 35,666,166	5.09
5	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	12,369,107	2.7807 34,394,775	2.7650 34,200,580	4.88

6	ダイワ北米好配当株マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	7,145,177	3.1944 22,824,553	3.2179 22,992,465	3.28
7	ダイワ・アジア・オセアニア好配当 株マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	9,692,819	2.2664 21,968,774	2.3580 22,855,667	3.26
8	ダイワ欧州好配当株マザーファン ド	日本	親投資 信託受 益証券	13,557,395	1.6318 22,122,958	1.6857 22,853,700	3.26

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.15%
合計	99.15%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第11特定期間末 (2011年5月10日)	3,340,858,725	3,370,124,274	0.7991	0.8061
第12特定期間末 (2011年11月10日)	2,810,108,392	2,836,542,685	0.7441	0.7511
第13特定期間末 (2012年5月10日)	2,560,967,176	2,584,608,951	0.7583	0.7653
第14特定期間末 (2012年11月12日)	2,292,447,787	2,313,809,883	0.7512	0.7582

第15特定期間末 (2013年5月10日)	2,142,721,022	2,154,379,012	0.9190	0.9240
第16特定期間末 (2013年11月11日)	1,828,381,467	1,838,763,868	0.8805	0.8855
第17特定期間末 (2014年5月12日)	1,599,035,793	1,607,888,426	0.9031	0.9081
第18特定期間末 (2014年11月10日)	1,564,939,411	1,573,080,464	0.9611	0.9661
第19特定期間末 (2015年5月11日)	1,466,139,398	1,473,605,263	0.9819	0.9869
第20特定期間末 (2015年11月10日)	1,332,286,357	1,339,328,742	0.9459	0.9509
第21特定期間末 (2016年5月10日)	1,275,810,635	1,280,763,009	0.9017	0.9052
第22特定期間末 (2016年11月10日)	1,158,313,348	1,162,998,429	0.8653	0.8688
第23特定期間末 (2017年5月10日)	1,123,093,842	1,126,188,676	0.9072	0.9097
第24特定期間末 (2017年11月10日)	1,034,788,125	1,036,447,975	0.9351	0.9366
第25特定期間末 (2018年5月10日)	967,647,840	969,234,113	0.9150	0.9165
第26特定期間末 (2018年11月12日)	893,566,366	895,052,636	0.9018	0.9033
第27特定期間末 (2019年5月10日)	872,820,093	874,284,036	0.8943	0.8958
第28特定期間末 (2019年11月11日)	832,937,076	834,300,311	0.9165	0.9180
2019年11月末日	835,270,142	-	0.9222	-
12月末日	822,797,209	-	0.9283	-
2020年1月末日	782,051,331	-	0.9239	-
2月末日	759,996,068	-	0.9063	-
3月末日	716,825,359	-	0.8579	-
4月末日	725,846,980	-	0.8702	-
第29特定期間末 (2020年5月11日)	725,646,190	726,897,697	0.8697	0.8712
5月末日	739,107,174	-	0.8866	-
6月末日	726,875,397	-	0.8952	-
7月末日	721,264,915	-	0.9012	-

8月末日	707,351,684	-	0.9161	-
9月末日	691,777,256	-	0.9075	-
10月末日	681,733,293	-	0.8928	-
第30特定期間末 (2020年11月10日)	698,324,933	699,468,589	0.9159	0.9174
11月末日	700,207,791	-	0.9208	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第11特定期間	0.0210
第12特定期間	0.0210
第13特定期間	0.0210
第14特定期間	0.0210
第15特定期間	0.0170
第16特定期間	0.0150
第17特定期間	0.0150
第18特定期間	0.0150
第19特定期間	0.0150
第20特定期間	0.0150
第21特定期間	0.0135
第22特定期間	0.0105
第23特定期間	0.0075
第24特定期間	0.0045
第25特定期間	0.0045
第26特定期間	0.0045
第27特定期間	0.0045
第28特定期間	0.0045
第29特定期間	0.0045
第30特定期間	0.0045

【収益率の推移】

	収益率(%)
第11特定期間	2.6
第12特定期間	4.3
第13特定期間	4.7
第14特定期間	1.8
第15特定期間	24.6
第16特定期間	2.6
第17特定期間	4.3

第18特定期間	8.1
第19特定期間	3.7
第20特定期間	2.1
第21特定期間	3.2
第22特定期間	2.9
第23特定期間	5.7
第24特定期間	3.6
第25特定期間	1.7
第26特定期間	1.0
第27特定期間	0.3
第28特定期間	3.0
第29特定期間	4.6
第30特定期間	5.8

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第11特定期間	48,215,226	508,022,904
第12特定期間	34,639,493	439,104,672
第13特定期間	25,669,129	424,600,240
第14特定期間	17,944,954	343,613,359
第15特定期間	29,124,357	749,254,227
第16特定期間	67,499,016	322,616,895
第17特定期間	20,512,498	326,466,069
第18特定期間	36,554,030	178,870,138
第19特定期間	30,337,306	165,374,860
第20特定期間	28,106,161	112,802,115
第21特定期間	74,111,919	67,624,842
第22特定期間	25,510,906	101,880,470
第23特定期間	16,442,452	117,103,386
第24特定期間	50,120,711	181,487,643
第25特定期間	19,575,536	68,626,578
第26特定期間	31,692,198	98,360,995
第27特定期間	48,286,397	63,170,843
第28特定期間	8,617,791	75,756,294
第29特定期間	11,410,328	85,896,293
第30特定期間	10,881,980	82,782,003

(参考) マザーファンド

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

(1) 投資状況 (2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類		時価(円)	投資比率(%)
国債証券		20,076,676,315	93.81
	内 ユーロ	5,186,157,136	24.23
	内 ノルウェー	304,543,546	1.42
	内 スウェーデン	362,881,411	1.70
	内 デンマーク	719,393,907	3.36
	内 イギリス	2,618,611,071	12.24
	内 ポーランド	1,500,735,907	7.01
	内 カナダ	1,959,951,124	9.16
	内 アメリカ	5,022,046,326	23.46
	内 オーストラリア	2,402,355,887	11.22
特殊債券		1,000,313,685	4.67
	内 カナダ	1,000,313,685	4.67
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		325,382,954	1.52
純資産総額		21,402,372,954	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類		時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(買建)		2,336,097,000	10.92
	内 日本	2,336,097,000	10.92
為替予約取引(売建)		2,364,717,659	11.05
	内 日本	2,364,717,659	11.05

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産 (2020年11月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
-----	----	----	--------------------------	-------------------	-------------------	--------------------------	-----------------

1	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オーストラリア	国債 証券	19,000,000	141.63 2,069,712,704	140.07 2,046,916,580	4.500000 2033/04/21	9.56
2	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	11,791,400	120.96 1,481,770,337	121.14 1,484,073,353	2.500000 2046/02/15	6.93
3	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	10,300,000	112.45 1,440,651,126	112.81 1,445,263,136	1.950000 2026/04/30	6.75
4	SPANISH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	9,536,000	111.14 1,318,312,734	111.81 1,326,223,939	1.400000 2028/04/30	6.20
5	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	14,367,000	106.21 1,220,075,674	105.67 1,213,781,117	1.500000 2026/06/01	5.67
6	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	7,124,500	122.32 1,207,439,819	121.50 1,199,345,604	5.000000 2025/03/07	5.60
7	FRENCH GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	5,200,000	171.73 1,110,727,828	173.68 1,123,378,766	3.250000 2045/05/25	5.25
8	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	8,689,700	106.61 962,509,417	106.35 960,108,041	1.625000 2026/02/15	4.49
9	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	8,000,000	107.27 891,567,357	107.00 889,356,578	2.375000 2024/02/29	4.16
10	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	8,237,900	100.71 861,911,862	100.55 860,576,758	1.375000 2021/04/30	4.02
11	United States Treasury Note/Bond	アメリカ	国債 証券	7,296,700	109.60 830,834,942	109.21 827,931,595	2.250000 2025/11/15	3.87
12	Poland Government Bond	ポーランド	国債 証券	25,000,000	112.18 777,126,950	113.03 783,015,325	2.750000 2028/04/25	3.66
13	Poland Government Bond	ポーランド	国債 証券	25,593,000	101.42 719,302,057	101.20 717,720,581	1.750000 2021/07/25	3.35
14	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	4,500,000	108.72 677,873,193	108.32 675,348,120	1.500000 2026/07/22	3.16
15	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊 債券	7,830,000	108.35 678,324,030	107.82 674,981,144	2.250000 2025/12/15	3.15
16	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	6,511,000	108.71 565,931,181	108.34 564,005,129	2.250000 2025/06/01	2.64

17	DANISH GOVERNMENT BOND	デン マーク	国債 証券	29,000,000	112.23 543,869,894	112.01 542,789,259	1.750000 2025/11/15	2.54
18	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	3,200,000	111.94 496,306,051	111.49 494,337,532	1.625000 2028/10/22	2.31
19	IRISH TREASURY	ユーロ	国債 証券	3,420,000	108.67 462,285,534	108.69 462,370,610	1.000000 2026/05/15	2.16
20	Belgium Government Bond	ユーロ	国債 証券	1,500,000	182.48 340,467,861	184.64 344,492,176	3.750000 2045/06/22	1.61
21	IRISH TREASURY	ユーロ	国債 証券	2,387,600	112.33 333,591,989	112.72 334,753,140	1.100000 2029/05/15	1.56
22	CANADA HOUSING TRUST	カナダ	特殊 債券	3,750,000	108.91 326,528,791	108.51 325,332,540	2.550000 2025/03/15	1.52
23	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	オースト リア	国債 証券	2,900,000	120.93 269,738,905	120.51 268,804,372	3.250000 2029/04/21	1.26
24	NORWEGIAN GOVERNMENT BOND	ノル ウェー	国債 証券	20,000,000	109.34 257,188,848	108.62 255,486,000	3.000000 2024/03/14	1.19
25	United Kingdom Gilt	イギリス	国債 証券	1,000,000	180.27 249,764,085	180.13 249,579,813	4.250000 2046/12/07	1.17
26	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェー デン	国債 証券	14,230,000	107.69 187,271,481	107.56 187,047,162	1.000000 2026/11/12	0.87
27	CANADIAN GOVERNMENT BOND	カナダ	国債 証券	1,500,000	151.23 181,368,573	151.89 182,164,875	3.500000 2045/12/01	0.85
28	DANISH GOVERNMENT BOND	デン マーク	国債 証券	5,500,000	190.69 175,261,915	192.16 176,604,648	4.500000 2039/11/15	0.83
29	SWEDISH GOVERNMENT BOND	スウェー デン	国債 証券	13,630,000	105.70 176,065,764	105.56 175,834,248	1.500000 2023/11/13	0.82
30	GERMAN GOVERNMENT BOND	ユーロ	国債 証券	695,000	170.60 147,476,227	173.14 149,675,365	2.500000 2046/08/15	0.70

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

□ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
-----------	------

国債証券	93.81%
特殊債券	4.67%
合計	98.48%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	豪ドル買/円売 2020年12月	買建	26,500,000	2,023,564,539	2,037,585,000	9.52%
		ユーロ買/円売 2020年12月	買建	2,400,000	298,702,885	298,512,000	1.39%
		ユーロ売/円買 2020年12月	売建	510,000	63,450,732	63,433,800	0.30%
		米ドル売/円買 2020年12月	売建	2,840,731	298,702,885	295,038,342	1.38%
		カナダ・ドル売/円買 2020年12月	売建	25,100,032	2,023,564,539	2,006,245,517	9.37%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

ダイワ日本国債マザーファンド

(1) 投資状況 (2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
国債証券	185,214,194,420	99.35
内 日本	185,214,194,420	99.35
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,211,879,626	0.65

純資産総額	186,426,074,046	100.00
-------	-----------------	--------

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2020年11月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	利率(%) 償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
1	48 20年国債	日本	国債証券	12,701,000,000	102.14 12,973,683,400	100.14 12,719,289,440	2.500000 2020/12/21	6.82
2	54 20年国債	日本	国債証券	11,987,000,000	104.36 12,510,352,420	102.43 12,279,243,060	2.200000 2021/12/20	6.59
3	88 20年国債	日本	国債証券	6,060,000,000	116.44 7,056,627,600	113.39 6,871,797,600	2.300000 2026/06/20	3.69
4	116 20年国債	日本	国債証券	5,600,000,000	120.77 6,763,288,000	120.51 6,748,728,000	2.200000 2030/03/20	3.62
5	95 20年国債	日本	国債証券	5,805,000,000	119.16 6,917,617,500	115.82 6,723,641,250	2.300000 2027/06/20	3.61
6	20 30年国債	日本	国債証券	5,000,000,000	133.30 6,665,000,000	133.06 6,653,350,000	2.500000 2035/09/20	3.57
7	6 30年国債	日本	国債証券	5,250,000,000	127.39 6,688,272,000	125.43 6,585,232,500	2.400000 2031/11/20	3.53
8	75 20年国債	日本	国債証券	5,874,000,000	110.88 6,513,650,000	109.61 6,438,843,840	2.100000 2025/03/20	3.45
9	12 30年国債	日本	国債証券	5,100,000,000	126.69 6,461,190,000	124.72 6,361,179,000	2.100000 2033/09/20	3.41
10	101 20年国債	日本	国債証券	5,360,000,000	121.60 6,517,760,000	118.25 6,338,200,000	2.400000 2028/03/20	3.40
11	80 20年国債	日本	国債証券	5,673,000,000	112.53 6,383,826,900	110.13 6,247,788,360	2.100000 2025/06/20	3.35
12	16 30年国債	日本	国債証券	4,700,000,000	133.98 6,297,060,000	131.51 6,181,017,000	2.500000 2034/09/20	3.32
13	140 20年国債	日本	国債証券	5,200,000,000	119.53 6,215,612,000	118.66 6,170,528,000	1.700000 2032/09/20	3.31
14	68 20年国債	日本	国債証券	5,725,000,000	108.83 6,230,628,000	107.73 6,167,886,000	2.200000 2024/03/20	3.31

15	15 30年国債	日本	国債証券	4,700,000,000	133.49 6,274,453,000	131.03 6,158,645,000	2.500000 2034/06/20	3.30
16	110 20年国債	日本	国債証券	5,200,000,000	118.68 6,171,464,000	117.91 6,131,632,000	2.100000 2029/03/20	3.29
17	1 30年国債	日本	国債証券	4,850,000,000	127.40 6,179,236,000	124.86 6,056,049,500	2.800000 2029/09/20	3.25
18	70 20年国債	日本	国債証券	5,438,000,000	111.00 6,036,367,900	109.02 5,928,725,120	2.400000 2024/06/20	3.18
19	94 20年国債	日本	国債証券	5,200,000,000	115.47 6,004,808,000	113.94 5,925,088,000	2.100000 2027/03/20	3.18
20	8 30年国債	日本	国債証券	4,800,000,000	120.88 5,802,240,000	120.04 5,762,208,000	1.800000 2032/11/22	3.09
21	19 30年国債	日本	国債証券	4,400,000,000	130.31 5,733,816,000	129.78 5,710,496,000	2.300000 2035/06/20	3.06
22	86 20年国債	日本	国債証券	5,000,000,000	115.73 5,786,950,000	112.78 5,639,200,000	2.300000 2026/03/20	3.02
23	145 20年国債	日本	国債証券	4,600,000,000	119.51 5,497,506,000	119.38 5,491,848,000	1.700000 2033/06/20	2.95
24	130 20年国債	日本	国債証券	4,500,000,000	118.76 5,344,560,000	118.67 5,340,375,000	1.800000 2031/09/20	2.86
25	4 30年国債	日本	国債証券	3,800,000,000	130.94 4,976,008,000	128.52 4,884,064,000	2.900000 2030/11/20	2.62
26	59 20年国債	日本	国債証券	4,295,000,000	104.59 4,492,274,500	103.76 4,456,706,750	1.700000 2022/12/20	2.39
27	64 20年国債	日本	国債証券	4,200,000,000	107.57 4,517,968,000	105.72 4,440,450,000	1.900000 2023/09/20	2.38
28	102 20年国債	日本	国債証券	3,000,000,000	122.08 3,662,400,000	118.79 3,563,820,000	2.400000 2028/06/20	1.91
29	63 20年国債	日本	国債証券	3,000,000,000	105.79 3,173,880,000	104.95 3,148,560,000	1.800000 2023/06/20	1.69
30	106 20年国債	日本	国債証券	2,000,000,000	119.38 2,387,720,000	117.76 2,355,260,000	2.200000 2028/09/20	1.26

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

□ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
国債証券	99.35%
合計	99.35%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

(1) 投資状況（2020年11月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資証券	71,842,517,926	95.70
内 香港	2,538,077,947	3.38
内 シンガポール	5,770,506,145	7.69
内 イギリス	7,552,072,626	10.06
内 オランダ	346,691,924	0.46
内 ベルギー	2,416,008,554	3.22
内 フランス	4,321,606,431	5.76
内 ドイツ	895,829,146	1.19
内 スペイン	308,990,387	0.41
内 カナダ	1,259,281,889	1.68
内 アメリカ	34,685,895,937	46.21
内 オーストラリア	10,927,341,615	14.56
内 ニュージーランド	820,215,325	1.09
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	3,226,397,226	4.30
純資産総額	75,068,915,152	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
為替予約取引(買建)	517,942,659	0.69
内 日本	517,942,659	0.69
為替予約取引(売建)	518,401,099	0.69
内 日本	518,401,099	0.69

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(2) 投資資産（2020年11月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	GOODMAN GROUP	オーストラリア	投資証券	2,309,489	1,383.61 3,195,434,154	1,431.29 3,305,560,289	4.40
2	MIRVAC GROUP	オーストラリア	投資証券	13,927,355	166.74 2,323,107,495	200.73 2,795,708,999	3.72
3	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	投資証券	286,985	7,105.14 2,039,079,388	8,887.78 2,550,662,270	3.40
4	LINK REIT	香港	投資証券	2,765,092	851.00 2,353,129,976	917.90 2,538,077,947	3.38
5	EQUINIX INC	アメリカ	投資証券	34,454	78,544.99 2,706,189,278	72,777.02 2,507,459,544	3.34
6	PUBLIC STORAGE	アメリカ	投資証券	109,498	23,339.92 2,555,679,626	22,858.91 2,503,005,661	3.33
7	CHARTER HALL GROUP	オーストラリア	投資証券	2,137,211	947.53 2,025,074,103	1,024.44 2,189,447,001	2.92
8	PROLOGIS INC	アメリカ	投資証券	207,971	10,591.58 2,202,742,628	10,451.33 2,173,574,383	2.90
9	DUKE REALTY CORP	アメリカ	投資証券	521,016	3,952.18 2,059,173,078	3,988.33 2,077,987,442	2.77
10	WELLTOWER INC	アメリカ	投資証券	306,161	6,245.86 1,912,240,825	6,705.06 2,052,828,058	2.73
11	SEGRO PLC	イギリス	投資証券	1,450,083	1,297.10 1,881,041,699	1,248.88 1,810,993,723	2.41
12	VENTAS INC	アメリカ	投資証券	357,776	4,724.91 1,690,461,976	4,976.33 1,780,411,800	2.37
13	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	シンガポール	投資証券	11,313,632	152.73 1,728,030,936	154.60 1,749,122,579	2.33
14	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	投資証券	612,570	2,577.51 1,578,905,852	2,667.89 1,634,272,563	2.18
15	LAND SECURITIES GROUP PLC	イギリス	投資証券	1,726,408	819.93 1,415,580,107	921.49 1,590,878,152	2.12

16	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	アメリカ	投資証 券	493,506	2,983.40 1,472,333,110	3,104.23 1,531,957,710	2.04
17	AEDIFICA	ベル ギー	投資証 券	125,110	12,343.71 1,544,332,623	12,064.86 1,509,434,635	2.01
18	ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ	投資証 券	57,808	23,104.09 1,335,601,645	25,973.53 1,501,478,337	2.00
19	KLEPIERRE	フランス	投資証 券	612,426	1,668.43 1,021,803,082	2,410.48 1,476,243,319	1.97
20	UDR INC	アメリカ	投資証 券	360,402	3,655.88 1,317,589,743	4,074.56 1,468,481,663	1.96
21	VEREIT INC	アメリカ	投資証 券	1,887,139	737.61 1,391,989,582	762.55 1,439,042,751	1.92
22	PARKWAYLIFE REAL ESTATE	シンガ ポール	投資証 券	4,649,977	310.21 1,442,733,316	307.65 1,430,576,584	1.91
23	CYRUSONE INC	アメリカ	投資証 券	191,738	7,738.55 1,483,789,748	7,269.18 1,393,778,668	1.86
24	ALLIED PROPERTIES REAL ESTAT	カナダ	投資証 券	384,355	3,050.89 1,172,625,595	3,276.35 1,259,281,889	1.68
25	SUN COMMUNITIES INC	アメリカ	投資証 券	85,181	15,073.08 1,283,943,516	14,400.19 1,226,622,831	1.63
26	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	投資証 券	102,705	11,590.48 1,190,408,444	11,427.90 1,173,702,470	1.56
27	INVITATION HOMES INC	アメリカ	投資証 券	377,723	3,005.43 1,135,258,671	2,987.87 1,128,589,637	1.50
28	KEPPEL DC REIT	シンガ ポール	投資証 券	5,069,041	229.18 1,161,750,696	221.41 1,122,369,317	1.50
29	NATIONAL STORAGE REIT	オースト リア	投資証 券	6,490,724	143.43 931,010,952	146.12 948,483,007	1.26
30	COVIVIO	フランス	投資証 券	104,785	7,586.06 794,906,837	8,955.36 938,387,398	1.25

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

□ . 投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資証券	95.70%
合計	95.70%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八 . 投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
為替予約取引	日本	米ドル買/円売 2020年12月	買建	4,251,813	442,318,040	441,678,296	0.59%
		英ポンド買/円売 2020年12月	買建	550,486	76,091,315	76,264,363	0.10%
		ユーロ売/円買 2020年12月	売建	3,501,390	435,502,833	435,502,833	0.58%
		米ドル売/円買 2020年12月	売建	732,422	76,091,315	76,083,991	0.10%
		ニュージーランド・ドル売/円買 2020年12月	売建	93,219	6,815,207	6,814,275	0.01%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 為替予約取引の時価については、原則として対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(注3) 為替予約取引の数量については、現地通貨建契約金額です。

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

(1) 投資状況 (2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
投資証券	83,387,415,530	96.33
内 日本	83,387,415,530	96.33
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	3,174,835,782	3.67
純資産総額	86,562,251,312	100.00

その他の資産の投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	2,434,096,000	2.81
内 日本	2,434,096,000	2.81

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(注3) 不動産投信指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

(2) 投資資産（2020年11月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	日本ビルファンド	日本	投資証券	11,380	574,889.75 6,542,245,362	577,000.00 6,566,260,000	7.59
2	ジャパンリアルエステイト	日本	投資証券	9,284	550,507.26 5,110,909,488	542,000.00 5,031,928,000	5.81
3	大和ハウスリート投資法人	日本	投資証券	19,601	244,500.00 4,792,444,500	251,300.00 4,925,731,300	5.69
4	野村不動産マスターF	日本	投資証券	36,039	136,400.00 4,915,719,600	136,000.00 4,901,304,000	5.66
5	アドバンス・レジデンス	日本	投資証券	13,202	304,500.00 4,020,009,000	301,500.00 3,980,403,000	4.60
6	産業ファンド	日本	投資証券	20,801	176,500.00 3,671,376,500	176,000.00 3,660,976,000	4.23
7	日本リテールファンド	日本	投資証券	20,378	169,400.00 3,452,033,200	166,500.00 3,392,937,000	3.92
8	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	日本	投資証券	18,641	173,700.00 3,237,941,700	178,100.00 3,319,962,100	3.84
9	GLP投資法人	日本	投資証券	20,987	153,800.00 3,227,800,600	157,900.00 3,313,847,300	3.83
10	三井不ロジパーク	日本	投資証券	6,625	493,500.00 3,269,437,500	496,000.00 3,286,000,000	3.80
11	日本プロロジスリート	日本	投資証券	9,594	331,123.98 3,176,803,548	327,500.00 3,142,035,000	3.63
12	日本プライムリアルティ	日本	投資証券	9,854	308,897.05 3,043,871,598	306,500.00 3,020,251,000	3.49
13	ユナイテッド・アーバン投資法人	日本	投資証券	22,347	125,518.91 2,804,971,295	118,000.00 2,636,946,000	3.05

14	オリックス不動産投資	日本	投資証券	15,248	159,394.53 2,430,447,907	156,000.00 2,378,688,000	2.75
15	ケネディクス・オフィス投資法人	日本	投資証券	2,952	633,589.01 1,870,354,773	662,000.00 1,954,224,000	2.26
16	ラサールロジポート投資	日本	投資証券	12,249	160,550.54 1,966,583,602	156,200.00 1,913,293,800	2.21
17	森ヒルズリート	日本	投資証券	12,362	132,000.00 1,631,784,000	137,900.00 1,704,719,800	1.97
18	積水ハウス・リート投資	日本	投資証券	19,923	75,100.00 1,496,217,300	74,600.00 1,486,255,800	1.72
19	ジャパンエクセレント投資法人	日本	投資証券	11,590	125,400.00 1,453,386,000	124,200.00 1,439,478,000	1.66
20	ヒューリックリート投資法	日本	投資証券	9,616	143,500.00 1,379,896,000	141,800.00 1,363,548,800	1.58
21	イオンリート投資	日本	投資証券	10,944	123,939.06 1,356,389,157	122,100.00 1,336,262,400	1.54
22	プレミア投資法人	日本	投資証券	10,680	121,133.67 1,293,707,597	119,600.00 1,277,328,000	1.48
23	三菱地所物流REIT	日本	投資証券	3,019	415,772.89 1,255,218,380	398,500.00 1,203,071,500	1.39
24	インヴィンシブル投資法人	日本	投資証券	38,521	37,248.61 1,434,853,836	30,950.00 1,192,224,950	1.38
25	大和証券オフィス投資法人	日本	投資証券	1,950	630,000.00 1,228,500,000	599,000.00 1,168,050,000	1.35
26	日本リート投資法人	日本	投資証券	3,300	357,493.91 1,179,729,931	350,500.00 1,156,650,000	1.34
27	東急リアル・エステート	日本	投資証券	7,507	151,350.85 1,136,190,884	151,900.00 1,140,313,300	1.32
28	ケネディクス商業リート	日本	投資証券	4,807	214,700.00 1,032,062,900	231,300.00 1,111,859,100	1.28
29	ザイマックス・リート	日本	投資証券	9,893	91,800.00 908,177,400	91,300.00 903,230,900	1.04
30	SOSILA物流リート投	日本	投資証券	7,084	131,328.21 930,329,070	124,600.00 882,666,400	1.02

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
投資証券	96.33%
合計	96.33%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

(単位：円)

種類	地域	資産名	買建/ 売建	数量	簿価	時価	投資 比率
不動産投信指数先物取引	日本	東証REIT指数先物 2020年12月	買建	1,442	2,464,479,120	2,434,096,000	2.81%

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 不動産投信指数先物取引の時価については、原則として当該日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、当該日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

ダイワ北米好配当株マザーファンド

(1) 投資状況 (2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	2,477,482,011	81.06
内 カナダ	16,595,582	0.54
内 アメリカ	2,460,886,429	80.51
ハイブリッド優先証券	477,088,646	15.61
内 アメリカ	477,088,646	15.61
投資証券	24,192,363	0.79
内 アメリカ	24,192,363	0.79
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	77,700,307	2.54
純資産総額	3,056,463,327	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2020年11月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	株式	情報技術	5,832	22,945.14 133,816,088	22,360.24 130,404,947	4.27
2	FIRSTENERGY CORP	アメリカ	株式	公益事業	42,568	3,270.97 139,239,974	2,775.94 118,166,248	3.87
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	株式	一般消費財・サービス	285	349,455.83 99,594,912	331,963.87 94,609,704	3.10
4	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	株式	金融	6,675	10,415.18 69,521,344	12,593.54 84,061,918	2.75
5	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	株式	情報技術	3,730	21,006.55 78,354,461	21,920.79 81,764,547	2.68
6	MASTERCARD INC - A	アメリカ	株式	情報技術	2,228	34,793.79 77,520,700	35,225.98 78,483,489	2.57
7	APPLE INC	アメリカ	株式	情報技術	6,412	12,590.42 80,729,831	12,112.53 77,665,575	2.54
8	VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	株式	コミュニケーション・サービス	11,570	6,070.29 70,233,287	6,293.65 72,817,602	2.38
9	ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	アメリカ	株式	情報技術	1,724	29,584.75 51,004,118	39,166.53 67,523,098	2.21
10	NEXTERA ENERGY INC	アメリカ	株式	公益事業	8,584	7,808.37 67,027,069	7,805.25 67,000,315	2.19
11	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	株式	ヘルスケア	3,917	15,386.10 60,267,389	14,960.16 58,598,947	1.92
12	MICRON TECHNOLOGY INC	アメリカ	株式	情報技術	8,576	5,363.84 46,000,298	6,672.85 57,226,402	1.87
13	BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	株式	金融	18,832	2,453.88 46,211,502	3,011.77 56,717,673	1.86
14	BROADCOM INC	アメリカ	株式	情報技術	1,289	39,509.36 50,927,574	41,031.35 52,889,417	1.73
15	ADOBE INC	アメリカ	株式	情報技術	1,002	49,433.14 49,532,047	49,558.64 49,657,764	1.62

16	ANTHEM INC	アメリカ	株式	ヘルスケア	1,475	30,371.20 44,797,524	32,496.79 47,932,768	1.57
17	UNITED PARCEL SERVICE-CL B	アメリカ	株式	資本財・サービス	2,291	18,116.33 41,504,531	17,545.98 40,197,845	1.32
18	PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	アメリカ	株式	金融	2,741	11,399.22 31,245,370	14,522.78 39,806,948	1.30
19	MEDTRONIC PLC	アメリカ	株式	ヘルスケア	3,337	11,174.40 37,289,001	11,904.75 39,726,168	1.30
20	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	アメリカ	株式	金融	3,605	10,628.98 38,317,494	10,907.41 39,321,217	1.29
21	RENEWABLE ENERGY GROUP INC	アメリカ	株式	エネルギー	6,105	5,922.76 36,159,005	6,427.67 39,240,952	1.28
22	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	株式	ヘルスケア	798	48,517.66 38,717,100	47,103.72 37,588,773	1.23
23	WASTE MANAGEMENT INC	アメリカ	株式	資本財・サービス	2,982	11,903.71 35,496,882	12,382.64 36,925,060	1.21
24	MORGAN STANLEY	アメリカ	株式	金融	5,513	5,262.02 29,009,563	6,632.33 36,564,077	1.20
25	GOLDMAN SACHS GROUP INC	アメリカ	株式	金融	1,487	21,944.68 32,631,746	24,455.70 36,365,635	1.19
26	EATON CORP PLC	アメリカ	株式	資本財・サービス	2,671	11,239.85 30,021,664	12,664.19 33,826,054	1.11
27	PFIZER INC	アメリカ	株式	ヘルスケア	8,571	3,625.44 31,074,349	3,867.82 33,151,126	1.08
28	GENERAL MOTORS CO	アメリカ	株式	一般消費財・サービス	6,924	3,290.19 22,781,319	4,681.28 32,413,206	1.06
29	MCDONALD'S CORP	アメリカ	株式	一般消費財・サービス	1,423	23,647.44 33,650,310	22,682.30 32,276,918	1.06
30	NORFOLK SOUTHERN CORP	アメリカ	株式	資本財・サービス	1,261	22,580.49 28,474,000	25,216.18 31,797,604	1.04

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

□．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	81.06%
ハイブリッド優先証券	15.61%
投資証券	0.79%
合計	97.46%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
エネルギー	3.22%
素材	1.61%
資本財・サービス	8.84%
一般消費財・サービス	6.93%
生活必需品	3.73%
ヘルスケア	10.96%
金融	10.60%
情報技術	22.63%
コミュニケーション・サービス	6.48%
公益事業	6.06%
合計	81.06%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ欧州好配当株マザーファンド

(1) 投資状況（2020年11月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	1,204,274,550	95.94
内 スウェーデン	6,233,754	0.50
内 イギリス	229,688,879	18.30

内 オランダ	127,411,665	10.15
内 フランス	244,273,011	19.46
内 ドイツ	233,185,121	18.58
内 スイス	236,058,145	18.81
内 スペイン	26,143,395	2.08
内 イタリア	89,049,142	7.09
内 フィンランド	12,231,438	0.97
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	50,937,044	4.06
純資産総額	1,255,211,594	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産 (2020年11月30日現在)

投資有価証券の主要銘柄

イ. 主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	NESTLE SA-REG	スイス	株式	生活必需品	5,578	12,483.44 69,632,643	11,761.43 65,605,262	5.23
2	SCHNEIDER ELECTRIC SE	フランス	株式	資本財・サービス	4,443	13,868.37 61,617,168	14,608.43 64,905,259	5.17
3	ENEL SPA	イタリア	株式	公益事業	48,153	961.45 46,297,058	1,057.47 50,920,774	4.06
4	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	株式	ヘルスケア	1,313	36,738.66 48,237,865	34,778.42 45,664,072	3.64
5	GIVAUDAN-REG	スイス	株式	素材	108	463,903.95 50,101,627	418,835.71 45,234,257	3.60
6	KONINKLIJKE PHILIPS NV	オランダ	株式	ヘルスケア	7,785	5,121.34 39,869,682	5,376.94 41,859,536	3.33
7	SANOFI	フランス	株式	ヘルスケア	3,893	10,832.25 42,169,966	10,598.41 41,259,648	3.29
8	NOVARTIS AG-REG	スイス	株式	ヘルスケア	4,389	9,184.95 40,312,760	9,319.46 40,903,146	3.26
9	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ドイツ	株式	コミュニケーション・サービス	21,145	1,800.40 38,069,468	1,884.97 39,857,878	3.18

10	SIEMENS AG-REG	ドイツ	株式	資本財・ サービス	2,800	13,980.31 39,144,874	14,015.13 39,242,388	3.13
11	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	株式	金融	903	36,146.56 32,640,351	42,803.33 38,651,408	3.08
12	KONINKLIJKE DSM NV	オランダ	株式	素材	2,261	18,296.29 41,367,930	17,040.06 38,527,576	3.07
13	MUENCHENER RUECKVER AG-REG	ドイツ	株式	金融	1,239	26,667.07 33,040,502	29,328.80 36,338,388	2.90
14	DEUTSCHE POST AG-REG	ドイツ	株式	資本財・ サービス	6,823	5,217.74 35,600,647	5,047.34 34,438,004	2.74
15	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	株式	ヘルス ケア	15,900	1,975.16 31,405,184	1,916.97 30,479,947	2.43
16	AXA SA	フランス	株式	金融	12,126	1,978.38 23,989,936	2,454.26 29,760,431	2.37
17	TOTAL SE	フランス	株式	エネルギー	6,299	3,628.16 22,853,809	4,689.12 29,536,805	2.35
18	MICHELIN (CGDE)	フランス	株式	一般消 費財・ サービス	2,155	11,627.04 25,056,276	13,464.13 29,015,211	2.31
19	ALLIANZ SE-REG	ドイツ	株式	金融	1,145	20,773.94 23,786,170	24,644.65 28,218,128	2.25
20	CAPGEMINI SE	フランス	株式	情報技 術	1,883	13,949.21 26,266,376	14,894.50 28,046,353	2.23
21	BASF SE	ドイツ	株式	素材	3,676	6,774.97 24,904,821	7,577.22 27,853,896	2.22
22	KONINKLIJKE KPN NV	オランダ	株式	コミュニ ケーション・サー ビス	87,929	303.48 26,685,326	315.67 27,757,113	2.21
23	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	ドイツ	株式	一般消 費財・ サービス	2,996	7,970.27 23,878,930	9,090.93 27,236,439	2.17
24	ENAGAS SA	スペイン	株式	公益事 業	10,115	2,456.50 24,847,548	2,584.61 26,143,395	2.08
25	PRUDENTIAL PLC	イギリス	株式	金融	14,844	1,551.76 23,034,325	1,679.22 24,926,431	1.99

26	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	株式	金融	43,404	410.93 17,836,409	560.91 24,346,157	1.94
27	INTESA SANPAOLO	イタリア	株式	金融	100,555	201.12 20,228,871	241.86 24,321,172	1.94
28	UNILEVER PLC	イギリス	株式	生活必需品	3,752	6,581.95 24,695,659	6,353.90 23,839,844	1.90
29	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	株式	コミュニケーション・サービス	135,523	151.98 20,609,318	173.04 23,452,112	1.87
30	TESCO PLC	イギリス	株式	生活必需品	71,252	315.75 22,507,062	315.61 22,488,335	1.79

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	95.94%
合計	95.94%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
エネルギー	5.19%
素材	8.89%
資本財・サービス	11.04%
一般消費財・サービス	4.98%
生活必需品	10.45%
ヘルスケア	15.95%
金融	21.11%
情報技術	3.21%
コミュニケーション・サービス	7.26%
公益事業	7.86%
合計	95.94%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

(1) 投資状況（2020年11月30日現在）

投資状況

投資資産の種類		時価(円)	投資比率(%)
株式		647,875,152	92.63
	内 韓国	168,224,715	24.05
	内 中国	63,256,714	9.04
	内 台湾	146,051,178	20.88
	内 香港	56,705,316	8.11
	内 シンガポール	31,956,927	4.57
	内 オーストラリア	181,680,302	25.98
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		51,516,393	7.37
純資産総額		699,391,545	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（2020年11月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	株式	情報技術	10,000	5,736.78 57,367,800	6,424.44 64,244,400	9.19
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	株式	情報技術	36,000	1,670.76 60,147,360	1,779.96 64,078,560	9.16
3	BHP GROUP LTD	オーストラリア	株式	素材	10,200	2,784.44 28,401,942	2,977.95 30,375,143	4.34
4	MEDIATEK INC	台湾	株式	情報技術	11,000	2,507.96 27,587,560	2,639.00 29,029,000	4.15
5	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港	株式	金融	5,200	5,041.79 26,217,348	5,175.08 26,910,416	3.85
6	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	オーストラリア	株式	金融	3,750	5,408.08 20,280,377	6,207.40 23,277,773	3.33

7	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	オーストラリア	株式	金融	12,700	1,468.98 18,656,059	1,793.54 22,777,973	3.26
8	MACQUARIE GROUP LTD	オーストラリア	株式	金融	2,000	10,194.03 20,388,105	10,574.35 21,148,712	3.02
9	HYUNDAI MOTOR CO	韓国	株式	一般消費財・サービス	1,200	16,767.60 20,121,120	17,050.20 20,460,240	2.93
10	WESFARMERS LTD	オーストラリア	株式	一般消費財・サービス	5,300	3,681.68 19,512,913	3,837.03 20,336,311	2.91
11	WESTPAC BANKING CORP	オーストラリア	株式	金融	12,100	1,464.21 17,717,176	1,571.27 19,012,383	2.72
12	AIA GROUP LTD	香港	株式	金融	15,400	1,090.09 16,787,386	1,185.90 18,262,860	2.61
13	KB FINANCIAL GROUP INC	韓国	株式	金融	3,800	3,650.25 13,870,950	4,516.89 17,164,182	2.45
14	CSL LTD	オーストラリア	株式	ヘルスケア	600	23,249.12 13,949,474	23,303.73 13,982,238	2.00
15	HANA FINANCIAL GROUP	韓国	株式	金融	4,100	2,741.22 11,239,002	3,353.52 13,749,432	1.97
16	WIN SEMICONDUCTORS CORP	台湾	株式	情報技術	11,000	1,139.91 12,539,087	1,212.12 13,333,320	1.91
17	POYA INTERNATIONAL CO LTD	台湾	株式	一般消費財・サービス	6,000	2,093.00 12,558,000	2,176.72 13,060,320	1.87
18	WILMAR INTERNATIONAL LTD	シンガポール	株式	生活必需品	39,100	362.03 14,155,584	333.29 13,031,643	1.86
19	DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール	株式	金融	6,500	1,756.10 11,415,149	1,995.07 12,968,015	1.85
20	LG CHEM LTD	韓国	株式	素材	160	59,157.60 9,465,216	76,302.00 12,208,320	1.75
21	NAVER CORP	韓国	株式	コミュニケーション・サービス	450	28,118.70 12,653,415	26,799.90 12,059,955	1.72
22	MEGA FINANCIAL HOLDING CO LT	台湾	株式	金融	112,000	101.92 11,415,040	105.92 11,863,488	1.70

23	SANDS CHINA LTD	香港	株式	一般消費財・サービス	26,000	366.49 9,528,740	443.54 11,532,040	1.65
24	WOODSIDE PETROLEUM LTD	オーストラリア	株式	エネルギー	6,300	1,405.14 8,852,418	1,748.16 11,013,435	1.57
25	CTBC FINANCIAL HOLDING CO LT	台湾	株式	金融	141,000	65.88 9,289,644	71.89 10,136,490	1.45
26	GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT	中国	株式	一般消費財・サービス	28,000	224.31 6,280,848	304.18 8,517,040	1.22
27	KIWOOM SECURITIES CO LTD	韓国	株式	金融	700	9,250.44 6,475,308	12,057.60 8,440,320	1.21
28	SOUTH32 LTD	オーストラリア	株式	素材	40,900	160.74 6,574,344	189.19 7,738,223	1.11
29	WEICHAI POWER CO LTD-H	中国	株式	資本財・サービス	32,000	226.72 7,255,296	231.01 7,392,512	1.06
30	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	中国	株式	生活必需品	260	27,335.49 7,107,227	27,476.19 7,143,812	1.02

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	92.63%
合計	92.63%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
エネルギー	1.57%
素材	9.35%
資本財・サービス	1.06%
一般消費財・サービス	13.08%
生活必需品	3.79%
ヘルスケア	2.00%
金融	32.97%
情報技術	26.19%
コミュニケーション・サービス	1.72%

公益事業	0.89%
合計	92.63%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

ダイワ好配当日本株マザーファンド

(1) 投資状況（2020年11月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
株式	14,759,872,890	96.60
内 日本	14,759,872,890	96.60
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	520,233,627	3.40
純資産総額	15,280,106,517	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 投資資産（2020年11月30日現在）

投資有価証券の主要銘柄

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	業種	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	武田薬品	日本	株式	医薬品	110,000	3,587.00 394,570,000	3,745.00 411,950,000	2.70
2	日本電信電話	日本	株式	情報・通 信業	160,900	2,248.00 361,703,200	2,465.00 396,618,500	2.60
3	トヨタ自動車	日本	株式	輸送用 機器	52,200	6,915.00 360,963,000	6,999.00 365,347,800	2.39
4	東京海上HD	日本	株式	保険業	69,600	4,845.00 337,212,000	5,190.00 361,224,000	2.36

5	日立	日本	株式	電気機器	88,500	3,631.53 321,390,568	3,966.00 350,991,000	2.30
6	三菱UFJフィナンシャルG	日本	株式	銀行業	664,700	420.00 279,174,000	448.50 298,117,950	1.95
7	KDDI	日本	株式	情報・通信業	95,000	2,744.00 260,680,000	2,982.50 283,337,500	1.85
8	東京エレクトロン	日本	株式	電気機器	7,800	29,445.00 229,671,000	35,470.00 276,666,000	1.81
9	三井住友フィナンシャルG	日本	株式	銀行業	89,300	2,957.00 264,060,100	3,032.00 270,757,600	1.77
10	アドバンテスト	日本	株式	電気機器	33,900	5,480.00 185,772,000	7,260.00 246,114,000	1.61
11	第一工業製薬	日本	株式	化学	49,500	3,955.00 195,772,500	4,510.00 223,245,000	1.46
12	本田技研	日本	株式	輸送用機器	77,600	2,527.50 196,134,000	2,871.50 222,828,400	1.46
13	村田製作所	日本	株式	電気機器	24,000	7,251.00 174,024,000	9,129.00 219,096,000	1.43
14	富士電機	日本	株式	電気機器	58,000	3,276.29 190,024,857	3,710.00 215,180,000	1.41
15	大塚ホールディングス	日本	株式	医薬品	50,000	4,078.00 203,900,000	4,242.00 212,100,000	1.39
16	三井物産	日本	株式	卸売業	119,000	1,823.00 216,937,000	1,780.00 211,820,000	1.39
17	オリックス	日本	株式	その他金融業	135,000	1,349.50 182,182,500	1,553.00 209,655,000	1.37
18	伊藤忠	日本	株式	卸売業	72,700	2,649.00 192,582,300	2,758.50 200,542,950	1.31
19	デンソー	日本	株式	輸送用機器	39,400	4,809.00 189,474,600	4,929.00 194,202,600	1.27
20	TOKAIホールディングス	日本	株式	卸売業	194,700	1,066.00 207,550,200	991.00 192,947,700	1.26
21	デクセリアルズ	日本	株式	化学	151,200	1,151.00 174,031,200	1,275.00 192,780,000	1.26
22	プレミアグループ	日本	株式	その他金融業	85,600	2,099.00 179,674,400	2,245.00 192,172,000	1.26
23	ソフトバンク	日本	株式	情報・通信業	149,200	1,212.00 180,830,400	1,284.50 191,647,400	1.25
24	旭化成	日本	株式	化学	192,900	908.90 175,326,810	957.10 184,624,590	1.21

25	SBIホールディングス	日本	株式	証券、商品先物取引業	65,000	2,541.00 165,165,000	2,830.00 183,950,000	1.20
26	T D K	日本	株式	電気機器	11,500	12,420.00 142,830,000	14,720.00 169,280,000	1.11
27	MS & AD	日本	株式	保険業	55,000	2,900.50 159,527,500	3,035.00 166,925,000	1.09
28	信越化学	日本	株式	化学	9,300	14,285.00 132,850,500	17,135.00 159,355,500	1.04
29	三洋貿易	日本	株式	卸売業	149,200	1,006.00 150,095,200	1,019.00 152,034,800	0.99
30	日本たばこ産業	日本	株式	食料品	66,800	2,002.50 133,767,000	2,120.00 141,616,000	0.93

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
株式	96.60%
合計	96.60%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

ハ．投資株式の業種別投資比率

業種	投資比率
鉱業	0.29%
建設業	4.14%
食料品	1.48%
繊維製品	1.56%
化学	11.03%
医薬品	4.44%
石油・石炭製品	0.37%
ゴム製品	0.32%
ガラス・土石製品	2.10%
鉄鋼	0.49%
非鉄金属	2.35%
金属製品	2.35%
機械	6.11%
電気機器	11.96%
輸送用機器	5.93%
精密機器	0.57%

その他製品	2.99%
陸運業	0.78%
倉庫・運輸関連業	0.85%
情報・通信業	8.23%
卸売業	9.65%
小売業	0.91%
銀行業	5.21%
証券、商品先物取引業	1.20%
保険業	4.41%
その他金融業	2.63%
不動産業	1.43%
サービス業	2.83%
合計	96.60%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該業種の時価の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報) 運用実績

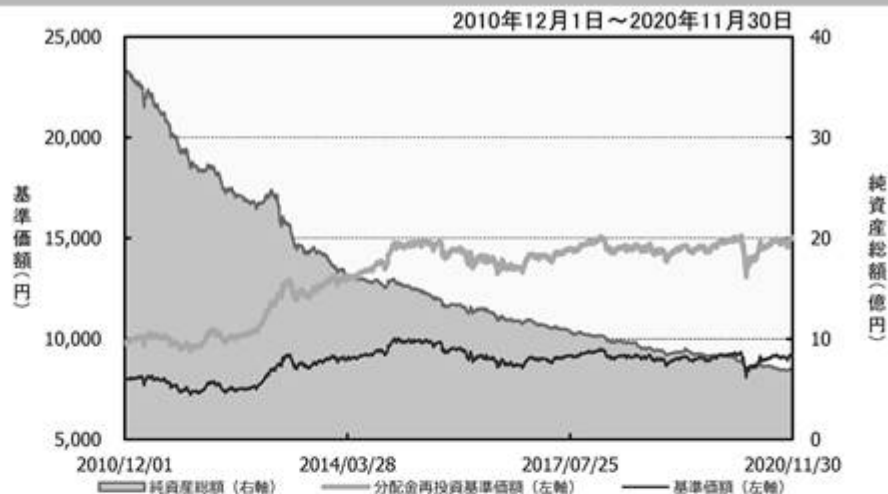
●安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)

2020年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	9,208円
純資産総額	7.0億円



基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1か月間	3.3%
3か月間	0.8%
6か月間	4.4%
1年間	0.9%
3年間	1.6%
5年間	3.8%
設定来	50.2%

※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 90円 設定来分配金合計額: 4,320円

決算期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	19年1月	19年3月	19年5月	19年7月	19年9月	19年11月	20年1月	20年3月	20年5月	20年7月	20年9月	20年11月
分配金	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄	国・地域名	比率
国内債券	33	34.3%	日本円	50.5%	直接利回り(%)	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	0.3%
外国債券	32	34.2%	米ドル	13.5%	最終利回り(%)	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	0.3%
国内株式	144	9.7%	ユーロ	11.6%	修正デュレーション	武田薬品	日本	0.3%
外国株式	148	8.8%	豪ドル	8.9%	残存年数	日本電信電話	日本	0.3%
外国リート等	130	5.4%	英ポンド	5.4%	債券格付別構成	トヨタ自動車	日本	0.2%
国内リート・先物	52	4.8%	ポーランド・ズロチ	2.5%	AAA	日本ビルファンド	日本	0.4%
			カナダ・ドル	1.7%	AA	ジャパンリアルエステイト	日本	0.3%
			デンマーク・クローネ	1.2%	A	大和ハウスリート投資法人	日本	0.3%
			韓国ウォン	0.9%	BBB	野村不動産マスターF	日本	0.3%
コール・ローン、その他	2.8%		その他	3.8%	BB	アドバンス・レジデンス	日本	0.2%
合計	539	-	合計	100.0%	合計	合計		2.8%

※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

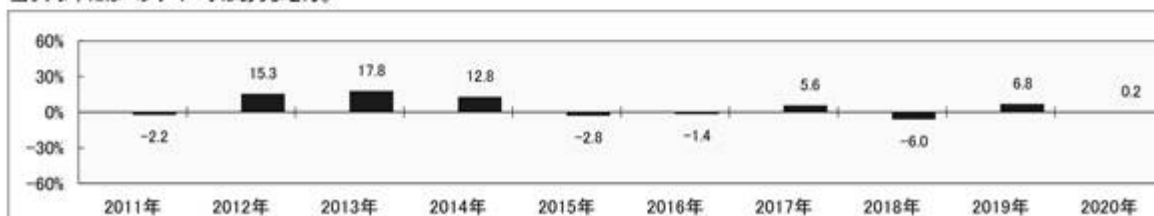
※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2020年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

【インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)】

(1) 【投資状況】 (2020年11月30日現在)

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	632,634,763	98.67
内 日本	632,634,763	98.67
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	8,530,526	1.33
純資産総額	641,165,289	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】 (2020年11月30日現在)

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
				また は 額面金額			
1	ダイワ・外債ソブリン・マザーファン ド	日本	親投資 信託受 益証券	244,449,427	1.8152 443,737,686	1.8213 445,215,741	69.44
2	ダイワ好配当日本株マザーファン ド	日本	親投資 信託受 益証券	22,999,755	2.6782 61,597,951	2.7250 62,674,332	9.78
3	ダイワ・REITアクティブ・マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	11,470,854	2.7807 31,897,003	2.7650 31,716,911	4.95
4	ダイワ・グローバルREIT・マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	11,819,308	2.5833 30,532,822	2.6117 30,868,486	4.81
5	ダイワ欧州好配当株マザーファン ド	日本	親投資 信託受 益証券	12,574,127	1.6317 20,518,460	1.6857 21,196,205	3.31
6	ダイワ北米好配当株マザーファン ド	日本	親投資 信託受 益証券	6,432,966	3.1944 20,549,467	3.2179 20,700,641	3.23
7	ダイワ・アジア・オセアニア好配当 株マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	8,593,065	2.2665 19,476,183	2.3580 20,262,447	3.16

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	98.67%
合計	98.67%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第11特定期間末 (2011年5月10日)	3,784,311,567	3,838,978,686	0.6922	0.7022
第12特定期間末 (2011年11月10日)	2,985,375,195	3,020,666,625	0.6344	0.6419
第13特定期間末 (2012年5月10日)	2,635,394,990	2,655,696,722	0.6491	0.6541
第14特定期間末 (2012年11月12日)	2,219,108,902	2,236,164,141	0.6506	0.6556
第15特定期間末 (2013年5月10日)	2,478,019,937	2,492,374,885	0.8631	0.8681
第16特定期間末 (2013年11月11日)	2,037,542,941	2,050,246,699	0.8019	0.8069
第17特定期間末 (2014年5月12日)	1,862,809,605	1,873,889,871	0.8406	0.8456
第18特定期間末 (2014年11月10日)	1,743,601,679	1,750,248,132	0.9182	0.9217
第19特定期間末 (2015年5月11日)	1,566,235,861	1,572,032,654	0.9457	0.9492
第20特定期間末 (2015年11月10日)	1,377,538,151	1,381,348,553	0.9038	0.9063

第21特定期間末 (2016年5月10日)	1,182,765,323	1,186,295,037	0.8377	0.8402
第22特定期間末 (2016年11月10日)	1,075,473,727	1,078,862,289	0.7935	0.7960
第23特定期間末 (2017年5月10日)	1,046,739,352	1,048,578,766	0.8536	0.8551
第24特定期間末 (2017年11月10日)	944,076,847	945,657,477	0.8959	0.8974
第25特定期間末 (2018年5月10日)	882,622,419	884,155,888	0.8634	0.8649
第26特定期間末 (2018年11月12日)	824,034,111	825,480,307	0.8547	0.8562
第27特定期間末 (2019年5月10日)	766,179,336	767,537,727	0.8461	0.8476
第28特定期間末 (2019年11月11日)	745,325,595	746,608,415	0.8715	0.8730
2019年11月末日	740,759,389	-	0.8798	-
12月末日	728,374,927	-	0.8895	-
2020年1月末日	677,011,464	-	0.8839	-
2月末日	661,806,257	-	0.8674	-
3月末日	616,415,251	-	0.8162	-
4月末日	618,384,581	-	0.8255	-
第29特定期間末 (2020年5月11日)	618,770,175	619,893,950	0.8259	0.8274
5月末日	634,305,661	-	0.8478	-
6月末日	637,201,174	-	0.8622	-
7月末日	639,835,321	-	0.8733	-
8月末日	646,659,372	-	0.8903	-
9月末日	636,424,943	-	0.8793	-
10月末日	624,608,390	-	0.8598	-
第30特定期間末 (2020年11月10日)	643,652,906	644,740,886	0.8874	0.8889
11月末日	641,165,289	-	0.8929	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第11特定期間	0.0300
第12特定期間	0.0225
第13特定期間	0.0200

第14特定期間	0.0150
第15特定期間	0.0150
第16特定期間	0.0150
第17特定期間	0.0150
第18特定期間	0.0135
第19特定期間	0.0105
第20特定期間	0.0095
第21特定期間	0.0075
第22特定期間	0.0075
第23特定期間	0.0045
第24特定期間	0.0045
第25特定期間	0.0045
第26特定期間	0.0045
第27特定期間	0.0045
第28特定期間	0.0045
第29特定期間	0.0045
第30特定期間	0.0045

【収益率の推移】

	収益率(%)
第11特定期間	2.8
第12特定期間	5.1
第13特定期間	5.5
第14特定期間	2.5
第15特定期間	35.0
第16特定期間	5.4
第17特定期間	6.7
第18特定期間	10.8
第19特定期間	4.1
第20特定期間	3.4
第21特定期間	6.5
第22特定期間	4.4
第23特定期間	8.1
第24特定期間	5.5
第25特定期間	3.1
第26特定期間	0.5
第27特定期間	0.5
第28特定期間	3.5

第29特定期間	4.7
第30特定期間	8.0

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第11特定期間	43,351,252	594,154,241
第12特定期間	38,330,975	799,518,890
第13特定期間	25,529,761	670,707,349
第14特定期間	14,620,571	663,919,130
第15特定期間	15,840,309	555,898,540
第16特定期間	15,453,145	345,691,091
第17特定期間	11,255,874	335,954,300
第18特定期間	9,451,531	326,518,165
第19特定期間	29,475,271	272,235,197
第20特定期間	46,300,831	178,366,471
第21特定期間	24,051,624	136,327,052
第22特定期間	10,094,094	66,554,667
第23特定期間	6,086,004	135,234,627
第24特定期間	10,558,332	183,081,271
第25特定期間	12,683,654	44,124,014
第26特定期間	5,144,673	63,327,127
第27特定期間	7,944,020	66,480,539
第28特定期間	4,826,658	55,206,979
第29特定期間	5,358,492	111,388,864
第30特定期間	10,162,525	34,025,491

(参考) マザーファンド

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)」の記載と同じ。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)」の記載と同じ。

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ北米好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ欧州好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ好配当日本株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

（参考情報）運用実績

●インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

2020年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	8,929円
純資産総額	6.4億円



基準価額の騰落率

期間	ファンド
1か月間	4.0%
3か月間	0.6%
6か月間	5.9%
1年間	2.6%
3年間	3.2%
5年間	4.1%
設定来	62.3%

※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において運用管理費用（信託報酬）は控除しています。

分配の推移（10,000口当たり、税引前）

直近1年間分配金合計額：90円 設定来分配金合計額：4,950円

決算期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	19年1月	19年3月	19年5月	19年7月	19年9月	19年11月	20年1月	20年3月	20年5月	20年7月	20年9月	20年11月
分配金	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄	国・地域名	比率	
外国債券	32	68.4%	米ドル	21.1%	直接利回り(%)	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	0.3%	
国内株式	144	9.4%	ユーロ	20.7%	最終利回り(%)	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	0.3%	
外国株式	148	8.7%	日本円	16.2%	修正デュレーション	武田薬品	日本	0.3%	
外国リート等	130	5.1%	豪ドル	16.1%	残存年数	日本電信電話	日本	0.3%	
国内リート・先物	52	4.9%	英ポンド	9.7%	債券格付別構成	トヨタ自動車	日本	0.2%	
			ポーランド・ズロチ	4.9%	AAA	75.9%	日本ビルファンド	日本	0.4%
			カナダ・ドル	3.3%	AA	16.9%	ジャパンリアルエステイト	日本	0.3%
			デンマーク・クローネ	2.3%	A	7.1%	大和ハウスリート投資法人	日本	0.3%
			スウェーデン・クローネ	1.2%	BBB	-	野村不動産マスターF	日本	0.3%
コール・ローン、その他	3.6%		その他	4.5%	BB	-	アドバンス・レジデンス	日本	0.2%
合計	506	-	合計	100.0%	合計	100.0%	合計	2.8%	

※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

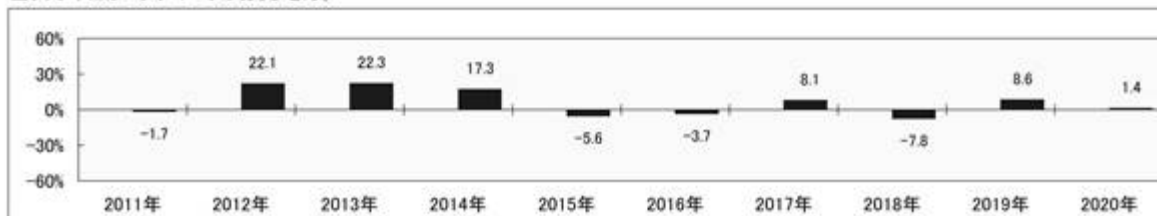
※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



※ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※2020年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

【成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】

(1) 【投資状況】（2020年11月30日現在）

投資状況

投資資産の種類	時価(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	3,265,691,622	99.17
内 日本	3,265,691,622	99.17
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	27,340,039	0.83
純資産総額	3,293,031,661	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、当該資産の地域別の内訳です。

(2) 【投資資産】 (2020年11月30日現在)

【投資有価証券の主要銘柄】

イ．主要銘柄の明細

	銘柄名	地域	種類	株数、口数 また は 額面金額	簿価単価 簿価 (円)	評価単価 時価 (円)	投資 比率 (%)
1	ダイワ好配当日本株マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	423,250,644	2.6782 1,133,549,881	2.7250 1,153,358,004	35.02
2	ダイワ・外債ソブリン・マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	347,255,945	1.8153 630,376,133	1.8213 632,457,252	19.21
3	ダイワ・アジア・オセアニア好配 当株マザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	166,510,923	2.2665 377,397,014	2.3580 392,632,756	11.92
4	ダイワ欧州好配当株マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	230,533,001	1.6318 376,183,753	1.6857 388,609,479	11.80
5	ダイワ北米好配当株マザー ファンド	日本	親投資 信託受 益証券	118,966,516	3.1944 380,026,644	3.2179 382,822,351	11.63
6	ダイワ・グローバルREIT・マ ザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	62,039,345	2.5833 160,266,244	2.6117 162,028,157	4.92
7	ダイワJ-REITアクティブ・マ ザーファンド	日本	親投資 信託受 益証券	55,617,947	2.7807 154,656,825	2.7650 153,783,623	4.67

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価の比率です。

ロ．投資有価証券の種類別投資比率

投資有価証券の種類	投資比率
親投資信託受益証券	99.17%
合計	99.17%

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該有価証券の時価の比率です。

八．投資株式の業種別投資比率

該当事項はありません。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

	純資産総額 (分配落) (円)	純資産総額 (分配付) (円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第11特定期間末 (2011年5月10日)	12,945,429,976	13,026,625,221	0.6377	0.6417
第12特定期間末 (2011年11月10日)	9,751,516,113	9,822,135,392	0.5523	0.5563
第13特定期間末 (2012年5月10日)	9,250,480,800	9,313,005,488	0.5918	0.5958
第14特定期間末 (2012年11月12日)	8,222,189,610	8,278,659,413	0.5824	0.5864
第15特定期間末 (2013年5月10日)	10,860,474,430	10,910,648,846	0.8658	0.8698
第16特定期間末 (2013年11月11日)	9,327,922,637	9,372,482,501	0.8373	0.8413
第17特定期間末 (2014年5月12日)	8,513,202,227	8,552,128,762	0.8748	0.8788
第18特定期間末 (2014年11月10日)	8,133,973,146	8,166,656,270	0.9955	0.9995
第19特定期間末 (2015年5月11日)	7,225,488,064	7,395,649,150	1.0191	1.0431
第20特定期間末 (2015年11月10日)	6,532,848,494	6,559,720,979	0.9724	0.9764

第21特定期間末 (2016年5月10日)	5,551,044,127	5,576,599,040	0.8689	0.8729
第22特定期間末 (2016年11月10日)	5,116,194,834	5,140,460,598	0.8434	0.8474
第23特定期間末 (2017年5月10日)	5,287,390,510	5,309,662,342	0.9496	0.9536
第24特定期間末 (2017年11月10日)	5,057,631,350	5,077,504,216	1.0180	1.0220
第25特定期間末 (2018年5月10日)	4,653,393,092	4,672,305,292	0.9842	0.9882
第26特定期間末 (2018年11月12日)	4,168,672,375	4,186,518,075	0.9344	0.9384
第27特定期間末 (2019年5月10日)	3,794,279,955	3,811,358,261	0.8887	0.8927
第28特定期間末 (2019年11月11日)	3,761,340,903	3,777,373,246	0.9384	0.9424
2019年11月末日	3,717,501,904	-	0.9427	-
12月末日	3,738,361,805	-	0.9650	-
2020年1月末日	3,624,538,064	-	0.9440	-
2月末日	3,343,207,861	-	0.8848	-
3月末日	2,969,211,769	-	0.7872	-
4月末日	3,065,033,588	-	0.8200	-
第29特定期間末 (2020年5月11日)	3,058,775,631	3,073,722,465	0.8186	0.8226
5月末日	3,163,166,324	-	0.8501	-
6月末日	3,194,438,979	-	0.8634	-
7月末日	3,188,659,160	-	0.8629	-
8月末日	3,318,850,694	-	0.9036	-
9月末日	3,229,978,151	-	0.8845	-
10月末日	3,119,423,447	-	0.8623	-
第30特定期間末 (2020年11月10日)	3,291,713,061	3,306,146,732	0.9122	0.9162
11月末日	3,293,031,661	-	0.9266	-

【分配の推移】

	1口当たり分配金(円)
第11特定期間	0.0120
第12特定期間	0.0120
第13特定期間	0.0120

第14特定期間	0.0120
第15特定期間	0.0120
第16特定期間	0.0120
第17特定期間	0.0120
第18特定期間	0.0120
第19特定期間	0.0620
第20特定期間	0.0120
第21特定期間	0.0120
第22特定期間	0.0120
第23特定期間	0.0120
第24特定期間	0.0120
第25特定期間	0.0170
第26特定期間	0.0120
第27特定期間	0.0120
第28特定期間	0.0120
第29特定期間	0.0120
第30特定期間	0.0120

【収益率の推移】

	収益率(%)
第11特定期間	7.1
第12特定期間	11.5
第13特定期間	9.3
第14特定期間	0.4
第15特定期間	50.7
第16特定期間	1.9
第17特定期間	5.9
第18特定期間	15.2
第19特定期間	8.6
第20特定期間	3.4
第21特定期間	9.4
第22特定期間	1.6
第23特定期間	14.0
第24特定期間	8.5
第25特定期間	1.7
第26特定期間	3.8
第27特定期間	3.6
第28特定期間	6.9

第29特定期間	11.5
第30特定期間	12.9

(4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第11特定期間	93,140,306	2,521,746,174
第12特定期間	60,003,410	2,703,995,028
第13特定期間	55,178,530	2,078,826,213
第14特定期間	53,311,081	1,567,032,356
第15特定期間	68,212,204	1,642,058,854
第16特定期間	42,879,794	1,446,517,832
第17特定期間	54,417,883	1,462,750,164
第18特定期間	33,525,544	1,594,378,200
第19特定期間	75,174,262	1,155,910,225
第20特定期間	80,486,286	452,410,273
第21特定期間	25,129,059	354,521,879
第22特定期間	35,863,134	358,150,519
第23特定期間	29,786,290	528,269,188
第24特定期間	54,376,920	654,118,402
第25特定期間	42,388,187	282,554,834
第26特定期間	24,330,190	290,955,202
第27特定期間	29,326,275	221,174,687
第28特定期間	27,601,125	289,091,902
第29特定期間	27,702,752	299,080,075
第30特定期間	31,943,313	160,233,931

(参考) マザーファンド

ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ北米好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ欧州好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

ダイワ好配当日本株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

（参考情報）運用実績

●成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)

2020年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	9,266円
純資産総額	32億円

基準価額の騰落率

期間	ファンド
1か月間	7.9%
3か月間	3.5%
6か月間	10.5%
1年間	1.0%
3年間	-0.7%
5年間	8.5%
設定来	84.4%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移(10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 240円 設定来分配金合計額: 6,200円

決算期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	19年1月	19年3月	19年5月	19年7月	19年9月	19年11月	20年1月	20年3月	20年5月	20年7月	20年9月	20年11月
分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位銘柄	国・地域名	比率
国内株式	144	33.8%	日本円	41.0%	直接利回り(%)	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	1.1%
外国株式	148	31.8%	米ドル	18.1%	最終利回り(%)	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	1.1%
外国債券	32	18.9%	ユーロ	12.7%	修正デュレーション	武田薬品	日本	0.9%
外国リート等	130	6.6%	豪ドル	8.2%	残存年数	日本電信電話	日本	0.9%
国内リート・先物	52	4.6%	英ポンド	5.1%	債券格付別構成	トヨタ自動車	日本	0.8%
			韓国ウォン	3.2%	AAA	日本ビルファンド	日本	0.4%
			台湾ドル	2.5%	AA	ジャパンリアルエステイト	日本	0.3%
			スイス・フラン	2.2%	A	大和ハウスリート投資法人	日本	0.3%
			香港ドル	2.1%	BBB	野村不動産マスターF	日本	0.3%
コール・ローン、その他	4.4%		その他	4.9%	BB	GOODMAN GROUP	オーストラリア	0.2%
合計	506	-	合計	100.0%	合計	合計		6.3%

※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

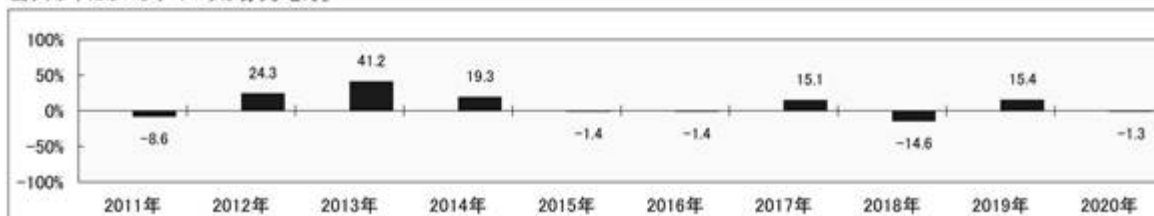
※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2020年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

第2 【管理及び運営】

1 【申込(販売)手続等】

受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、取得の申込みを行なうものとします。

当ファンドには、収益分配金を税金を差引いた後無手数料で自動的に再投資する「分配金再投資コース」と、収益の分配が行なわれるごとに収益分配金を受益者に支払う「分配金支払いコース」があります。

「分配金再投資コース」を利用する場合、取得申込者は、販売会社と別に定める積立投資約款にしたがい契約（以下「別に定める契約」といいます。）を締結します。

販売会社は、受益権の取得申込者に対し、最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位をもって、取得の申込みに応じることができます。

ただし、委託会社および販売会社は、ニューヨーク証券取引所またはICEフューチャーズ・ヨーロップのいずれかの休業日と同じ日付の日を取得申込受付日とする受益権の取得申込みの受け付けを行ないません。

お買付価額（1万口当たり）は、お買付申込受付日の翌営業日の基準価額です。

お買付時の申込手数料については、販売会社が別に定めるものとします。申込手数料には、消費税等が課されます。なお、「分配金再投資コース」の収益分配金の再投資の際には、申込手数料はかかりません。

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた取得の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設された当ファンドの受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないません。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行ないません。

2 【換金(解約)手続等】

委託会社の各営業日の午後3時までに受付けた換金の申込み（当該申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを）、当日の受付分として取扱います。この時刻を過ぎて行なわれる申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

なお、信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の解約請求には制限があります。

<一部解約>

受益者は、自己に帰属する受益権について、最低単位を1口単位として販売会社が定める単位をもって、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

ただし、販売会社は、ニューヨーク証券取引所またはICEフューチャーズ・ヨーロッパのいずれかの休業日と同じ日付の日を一部解約請求受付日とする一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

解約価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

解約価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

解約価額（基準価額）は、販売会社または委託会社に問合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

・お電話によるお問合わせ先（委託会社）

電話番号（コールセンター） 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止することができます。一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回することができます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該振替受益権の解約価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして、当該計算日の翌営業日の基準価額とします。

一部解約金は、販売会社の営業所等において、原則として一部解約の実行の請求受付日から起算して5営業日目から受益者に支払います。

受託会社は、一部解約金について、受益者への支払開始日までに、その全額を委託会社の指定する預金口座等に払込みます。受託会社は、委託会社の指定する預金口座等に一部解約金を払込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

一部解約の実行の請求を行なう受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかる信託契約の一部解約を委託会社が行なうのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権口数で除した1万口当たりの価額をいいます。

純資産総額とは、信託財産に属する資産を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価(注1、注2)により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

(注1) 当ファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・マザーファンドの受益証券：計算日の基準価額で評価します。

(注2) マザーファンドの主要な投資対象資産の評価方法の概要

- ・わが国の金融商品取引所上場株式：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。
- ・海外の金融商品取引所上場の株式およびハイブリッド優先証券：原則として当該取引所における計算時に知り得る直近の日の最終相場で評価します。
- ・海外の店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券：原則として海外店頭市場における計算時に知り得る直近の日の最終相場または最終買気配相場で評価します。
- ・わが国の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券：原則として当該取引所における計算日の最終相場で評価します。
- ・海外の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券：原則として当該取引所における計算日に知り得る直近の日の最終相場で評価します。
- ・公社債等：原則として、次の1.~3.に掲げるいずれかの価額で評価します。
 1. 日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値)、2. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(売気配相場を除く。)、3. 価格情報会社の提供する価額

なお、外貨建資産(外国通貨表示の有価証券(以下「外貨建有価証券」といいます。))、預金その他の資産をいいます。以下同じ。)の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額は、原則として、委託会社の各営業日に計算されます。

基準価額は、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

- ・お電話によるお問合わせ先(委託会社)

電話番号(コールセンター) 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

- ・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

無期限とします。ただし、(5) により信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

(4) 【計算期間】

毎年1月11日から3月10日まで、3月11日から5月10日まで、5月11日から7月10日まで、7月11日から9月10日まで、9月11日から11月10日まで、および11月11日から翌年1月10日までとします。ただし、第1計算期間は、2005年11月14日から2006年1月10日までとします。

上記にかかわらず、上記により各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日の場合には、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日から次の計算期間が開始されるものとします。

(5) 【その他】

信託の終了

1. 委託会社は、受益権の口数が30億口を下ることとなった場合もしくは信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 前2.の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
4. 前3.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるとときは、前1.の信託契約の解約をしません。
5. 委託会社は、信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託契約にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託契約にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
6. 前3.から前5.までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、前3.の一定の期間が一月を下らずにその公告および書面の交付を行なうことが困難な場合には適用しません。
7. 委託会社は、監督官庁より信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し、信託を終了させます。
8. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁が信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、の4.に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
9. 受託会社が辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において、委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社は信託契約を解約し、信託を終了させます。

信託約款の変更

1. 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届出ます。
2. 委託会社は、前1.の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託約款にかかる知られたる受益者に対して交付します。ただし、信託約款にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
3. 前2.の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は一月を下らないものとします。
4. 前3.の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるとときは、前1.の信託約款の変更をしません。
5. 委託会社は、当該信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を信託約款にかかる知られたる受益者に対して交付しま

す。ただし、信託約款にかかるすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行ないません。

6. 委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、前1.から前5.までの規定にしたがいます。

反対者の買取請求権

前 1.の1.から6.までの規定にしたがい信託契約の解約を行なう場合または前 1.の規定にしたがい信託約款の変更を行なう場合において、前 1.の3.または前 1.の3.の一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買取るべき旨を請求することができます。

運用報告書

1. 委託会社は、運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況、費用明細などのうち重要な事項を記載した交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を毎年5月および11月の計算期末に作成し、信託財産にかかる知られたる受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。

2. 委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。

・委託会社のホームページ

アドレス <https://www.daiwa-am.co.jp/>

3. 前2.の規定にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

公告

1. 委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

2. 前1.の電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結される受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約は、期間満了の1か月（または3か月）前までに、委託会社および販売会社いずれからも何ら意思の表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

4 【受益者の権利等】

信託契約締結当初および追加信託当初の受益者は、委託会社の指定する受益権取得申込者とし、分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

受益者の有する主な権利の内容、その行使の方法等は、次のとおりです。

収益分配金および償還金にかかる請求権

受益者は、収益分配金(分配金額は、委託会社が決定します。)および償還金(信託終了時における信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。)を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払います。

上記にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者については、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が再投資されます。再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。)に、原則として信託終了日から起算して5営業日までに支払います。

収益分配金および償還金の支払いは、販売会社の営業所等において行なうものとしします。

受益者が、収益分配金については支払開始日から5年間その支払いを請求しないときならびに信託終了による償還金については支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は、委託会社に帰属します。

換金請求権

受益者は、保有する受益権を換金する権利を有します。権利行使の方法等については、「2 換金(解約)手続等」をご参照下さい。

第3 【ファンドの経理状況】

【安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（2020年5月12日から2020年11月10日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	9,896,049	10,235,625
親投資信託受益証券	718,713,868	692,046,893
流動資産合計	728,609,917	702,282,518
資産合計	728,609,917	702,282,518
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	1,251,507	1,143,656
未払解約金	82,767	1,258,575
未払受託者報酬	66,558	63,558
未払委託者報酬	1,531,166	1,462,309
その他未払費用	31,729	29,487
流動負債合計	2,963,727	3,957,585
負債合計	2,963,727	3,957,585
純資産の部		
元本等		
元本	1 834,338,015	1 762,437,992
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 108,691,825	2 64,113,059
（分配準備積立金）	16,063,036	17,332,974
元本等合計	725,646,190	698,324,933
純資産合計	725,646,190	698,324,933
負債純資産合計	728,609,917	702,282,518

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前 期 自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
営業収益		
受取利息	11	22
有価証券売買等損益	29,509,189	46,333,025
営業収益合計	29,509,178	46,333,047
営業費用		
支払利息	1,564	1,588
受託者報酬	212,045	197,040
委託者報酬	1 4,877,795	1 4,532,905
その他費用	31,733	29,549
営業費用合計	5,123,137	4,761,082
営業利益又は営業損失（ ）	34,632,315	41,571,965
経常利益又は経常損失（ ）	34,632,315	41,571,965
当期純利益又は当期純損失（ ）	34,632,315	41,571,965
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	78,856	1,454,968
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	75,886,904	108,691,825
剰余金増加額又は欠損金減少額	7,017,184	9,012,384
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	7,017,184	9,012,384
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,276,412	1,033,116
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,276,412	1,033,116
分配金	2 3,834,522	2 3,517,499
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	108,691,825	64,113,059

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当 期	
	自 2020年5月12日	至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間末日 2020年5月10日が休日のため、前特定期間末日を2020年5月11日としております。このため、当特定期間は183日となっております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首元本額	908,823,980円	834,338,015円
期中追加設定元本額	11,410,328円	10,881,980円
期中一部解約元本額	85,896,293円	82,782,003円
2. 特定期間末日における受益権の総数	834,338,015口	762,437,992口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は108,691,825円でありま す。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は64,113,059円でありま す。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日

1. 1 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	220,238円	204,686円
2. 2 分配金の計算過程	<p>(自2019年11月12日 至2020年1月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,289,084円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,842,285円)及び分配準備積立金(15,655,354円)より分配対象額は19,786,723円(1万口当たり223.13円)であり、うち1,330,199円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年1月11日 至2020年3月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(890,519円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,786,976円)及び分配準備積立金(15,598,027円)より分配対象額は18,275,522円(1万口当たり218.81円)であり、うち1,252,816円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2020年5月12日 至2020年7月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,429,909円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,854,292円)及び分配準備積立金(15,606,590円)より分配対象額は19,890,791円(1万口当たり244.95円)であり、うち1,218,035円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年7月11日 至2020年9月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,191,574円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,846,424円)及び分配準備積立金(15,876,218円)より分配対象額は19,914,216円(1万口当たり258.45円)であり、うち1,155,808円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>

	<p>(自2020年3月11日 至2020年5月11日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,176,482円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,876,652円)及び分配準備積立金(15,138,061円)より分配対象額は19,191,195円(1万口当たり230.02円)であり、うち1,251,507円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2020年9月11日 至2020年11月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,859,859円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(1,948,641円)及び分配準備積立金(16,616,771円)より分配対象額は20,425,271円(1万口当たり267.89円)であり、うち1,143,656円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>
--	--	---

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当 期 2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	493,871	4,350,173
合計	493,871	4,350,173

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.8697円 (8,697円)	0.9159円 (9,159円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益 証券	ダイワ・外債ソブリン・マザーファン ド	132,584,316	240,680,308	
	ダイワ日本国債マザーファンド	191,505,167	241,583,768	
	ダイワ・グローバルREIT・マザー ファンド	14,038,742	36,266,282	
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	26,226,959	70,241,041	
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	7,145,177	22,824,553	
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	14,160,532	23,107,156	
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株 マザーファンド	10,125,308	22,949,010	
	ダイワJ-REITアクティブ・マ ザーファンド	12,369,107	34,394,775	
親投資信託受益証券 合計			692,046,893	
合計			692,046,893	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券、「ダイワ日本国債マザーファンド」受益証券、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」受益証券、「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」受益証券、「ダイワ北米好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」受益証券及び「ダイワ好配当日本株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの特定期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	284,674,560	22,731,779
コール・ローン	38,689,913	44,020,875
国債証券	20,381,004,999	20,192,911,498
特殊債券	956,147,019	1,008,700,299
派生商品評価勘定	40,645,946	17,106,401
未収入金	216,367,896	-
未収利息	119,242,946	135,324,846
前払費用	3,396,332	1,601,299
差入委託証拠金	121,359,422	124,315,000
流動資産合計	22,161,529,033	21,546,711,997
資産合計	22,161,529,033	21,546,711,997
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	3,856,553	28,985,213
未払金	136,664,553	-
未払解約金	42,596,781	20,685,577
その他未払費用	70	-
流動負債合計	183,117,957	49,670,790
負債合計	183,117,957	49,670,790
純資産の部		
元本等		

元本	1	12,871,238,123	11,842,151,061
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		9,107,172,953	9,654,890,146
元本等合計		21,978,411,076	21,497,041,207
純資産合計		21,978,411,076	21,497,041,207
負債純資産合計		22,161,529,033	21,546,711,997

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び特殊債券</p> <p>個別法に基づき、時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、又は価格情報会社の提供する価額等で評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p>

外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	15,119,396,038円	12,871,238,123円
期中追加設定元本額	114,729,950円	157,024,254円
期中一部解約元本額	2,362,887,865円	1,186,111,316円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワF0Fs用外債ソブリン・オープン（適格機関投資家専用）	1,386,109,902円	1,344,677,450円
ダイワ外債ソブリン・オープン（毎月分配型）	783,907,266円	722,575,819円
ダイワ・バランス3資産（外債・海外リート・好配当日本株）	35,169,313円	37,705,700円
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	144,644,268円	132,584,316円
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	248,806,909円	244,438,546円
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	340,657,390円	346,706,403円
京都応援バランスファンド（隔月分配型）	177,395,698円	176,525,849円
6資産バランスファンド（分配型）	855,791,158円	870,140,084円
6資産バランスファンド（成長型）	86,067,233円	97,974,458円

ダイワ海外ソブリン・ファンド(毎月分配型)	5,786,616,503円	5,086,180,833円
世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)	51,359,696円	52,974,306円
ダイワ外債ソブリン・ファンド(毎月分配型)	222,544,066円	206,216,132円
兵庫応援バランスファンド(毎月分配型)	839,175,834円	748,565,093円
『しがぎん』SRI三資産バランス・オープン(奇数月分配型)	18,919,916円	16,728,463円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	185,032,152円	186,763,067円
ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	797,973,019円	780,181,107円
ダイワ海外ソブリン・ファンド(1年決算型)	13,739,078円	19,670,019円
四国アライアンス 地域創生ファンド(年1回決算型)	650,376,744円	579,416,218円
四国アライアンス 地域創生ファンド(年2回決算型)	246,951,978円	192,127,198円
計	12,871,238,123円	11,842,151,061円
2. 期末日における受益権の総数	12,871,238,123口	11,842,151,061口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動、金利変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資すること、および外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)	当期間の損益に含まれた評価差額(円)
国債証券	72,956,251	101,364,737
特殊債券	13,167,817	7,212,817
合計	86,124,068	108,577,554

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年4月11日から2020年5月11日まで、及び2020年10月13日から2020年11月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2020年5月11日 現在				2020年11月10日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	2,335,343,650	-	2,329,703,905	5,639,745	2,312,236,913	-	2,338,966,812	26,729,899
アメリカ・ドル	142,292,248	-	143,192,660	900,412	299,200,718	-	297,898,122	1,302,596
カナダ・ドル	1,926,998,763	-	1,917,502,465	9,496,298	2,013,036,195	-	2,041,068,690	28,032,495
スウェーデ ン・クローナ	266,052,639	-	269,008,780	2,956,141	-	-	-	-
買 建	2,269,672,072	-	2,300,821,720	31,149,648	2,312,236,913	-	2,327,088,000	14,851,087
オーストラ リア・ドル	1,926,998,763	-	1,956,360,000	29,361,237	2,013,036,195	-	2,028,840,000	15,803,805
ノルウェー ・クローネ	266,052,639	-	267,008,000	955,361	-	-	-	-
ユーロ	76,620,670	-	77,453,720	833,050	299,200,718	-	298,248,000	952,718
合計	4,605,015,722	-	4,630,525,625	36,789,393	4,624,473,826	-	4,666,054,812	11,878,812

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.7076円 (17,076円)	1.8153円 (18,153円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考	
国債証券	アメリカ・ドル	2.25% United States Treasury Note/Bond 20251115	7,296,700.000	7,945,960.360		
		1.625% United States Treasury Note/Bond 20260215	8,689,700.000	9,205,607.480		
		2.5% United States Treasury Note/Bond 20460215	11,791,400.000	13,846,523.100		
		1.375% United States Treasury Note/Bond 20210430	8,237,900.000	8,285,515.060		
		2.375% United States Treasury Note/Bond 20240229	8,000,000.000	8,555,600.000		
	アメリカ・ドル	小計		アメリカ・ドル 47,839,206.000 (5,033,162,863)		
	イギリス・ポンド		1.5% United Kingdom Gilt 20260722	4,500,000.000	4,868,505.000	
			1.625% United Kingdom Gilt 20281022	3,200,000.000	3,552,096.000	
			5% United Kingdom Gilt 20250307	7,124,500.000	8,664,745.650	

	4.25% United Kingdom Gilt 20461207	1,000,000.000	1,758,630.000	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 18,843,976.650 (2,610,267,646)	
オーストラリア・ドル	4.75% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20270421	887,000.000	1,134,286.730	
	3.25% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20290421	2,900,000.000	3,530,750.000	
	4.5% AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 20330421	19,000,000.000	27,051,820.000	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 31,716,856.730 (2,428,242,552)	
カナダ・ドル	3.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20451201	1,500,000.000	2,225,400.000	
	2.25% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20250601	6,681,000.000	7,229,510.100	
	1.5% CANADIAN GOVERNMENT BOND 20260601	14,367,000.000	15,145,404.060	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 24,600,314.160 (1,988,443,394)	
スウェーデン・クローナ	1.5% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20231113	13,630,000.000	14,399,277.200	
	1% SWEDISH GOVERNMENT BOND 20261112	14,230,000.000	15,292,554.100	
スウェーデン・クローナ 小計			スウェーデン・クローナ 29,691,831.300 (361,943,424)	
デンマーク・クローネ	4.5% DANISH GOVERNMENT BOND 20391115	5,500,000.000	10,417,110.000	
	1.75% DANISH GOVERNMENT BOND 20251115	29,000,000.000	32,451,580.000	

デンマーク・クローネ 小計			デンマーク・クローネ 42,868,690.000 (715,478,436)	
ノルウェー・クローネ	2% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20230524	ノルウェー・クローネ 4,000,000.000	ノルウェー・クローネ 4,176,040.000	
	3% NORWEGIAN GOVERNMENT BOND 20240314	20,000,000.000	21,779,000.000	
ノルウェー・クローネ 小計			ノルウェー・クローネ 25,955,040.000 (301,597,565)	
ポーランド・ズロチ	1.75% Poland Government Bond 20210725	ポーランド・ズロチ 25,593,000.000	ポーランド・ズロチ 25,921,870.050	
	2.75% Poland Government Bond 20280425	25,000,000.000	28,292,750.000	
ポーランド・ズロチ 小計			ポーランド・ズロチ 54,214,620.050 (1,501,202,829)	
ユーロ	2.5% GERMAN GOVERNMENT BOND 20460815	ユーロ 695,000.000	ユーロ 1,175,557.750	
	3.25% FRENCH GOVERNMENT BOND 20450525	5,200,000.000	8,854,040.000	
	3.75% Belgium Government Bond 20450622	1,500,000.000	2,711,070.000	
	1% IRISH TREASURY 20260515	3,420,000.000	3,707,587.800	
	1.1% IRISH TREASURY 20290515	2,387,600.000	2,672,440.680	
	1.95% SPANISH GOVERNMENT BOND 20260430	11,186,000.000	12,565,010.080	
	1.4% SPANISH GOVERNMENT BOND 20280430	9,536,000.000	10,581,717.760	
ユーロ 小計			ユーロ 42,267,424.070 (5,252,572,789)	
国債証券 合計			20,192,911,498 [20,192,911,498]	
特殊債券	カナダ・ドル	カナダ・ドル	カナダ・ドル	

	2.55% CANADA HOUSING TRUST 20250315	3,750,000.000	4,055,062.500	
	2.25% CANADA HOUSING TRUST 20251215	7,830,000.000	8,424,218.700	
	カナダ・ドル 小計		カナダ・ドル 12,479,281.200 (1,008,700,299)	
特殊債券	合計		1,008,700,299 [1,008,700,299]	
合計			21,201,611,797 [21,201,611,797]	

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における () 内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における [] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	国債証券 5銘柄	100%	23.7%
イギリス・ポンド	国債証券 4銘柄	100%	12.3%
オーストラリア・ドル	国債証券 3銘柄	100%	11.5%
カナダ・ドル	国債証券 3銘柄 特殊債券 2銘柄	100%	14.1%
スウェーデン・クローナ	国債証券 2銘柄	100%	1.7%
デンマーク・クローネ	国債証券 2銘柄	100%	3.4%
ノルウェー・クローネ	国債証券 2銘柄	100%	1.4%
ポーランド・ズロチ	国債証券 2銘柄	100%	7.1%
ユーロ	国債証券 7銘柄	100%	24.8%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

「ダイワ日本国債マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	621,681,035	728,990,020
国債証券	197,569,900,120	186,069,680,040
未収利息	1,247,510,073	1,030,267,090
前払費用	9,167,104	22,152,238
流動資産合計	199,448,258,332	187,851,089,388
資産合計	199,448,258,332	187,851,089,388
負債の部		
流動負債		
未払解約金	35,750,677	156,995,062
その他未払費用	1,039	-
流動負債合計	35,751,716	156,995,062
負債合計	35,751,716	156,995,062
純資産の部		
元本等		
元本	1 157,940,671,434	148,784,226,234
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	41,471,835,182	38,909,868,092
元本等合計	199,412,506,616	187,694,094,326
純資産合計	199,412,506,616	187,694,094,326
負債純資産合計	199,448,258,332	187,851,089,388

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
有価証券の評価基準及び評価 方法	国債証券

個別法に基づき、時価で評価しております。

時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。

なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	169,391,102,770円	157,940,671,434円
期中追加設定元本額	1,061,567,699円	1,957,010,009円
期中一部解約元本額	12,511,999,035円	11,113,455,209円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ日本国債ファンドV A (適格機関投資家専用)	4,037,395円	4,019,372円
安定重視ポートフォリオ(奇 数月分配型)	195,479,908円	191,505,167円
6資産バランスファンド(分 配型)	220,151,306円	243,972,678円
6資産バランスファンド(成 長型)	115,513,132円	140,913,917円
ダイワ日本国債ファンド(毎 月分配型)	146,633,590,611円	137,380,570,079円
世界6資産均等分散ファンド (毎月分配型)	69,107,073円	77,047,985円
ダイワ・株/債券/コモディ ティ・バランスファンド	35,832,457円	35,832,457円
ダイワ日本国債ファンド(年 1回決算型)	10,458,231,028円	10,510,509,395円
ダイワ・ニッポン応援ファン ドVol.4 - 日本の真価 - (国債コース)	208,728,524円	199,855,184円
計	157,940,671,434円	148,784,226,234円
2. 期末日における受益権の総数	157,940,671,434口	148,784,226,234口

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）

国債証券	1,626,414,200	2,859,933,180
合計	1,626,414,200	2,859,933,180

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年3月11日から2020年5月11日まで、及び2020年3月11日から2020年11月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額	1.2626円	1.2615円
(1万口当たり純資産額)	(12,626円)	(12,615円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
国債証券	1 30年国債	4,850,000,000	6,055,516,000	
	4 30年国債	8,700,000,000	11,189,940,000	
	6 30年国債	5,250,000,000	6,581,032,500	
	8 30年国債	4,800,000,000	5,756,304,000	
	12 30年国債	5,100,000,000	6,354,447,000	
	15 30年国債	4,700,000,000	6,152,159,000	
	16 30年国債	4,700,000,000	6,170,066,000	
	19 30年国債	4,400,000,000	5,699,100,000	
	20 30年国債	5,000,000,000	6,640,100,000	
	48 20年国債	12,701,000,000	12,737,705,890	
	54 20年国債	11,987,000,000	12,296,504,340	
	56 20年国債	300,000,000	310,329,000	
	59 20年国債	4,295,000,000	4,461,989,600	
	63 20年国債	3,000,000,000	3,151,770,000	

6 4	2 0 年国債	5,000,000,000	5,291,100,000	
6 8	2 0 年国債	5,725,000,000	6,173,210,250	
7 0	2 0 年国債	5,438,000,000	5,935,305,100	
7 5	2 0 年国債	5,874,000,000	6,443,249,340	
8 0	2 0 年国債	5,673,000,000	6,253,291,170	
8 6	2 0 年国債	5,000,000,000	5,645,850,000	
8 8	2 0 年国債	6,060,000,000	6,879,796,800	
9 4	2 0 年国債	5,200,000,000	5,931,432,000	
9 5	2 0 年国債	5,805,000,000	6,726,892,050	
1 0 1	2 0 年国債	5,360,000,000	6,340,880,000	
1 0 2	2 0 年国債	3,000,000,000	3,566,580,000	
1 0 6	2 0 年国債	2,000,000,000	2,355,900,000	
1 1 0	2 0 年国債	5,200,000,000	6,132,672,000	
1 1 1	2 0 年国債	500,000,000	596,195,000	
1 1 6	2 0 年国債	5,600,000,000	6,749,176,000	
1 2 1	2 0 年国債	4,500,000,000	5,327,055,000	
1 4 0	2 0 年国債	5,200,000,000	6,164,132,000	
国債証券 合計			186,069,680,040	
合計			186,069,680,040	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	2,967,380,048	2,646,808,488
コール・ローン	541,089,442	604,367,516
投資証券	63,702,896,105	72,157,103,498

派生商品評価勘定		432,365	19,208
未収入金		575,807,118	251,773,611
未収配当金		102,565,938	184,565,349
流動資産合計		67,890,171,016	75,844,637,670
資産合計		67,890,171,016	75,844,637,670
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		1,235,293	-
未払金		523,378,823	499,261,921
未払解約金		92,866,000	80,857,000
その他未払費用		497	-
流動負債合計		617,480,613	580,118,921
負債合計		617,480,613	580,118,921
純資産の部			
元本等			
元本	1	31,000,116,548	29,135,373,353
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		36,272,573,855	46,129,145,396
元本等合計		67,272,690,403	75,264,518,749
純資産合計		67,272,690,403	75,264,518,749
負債純資産合計		67,890,171,016	75,844,637,670

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	34,363,799,540円	31,000,116,548円
期中追加設定元本額	375,782,860円	194,421,655円

期中一部解約元本額	3,739,465,852円	2,059,164,850円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ・グローバルREIT・オープン(毎月分配型)	27,208,317,802円	25,436,427,713円
ダイワ・バランス3資産(外債・海外リート・好配当日本株)	29,859,080円	28,426,536円
安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	16,500,914円	14,038,742円
インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	14,225,300円	12,577,474円
成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	63,135,860円	63,556,987円
6資産バランスファンド(分配型)	144,981,629円	127,674,682円
6資産バランスファンド(成長型)	313,360,926円	288,986,037円
りそな ワールド・リート・ファンド	1,318,399,647円	1,258,913,092円
世界6資産均等分散ファンド(毎月分配型)	44,977,636円	38,924,605円
『しがぎん』SRI三資産バランス・オープン(奇数月分配型)	3,938,498円	3,026,326円
常陽3分法ファンド	173,607,530円	160,263,516円
ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	46,129,629円	40,408,463円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)	323,623,022円	336,736,284円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)	363,601,190円	408,165,630円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)	467,936,106円	528,527,287円
ダイワ・グローバルREITファンド(ダイワSMA専用)	19,290,443円	-円
ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(分配型)	393,248,980円	336,241,478円

ダイワ外国3資産バランス・ ファンド（部分為替ヘッジあり）	25,223,564円	24,726,545円
ダイワ外国3資産バランス・ ファンド（為替ヘッジなし）	29,758,792円	27,751,956円
計	31,000,116,548円	29,135,373,353円
2. 期末日における受益権の総数	31,000,116,548口	29,135,373,353口

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
-----------------	--

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	2,341,157,601	2,270,700,628
合計	2,341,157,601	2,270,700,628

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年3月17日から2020年5月11日まで、及び2020年9月16日から2020年11月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種 類	2020年5月11日 現在				2020年11月10日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引以外の 取引								
為替予約取引								
売 建	203,073,384	-	204,290,264	1,216,880	153,267,504	-	153,256,439	11,065
アメリカ・ドル	56,700,492	-	56,695,190	5,302	-	-	-	-
イギリス・ポ ンド	146,372,892	-	147,595,074	1,222,182	153,267,504	-	153,256,439	11,065
買 建	203,073,384	-	203,487,336	413,952	153,267,504	-	153,275,647	8,143

アメリカ・ドル	146,372,892	-	146,799,955	427,063	153,267,504	-	153,275,647	8,143
オーストラリ ア・ドル	32,222,391	-	32,217,258	5,133	-	-	-	-
シンガポー ル・ドル	24,478,101	-	24,470,123	7,978	-	-	-	-
合計	406,146,768	-	407,777,600	802,928	306,535,008	-	306,532,086	19,208

(注) 1. 時価の算定方法

- (1) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

期末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 期末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

- (2) 期末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、期末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。
3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額	2.1701円	2.5833円
(1万口当たり純資産額)	(21,701円)	(25,833円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	アメリカ・ドル	SIMON PROPERTY GROUP INC	265,731	21,019,322.100	
		APARTMENT INVT & MGMT CO -A	126,872	3,651,376.160	

SBA COMMUNICATIONS CORP	7,694	2,288,734.180	
EQUINIX INC	41,495	30,839,498.950	
HOST HOTELS & RESORTS INC	571,336	7,793,023.040	
CYRUSONE INC	157,308	10,898,298.240	
HEALTHCARE TRUST OF AME-CL A	179,604	4,784,650.560	
INVITATION HOMES INC	320,233	8,835,228.470	
AMERICOLD REALTY TRUST	173,353	6,065,621.470	
VICI PROPERTIES INC	639,094	15,223,219.080	
VENTAS INC	357,776	16,761,805.600	
WEYERHAEUSER CO	117,275	3,300,118.500	
CROWN CASTLE INTL CORP	20,161	3,261,646.580	
VEREIT INC	1,887,139	13,568,529.410	
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	142,579	4,920,401.290	
SUN COMMUNITIES INC	79,286	10,743,253.000	
PROLOGIS INC	217,682	21,683,304.020	
SITE CENTERS CORP	292,348	2,651,596.360	
DUKE REALTY CORP	482,349	18,647,612.340	
ESSEX PROPERTY TRUST INC	57,808	14,709,245.600	
WELLTOWER INC	328,594	21,904,076.040	
HEALTHPEAK PROPERTIES INC	451,987	13,157,341.570	
KILROY REALTY CORP	117,350	6,524,660.000	
PUBLIC STORAGE	104,754	23,263,768.320	
UDR INC	360,402	13,749,336.300	
WP CAREY INC	121,353	8,096,672.160	
AGREE REALTY CORP	51,679	3,280,582.920	
DIGITAL REALTY TRUST INC	35,096	4,850,969.120	
EXTRA SPACE STORAGE INC	98,138	10,492,914.960	
MEDICAL PROPERTIES TRUST INC	443,445	8,509,709.550	
アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 335,476,515.890 (35,295,484,236)	
イギリス・ポンド		イギリス・ポンド	
ASSURA PLC	5,477,734	4,130,211.430	
LAND SECURITIES GROUP PLC	1,223,330	7,870,905.220	
SEGRO PLC	1,257,851	11,383,551.550	
UNITE GROUP PLC/THE	257,451	2,547,477.640	
DERWENT LONDON PLC	180,722	6,028,885.920	
WORKSPACE GROUP PLC	283,208	1,981,039.960	

	SAFESTORE HOLDINGS PLC	570,099	4,614,951.400	
	BIG YELLOW GROUP PLC	224,320	2,572,950.400	
	LONDONMETRIC PROPERTY PLC	1,654,182	3,936,953.160	
	TRITAX BIG BOX REIT PLC	2,387,262	3,948,531.340	
イギリス・ポンド 小計			イギリス・ポンド 49,015,458.020 (6,789,621,245)	
オーストラリア・ドル			オーストラリア・ドル	
	NATIONAL STORAGE REIT	6,490,724	12,072,746.640	
	MIRVAC GROUP	11,354,406	26,569,310.040	
	STOCKLAND	2,903,311	12,745,535.290	
	GOODMAN GROUP	2,434,963	48,626,211.110	
	CHARTER HALL GROUP	2,137,211	29,450,767.580	
	INGENIA COMMUNITIES GROUP	2,465,159	12,103,930.690	
オーストラリア・ドル 小計			オーストラリア・ドル 141,568,501.350 (10,838,484,464)	
カナダ・ドル			カナダ・ドル	
	ALLIED PROPERTIES REAL ESTAT	384,355	14,713,109.400	
カナダ・ドル 小計			カナダ・ドル 14,713,109.400 (1,189,260,633)	
シンガポール・ドル			シンガポール・ドル	
	KEPPEL DC REIT	6,228,841	18,375,080.950	
	FRASERS LOGISTICS & COMMERC I	6,433,900	8,621,426.000	
	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	8,344,632	15,854,800.800	
	PARKWAYLIFE REAL ESTATE	5,193,277	21,500,166.780	
	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	3,375,635	10,802,032.000	
シンガポール・ドル 小計			シンガポール・ドル 75,153,506.530 (5,870,240,395)	
ニュージーランド・ドル			ニュージーランド・ドル	
	GOODMAN PROPERTY TRUST	5,532,475	13,609,888.500	
ニュージーランド・ドル 小計			ニュージーランド・ドル 13,609,888.500 (977,326,093)	
ユーロ			ユーロ	
	ALSTRIA OFFICE REIT-AG	570,304	7,328,406.400	

	NSI NV	82,711	2,493,736.650	
	ICADE	68,036	3,796,408.800	
	ARGAN	39,380	3,260,664.000	
	GECINA SA	67,076	8,672,926.800	
	KLEPIERRE	765,331	11,479,965.000	
	COVIVIO	111,561	6,777,330.750	
	AEDIFICA	125,110	11,560,164.000	
	COFINIMMO	52,664	6,635,664.000	
	WAREHOUSES DE PAUW SCA	167,359	5,107,796.680	
	XIOR STUDENT HOUSING NV	63,361	3,389,813.500	
	INMOBILIARIA COLONIAL SOCIMI	73,274	574,468.160	
	ユーロ 小計		ユーロ 71,077,344.740 (8,832,781,630)	
	香港・ドル LINK REIT	2,765,092	香港・ドル 174,200,796.000	
	香港・ドル 小計		香港・ドル 174,200,796.000 (2,363,904,802)	
投資証券 合計			72,157,103,498 [72,157,103,498]	
合計			72,157,103,498 [72,157,103,498]	

投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。
2. 合計欄における[]内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	投資証券 30銘柄	100%	49.0%
イギリス・ポンド	投資証券 10銘柄	100%	9.4%
オーストラリア・ドル	投資証券 6銘柄	100%	15.0%
カナダ・ドル	投資証券 1銘柄	100%	1.6%
シンガポール・ドル	投資証券 5銘柄	100%	8.1%
ニュージーランド・ドル	投資証券 1銘柄	100%	1.4%
ユーロ	投資証券 12銘柄	100%	12.2%
香港・ドル	投資証券 1銘柄	100%	3.3%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,123,028,053	2,020,168,158
投資証券 2	79,671,994,300	84,210,483,810
未収入金	2,679,353,025	668,963,471
未収配当金	1,062,927,913	839,221,098
前払金	287,802,500	5,280,000
流動資産合計	85,825,105,791	87,744,116,537
資産合計	85,825,105,791	87,744,116,537
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	253,280,070	612,000
未払金	233,016,669	497,558,089
未払解約金	1,006,718,000	21,669,000
その他未払費用	5,547	-
流動負債合計	1,493,020,286	519,839,089
負債合計	1,493,020,286	519,839,089
純資産の部		
元本等		
元本 1	32,038,794,221	31,367,619,624
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	52,293,291,284	55,856,657,824
元本等合計	84,332,085,505	87,224,277,448
純資産合計	84,332,085,505	87,224,277,448
負債純資産合計	85,825,105,791	87,744,116,537

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、投資証券の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	36,745,478,210円	32,038,794,221円
期中追加設定元本額	34,934,471,272円	1,183,297,665円
期中一部解約元本額	39,641,155,261円	1,854,472,262円
期末元本額の内訳 ファンド名		

ダイワ・J-REITファンド (FOFs用) (適格機関投資家 専用)	29,378,644,558円	28,575,786,364円
安定重視ポートフォリオ(奇 数月分配型)	14,201,082円	12,369,107円
インカム重視ポートフォリオ (奇数月分配型)	12,595,753円	11,470,854円
成長重視ポートフォリオ(奇 数月分配型)	53,429,321円	55,617,947円
6資産バランスファンド(分 配型)	137,668,306円	115,286,250円
6資産バランスファンド(成 長型)	254,427,239円	259,748,593円
世界6資産均等分散ファンド (毎月分配型)	34,135,415円	34,855,957円
『しがぎん』S R I三資産バ ランス・オープン(奇数月分 配型)	1,569,797円	1,348,135円
ダイワ資産分散インカムオー プン(奇数月決算型)	41,732,988円	36,220,996円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/安定コース)	299,522,628円	302,761,433円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/6分散コー ス)	315,437,236円	364,590,334円
D Cダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/成長コース)	407,979,349円	476,369,186円
D CダイワJ - R E I Tアク ティブファンド	353,503,623円	328,853,672円
ライフハーモニー(ダイワ世 界資産分散ファンド)(成長 型)	69,594,549円	80,941,202円
ライフハーモニー(ダイワ世 界資産分散ファンド)(安定 型)	23,832,829円	26,056,410円
ライフハーモニー(ダイワ世 界資産分散ファンド)(分配 型)	124,132,879円	126,655,615円
ダイワ・アクティブJリー ト・ファンド(年4回決算 型)	516,386,669円	558,687,569円
計	32,038,794,221円	31,367,619,624円

2.	期末日における受益権の総数	32,038,794,221口	31,367,619,624口
3.	2 差入委託証拠金代用有価証券	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 投資証券 613,000,000円	先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下のとおり差入を行っております。 投資証券 953,500,000円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従ってわが国の金融商品取引所（外国の取引所）における不動産投信指数先物取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。</p> <p>(3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
-----------------	--

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
投資証券	13,778,472,621	1,342,334,611
合計	13,778,472,621	1,342,334,611

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2019年11月12日から2020年5月11日まで、及び2020年5月12日から2020年11月10日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

不動産投信関連

種 類	2020年5月11日 現在				2020年11月10日 現在			
	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等		時価 (円)	評価損益 (円)
	(円)	うち 1年超			(円)	うち 1年超		
市場取引								
不動産投信 指数先物取引								
買 建	2,577,046,000	-	2,323,918,500	253,127,500	2,049,480,000	-	2,049,000,000	480,000
合計	2,577,046,000	-	2,323,918,500	253,127,500	2,049,480,000	-	2,049,000,000	480,000

（注） 1. 時価の算定方法

不動産投信指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として期末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、期末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 不動産投信指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額	2,6322円	2,7807円
(1万口当たり純資産額)	(26,322円)	(27,807円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
投資証券	エスコンジャパンリート	1,545	175,203,000	
	サンケイリアルエステート	2,881	282,049,900	
	SOSILA物流リート投	6,739	889,548,000	
	日本アコモデーションファンド投資法人	810	475,470,000	
	MCUBS MidCity投資法人	9,598	808,151,600	
	森ヒルズリート	13,519	1,784,508,000	
	産業ファンド	20,801	3,671,376,500	
	アドバンス・レジデンス	13,202	4,020,009,000	
	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	18,641	3,237,941,700	
	GLP投資法人	21,837	3,358,530,600	
	コンフォリア・レジデンシャル	1,742	526,084,000	
	日本プロロジスリート	9,194	3,038,617,000	
	ONEリート投資法人	506	125,386,800	
	イオンリート投資	10,824	1,342,176,000	
	ヒューリックリート投資法	9,616	1,379,896,000	
	日本リート投資法人	3,137	1,123,046,000	
	インベスコ・オフィス・Jリート	22,964	323,562,760	
	積水ハウス・リート投資	22,893	1,719,264,300	
	トーセイ・リート投資法人	799	86,451,800	

ケネディクス商業リート	5,257	1,128,677,900	
ヘルスケア&メディカル投資	5,103	645,019,200	
野村不動産マスターF	38,368	5,233,395,200	
ラサールロジポート投資	9,132	1,474,818,000	
スターアジア不動産投	11,248	530,905,600	
三井不ロジパーク	7,140	3,523,590,000	
森トラスト・ホテルリート投	2,532	298,776,000	
三菱地所物流REIT	3,017	1,258,089,000	
CREロジスティクスファンド	3,610	558,467,000	
ザイマックス・リート	10,129	929,842,200	
日本ビルファンド	11,597	6,668,275,000	
ジャパンリアルエステイト	10,024	5,523,224,000	
日本リテールファンド	20,378	3,452,033,200	
オリックス不動産投資	15,517	2,478,064,900	
日本プライムリアルティ	8,352	2,614,176,000	
プレミア投資法人	10,373	1,258,244,900	
東急リアル・エステート	7,300	1,110,330,000	
グローバル・ワン不動産投資法人	670	67,067,000	
ユナイテッド・アーバン投資法人	20,305	2,570,613,000	
森トラスト総合リート	925	122,840,000	
インヴィンシブル投資法人	33,321	1,274,528,250	
フロンティア不動産投資	1,712	647,136,000	
平和不動産リート	8,670	1,032,597,000	
日本ロジスティクスファンド投資法人	200	58,080,000	
福岡リート投資法人	1,574	218,628,600	
ケネディクス・オフィス投資法人	2,908	1,840,764,000	
いちごオフィスリート投資法人	2,500	180,250,000	
大和証券オフィス投資法人	1,950	1,228,500,000	
阪急阪神リート投資法人	2,723	338,196,600	
大和ハウスリート投資法人	20,378	4,982,421,000	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	18,445	1,064,276,500	
ジャパンエクセレント投資法人	12,212	1,531,384,800	
投資証券 合計		84,210,483,810	
合計		84,210,483,810	

投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

（注） 先物取引に係る差入委託証拠金代用有価証券として以下の有価証券が差し入れられております。

日本ビルファンド

700口

ジャパンリアルエステイト

1,000口

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引に関する注記）」に記載しております。

「ダイワ北米好配当株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	136,607,402	49,732,799
コール・ローン	44,792,351	43,162,814
株式	1,830,774,869	2,386,961,766
ハイブリッド優先証券	516,598,523	517,174,604
投資証券	28,169,042	24,319,702
未収入金	53,144,922	21,745,449
未収配当金	1,612,508	3,694,984
未収利息	1,031,757	933,582
流動資産合計	2,612,731,374	3,047,725,700
資産合計	2,612,731,374	3,047,725,700
負債の部		
流動負債		
未払金	69,872,175	4,143,331
未払解約金	2,678,000	1,000,000
その他未払費用	100	-
流動負債合計	72,550,275	5,143,331
負債合計	72,550,275	5,143,331
純資産の部		
元本等		
元本	1 927,779,681	952,462,833
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,612,401,418	2,090,119,536
元本等合計	2,540,181,099	3,042,582,369
純資産合計	2,540,181,099	3,042,582,369

負債純資産合計	2,612,731,374	3,047,725,700
---------	---------------	---------------

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)ハイブリッド優先証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(3)投資証券</p>

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>(1)受取配当金</p> <p>原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p> <p>(2)受取利息</p> <p>ハイブリッド優先証券の受取利息については、当該証券の権利落ち日において、確定している金額を計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	933,850,416円	927,779,681円
期中追加設定元本額	46,974,467円	73,821,790円
期中一部解約元本額	53,045,202円	49,138,638円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	9,158,758円	7,145,177円
インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	7,430,382円	6,746,181円
成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	130,791,512円	120,527,514円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	22,261,205円	20,976,216円
ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	24,202,263円	21,247,595円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)	130,251,024円	134,490,284円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)	233,967,596円	244,827,879円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)	369,716,941円	396,501,987円
計	927,779,681円	952,462,833円
2. 期末日における受益権の総数	927,779,681口	952,462,833口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。

2. 金融商品の内容及びリスク	<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。</p> <p>これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。</p> <p>外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。</p>
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	32,870,370	51,583,145
ハイブリッド優先証券	6,626,809	2,728,305
投資証券	1,156,908	296,126
合計	40,654,087	54,607,576

（注） 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2020年4月16日から2020年5月11日まで、及び2020年10月16日から2020年11月10日まで）を指しております。

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額）	2.7379円 (27,379円)	3.1944円 (31,944円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカ・ドル		株	アメリカ・ドル	アメリカ・ドル	
	ABBOTT LABORATORIES	2,584	109.390	282,663.760	
	ADOBE INC	449	471.140	211,541.860	
	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	833	312.670	260,454.110	
	DOLLAR TREE INC	1,154	95.870	110,633.980	
	DANAHER CORP	1,281	233.780	299,472.180	
	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	3,605	98.220	354,083.100	
	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	3,720	49.290	183,358.800	
	APPLE INC	6,412	116.320	745,843.840	
	BOEING CO/THE	1,252	179.360	224,558.720	
	VERIZON COMMUNICATIONS INC	11,570	59.840	692,348.800	
	JPMORGAN CHASE & CO	6,675	116.900	780,307.500	
	CATERPILLAR INC	1,521	170.820	259,817.220	
	MORGAN STANLEY	5,513	56.020	308,838.260	
	BROADCOM INC	1,289	375.540	484,071.060	
DEERE & CO	991	248.870	246,630.170		
TELEFLEX INC	554	363.960	201,633.840		
COLGATE-PALMOLIVE CO	2,729	81.780	223,177.620		

ACTIVISION BLIZZARD INC	3,094	75.410	233,318.540	
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	902	198.550	179,092.100	
AMAZON.COM INC	285	3,143.740	895,965.900	
NEXTERA ENERGY INC	8,584	75.510	648,177.840	
GENERAL ELECTRIC CO	16,823	8.720	146,696.560	
GENERAL MOTORS CO	6,924	38.960	269,759.040	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	1,487	214.930	319,600.910	
ALPHABET INC-CL A	131	1,761.420	230,746.020	
FIRSTENERGY CORP	42,568	29.520	1,256,607.360	
HOME DEPOT INC	765	269.970	206,527.050	
JOHNSON & JOHNSON	3,917	146.080	572,195.360	
RENEWABLE ENERGY GROUP INC	3,834	57.830	221,720.220	
MCDONALD'S CORP	1,423	213.220	303,412.060	
FACEBOOK INC-CLASS A	850	278.770	236,954.500	
CONCHO RESOURCES INC	5,132	48.530	249,055.960	
MOTOROLA SOLUTIONS INC	1,138	170.260	193,755.880	
MERCK & CO. INC.	2,196	80.500	176,778.000	
NIKE INC -CL B	1,257	128.950	162,090.150	
NORFOLK SOUTHERN CORP	1,261	230.420	290,559.620	
NORTHROP GRUMMAN CORP	829	301.280	249,761.120	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	2,332	71.630	167,041.160	
PFIZER INC	8,571	39.200	335,983.200	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,643	137.990	226,717.570	
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,570	156.220	245,265.400	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	2,291	163.220	373,937.020	
ANTHEM INC	1,475	322.410	475,554.750	
WALT DISNEY CO/THE	1,801	142.590	256,804.590	
WASTE MANAGEMENT INC	2,982	120.960	360,702.720	
WALMART INC	894	143.540	128,324.760	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	1,724	352.710	608,072.040	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	1,435	196.000	281,260.000	
VISA INC-CLASS A SHARES	3,730	212.680	793,296.400	
NVIDIA CORP	171	545.230	93,234.330	
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	2,741	127.980	350,793.180	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	798	484.990	387,022.020	

	MASTERCARD INC - A	2,228	344.560	767,679.680	
	BANK OF AMERICA CORP	18,832	27.760	522,776.320	
	EATON CORP PLC	2,671	113.500	303,158.500	
	ECOLAB INC	1,075	216.900	233,167.500	
	HORMEL FOODS CORP	1,809	49.490	89,527.410	
	INTEL CORP	6,358	45.600	289,924.800	
	MICROSOFT CORP	5,832	218.390	1,273,650.480	
	MEDTRONIC PLC	3,337	113.220	377,815.140	
	MICRON TECHNOLOGY INC	8,576	55.960	479,912.960	
	COMCAST CORP-CLASS A	4,431	47.180	209,054.580	
アメリカ・ドル 小計				アメリカ・ドル 22,542,885.520 (2,371,736,986)	
カナダ・ドル	株 ENBRIDGE INC	4,979	カナダ・ドル 37.830	カナダ・ドル 188,355.570	
カナダ・ドル 小計				カナダ・ドル 188,355.570 (15,224,780)	
合計				2,386,961,766 [2,386,961,766]	

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
ハイブリッド優先証券	アメリカ・ドル			アメリカ・ドル	
		CHS INC 7.5 4	4,575.000	132,858.000	
		JPMORGAN CHASE & CO 6.1 AA	4,200.000	106,680.000	
		CAPITAL ONE FINANCIAL CO 6.2 F	1,100.000	27,918.000	
		WELLS FARGO & COMPANY 5.7 W	2,929.000	74,923.820	
		FIRST REPUBLIC BANK 5.5 G	2,175.000	55,897.500	
		STATE STREET CORP 5.35 G	914.000	26,341.480	
		REINSURANCE GRP OF AMER 5.75	2,558.000	73,695.980	
		WELLS FARGO & COMPANY 5.5 X	4,550.000	117,026.000	
		ENTERGY LOUISIANA LLC 4.875 *	1,200.000	31,632.000	
		ARCH CAPITAL GROUP LTD 5.25 E	1,200.000	30,792.000	
		MORGAN STANLEY 5.85 K	1,433.000	40,797.510	

AXIS CAPITAL HLDGS LTD 5.5 E	2,100.000	55,083.000	
NY COMMUNITY BANCORP INC 6.375 A.	607.000	16,722.850	
FIRST REPUBLIC BANK 5.125 H	2,582.000	68,268.080	
VALLEY NATIONAL BANCORP 5.5 B	2,076.000	52,938.000	
SOUTHERN CO 5.25	1,961.000	52,750.900	
ENBRIDGE INC 6.375 B	497.000	12,922.000	
BANK OF AMERICA CORP 6 GG	2,725.000	74,338.000	
UNUM GROUP 6.25	3,350.000	90,249.000	
RENAISSANCERE HOLDINGS L 5.75 F	6,450.000	175,607.700	
KKR & CO INC 6.5 B	750.000	19,876.500	
KEYCORP 5.65 F	952.000	26,056.330	
US BANCORP 5.5 K	2,313.000	63,931.320	
JPMORGAN CHASE & CO 5.75 DD	4,088.000	113,074.080	
CMS ENERGY CORP 5.875	3,361.000	93,032.480	
NISOURCE INC 6.5 B	2,810.000	80,169.300	
JPMORGAN CHASE & CO 6 EE	2,450.000	69,041.000	
CMS ENERGY CORP 5.875	3,224.000	89,337.040	
NEXTERA ENERGY CAPITAL 5.65 N	1,338.000	38,240.040	
AMERICAN INTL GROUP 5.85 A	5,825.000	163,391.250	
DUKE ENERGY CORP 5.75 A	1,818.000	52,031.160	
REGIONS FINANCIAL CORP 5.7 C	1,746.000	49,080.060	
ALGONQUIN PWR & UTILITY 6.2 19-A	909.000	25,306.560	
SPIRE INC 5.9 A	3,556.000	99,852.480	
ATHENE HOLDING LTD 6.35 A	2,100.000	59,346.000	
VOYA FINANCIAL INC 5.35 B	3,140.000	93,163.800	
TCF FINANCIAL 5.7 C*	400.000	10,508.000	
ALLSTATE CORP 5.1 H	4,375.000	120,400.000	
SEMPRA ENERGY 5.75	6,407.000	172,156.090	
FIFTH THIRD BANCORP 6 A	1,923.000	51,882.540	
BANK OF AMERICA CORP 5 LL	4,412.000	117,138.600	
AEGON FUNDING CO LLC 5.1	6,414.000	171,253.800	
SYNCHRONY FINANCIAL 5.625 A	5,970.000	154,589.560	
FIRST REPUBLIC BANK 4.7 J	3,025.000	79,890.250	

		METLIFE INC 4.75 F	2,525.000	68,124.500	
		SOUTHERN CO 4.95 2020	8,035.000	215,338.000	
		WELLS FARGO & COMPANY 4.75 Z	7,180.000	182,731.000	
		CAPITAL ONE FINANCIAL CO 4.8 J	1,118.000	27,983.540	
		DIME COMMUNITY BANCSHRS 5.5 A	2,375.000	58,211.250	
		ATHENE HOLDING LTD 6.375 C	1,950.000	54,229.500	
		TRUIST FINANCIAL CORP 4.75 R	3,578.000	95,532.600	
		UNITED STATES CELLULAR C 6.25	2,560.000	68,454.400	
		SOUTHERN CO 4.2 C	2,625.000	67,068.750	
		BROOKFIELD FINANCE INC 4.625 50	1,675.000	42,009.000	
		REGIONS FINANCIAL CORP 6.375 A	1,444.000	37,356.280	
		MORGAN STANLEY 6.875 F	2,589.000	73,009.800	
		ALLY FINANCIAL FR 2/15/40	1,963.000	51,764.310	
		US BANCORP 6.5 F	993.000	26,314.500	
		WELLS FARGO & COMPANY 6.625 R	1,556.000	44,019.240	
		PNC FINANCIAL SERVICES 6.125 P	1,900.000	50,331.000	
		MORGAN STANLEY 6.375 I	2,890.000	82,220.500	
		STATE STREET CORP 5.9 D	1,294.000	35,753.220	
		WELLS FARGO & COMPANY 5.85 Q	7,760.000	203,622.400	
		CITIGROUP INC 7.125 J	2,702.000	76,628.720	
		HARTFORD FINL SVCS GRP 7.875	888.000	24,748.560	
	アメリカ・ドル	小計		アメリカ・ドル 4,915,641.130 (517,174,604)	
	ハイブリッド優先証券 合計			517,174,604 [517,174,604]	
投資証券	アメリカ・ドル			アメリカ・ドル	
		UMH PROPERTIES INC 6.75 C	1,200	30,924.000	
		MONMOUTH REIT 6.125 C	2,875	71,702.500	

	SPIRIT REALTY CAPITAL IN 6 A	1,350	35,707.500	
	QTS REALTY TRUST INC 7.125 A	1,175	32,430.000	
	AMERICAN HOMES 4 RENT 6.25 H	1,363	37,209.900	
	TAUBMAN CENTERS INC 6.5 J	1,000	23,180.000	
	アメリカ・ドル 小計		アメリカ・ドル 231,153.900 (24,319,702)	
投資証券 合計			24,319,702 [24,319,702]	
合計			541,494,306 [541,494,306]	

ハイブリッド優先証券及び投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における () 内の金額は、邦貨換算額であります。
 2. 合計欄における [] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
 3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	組入ハイブ リッド優先証 券時価比率	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
アメリカ・ドル	株式 62銘柄 ハイブリッド 優先証券 65銘柄 投資証券 6銘柄	81.4%	17.8%	0.8%	99.5%
カナダ・ドル	株式 1銘柄	100%	-%	-%	0.5%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	21,235,207	77,202,298
コール・ローン	26,428,055	12,800,521
株式	1,049,077,723	1,162,272,829
未収配当金	3,162,884	558,649
流動資産合計	1,099,903,869	1,252,834,297
資産合計	1,099,903,869	1,252,834,297
負債の部		
流動負債		
未払解約金	2,800,000	5,225,000
その他未払費用	52	-
流動負債合計	2,800,052	5,225,000
負債合計	2,800,052	5,225,000
純資産の部		
元本等		
元本	1 794,331,741	764,574,485
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	302,772,076	483,034,812
元本等合計	1,097,103,817	1,247,609,297
純資産合計	1,097,103,817	1,247,609,297
負債純資産合計	1,099,903,869	1,252,834,297

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式

	<p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
<p>2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法</p>	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
<p>3. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
<p>4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	780,486,939円	794,331,741円
期中追加設定元本額	76,414,838円	33,725,564円

期中一部解約元本額	62,570,036円	63,482,820円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	17,343,002円	14,160,532円
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	14,412,028円	13,180,482円
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	253,593,648円	234,746,144円
ダイワ・株／債券／コモディティ・バランスファンド	44,185,576円	40,988,847円
ダイワ資産分散インカムオープン（奇数月決算型）	47,788,260円	41,440,051円
DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／安定コース）	74,808,285円	73,262,243円
DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／6分散コース）	133,048,402円	131,171,899円
DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／成長コース）	209,152,540円	215,624,287円
計	794,331,741円	764,574,485円
2. 期末日における受益権の総数	794,331,741口	764,574,485口

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。 外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもありま

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	<p>(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p>

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に含まれた評価差額(円)	当期間の損益に含まれた評価差額(円)
株式	14,127,477	28,545,309
合計	14,127,477	28,545,309

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年4月16日から2020年5月11日まで、及び2020年10月16日から2020年11月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.3812円 (13,812円)	1.6318円 (16,318円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
イギリス・ポンド		株	イギリス・ポンド	イギリス・ポンド	
	PRUDENTIAL PLC	14,844	12.370	183,620.280	
	AVIVA PLC	40,669	3.046	123,877.770	
	GLAXOSMITHKLINE PLC	15,900	14.282	227,083.800	
	M&G PLC	68,765	1.764	121,301.460	
	VODAFONE GROUP PLC	135,523	1.121	151,921.280	
	NATIONAL GRID PLC	17,873	9.408	168,149.180	
	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	5,047	25.710	129,758.370	
	HSBC HOLDINGS PLC	43,404	3.740	162,330.960	
ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	11,761	11.338	133,346.210		
イギリス・ポンド 小計				イギリス・ポンド 1,401,389.310 (194,120,447)	
スイス・フラン		株	スイス・フラン	スイス・フラン	
	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	1,313	310.800	408,080.400	
	NESTLE SA-REG	5,578	105.460	588,255.880	
	ZURICH INSURANCE GROUP AG	903	333.200	300,879.600	
	NOVARTIS AG-REG	4,389	77.060	338,216.340	
GIVAUDAN-REG	108	3,742.000	404,136.000		
スイス・フラン 小計				スイス・フラン 2,039,568.220 (234,876,676)	
スウェーデン・クローナ		株	スウェーデン・クローナ	スウェーデン・クローナ	
	ELECTROLUX AB-SER B	2,486	201.100	499,934.600	
スウェーデン・クローナ 小計				スウェーデン・クローナ 499,934.600	

				(6,094,203)	
ユーロ		株	ユーロ	ユーロ	
	SIEMENS AG-REG	2,800	116.480	326,144.000	
	BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	2,996	67.630	202,619.480	
	BASF SE	3,676	55.730	204,863.480	
	ALLIANZ SE-REG	1,145	186.000	212,970.000	
	MUENCHENER RUECKVER AG-REG	1,239	231.800	287,200.200	
	SIEMENS ENERGY AG	1,400	21.170	29,638.000	
	DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	21,145	14.690	310,620.050	
	DEUTSCHE POST AG-REG	6,823	40.500	276,331.500	
	KONINKLIJKE PHILIPS NV	7,785	44.595	347,172.070	
	KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE N	6,506	23.300	151,589.800	
	KONINKLIJKE DSM NV	2,261	140.300	317,218.300	
	KONINKLIJKE KPN NV	87,929	2.288	201,181.550	
	TOTAL SE	6,299	31.795	200,276.700	
	MICHELIN (CGDE)	2,155	100.950	217,547.250	
	SCHNEIDER ELECTRIC SE	4,443	118.800	527,828.400	
	BNP PARIBAS	3,990	39.205	156,427.950	
	CAPGEMINI SE	1,883	116.700	219,746.100	
	AXA SA	12,126	17.362	210,531.610	
	ALSTOM	3,177	42.650	135,499.050	
	SANOFI	3,893	84.930	330,632.490	
	INTESA SANPAOLO	100,555	1.765	177,560.010	
	ENI SPA	18,265	7.378	134,759.170	
	ENEL SPA	48,153	8.051	387,679.800	
	ENAGAS SA	10,115	19.445	196,686.170	
	NOKIA OYJ	28,771	3.090	88,902.390	
ユーロ 小計				ユーロ 5,851,625.520 (727,181,503)	
合計				1,162,272,829 [1,162,272,829]	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

(注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における () 内の金額は、邦貨換算額であります。

2. 合計欄における [] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
イギリス・ポンド	株式 9銘柄	100%	16.7%
スイス・フラン	株式 5銘柄	100%	20.2%
スウェーデン・クローナ	株式 1銘柄	100%	0.5%
ユーロ	株式 25銘柄	100%	62.6%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	26,507,376	13,698,530
コール・ローン	6,184,780	7,188,469
株式	586,075,575	667,085,506
投資証券	20,493,164	8,714,748
未収入金	23,751,053	-
未収配当金	542,428	758,841
流動資産合計	663,554,376	697,446,094
資産合計	663,554,376	697,446,094
負債の部		
流動負債		
未払金	36,217,319	-
未払解約金	2,276,000	2,000,000
その他未払費用	5	-
流動負債合計	38,493,324	2,000,000
負債合計	38,493,324	2,000,000

純資産の部			
元本等			
元本	1	356,802,208	306,837,536
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		268,258,844	388,608,558
元本等合計		625,061,052	695,446,094
純資産合計		625,061,052	695,446,094
負債純資産合計		663,554,376	697,446,094

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>(2)投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、外国金融商品市場又は店頭市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>

2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式及び投資証券の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額を計上し、未だ確定していない場合には入金日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	384,447,842円	356,802,208円
期中追加設定元本額	13,502,869円	1,154,410円
期中一部解約元本額	41,148,503円	51,119,082円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	13,542,240円	10,125,308円
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	11,417,228円	9,456,274円
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	196,647,095円	172,123,733円

ダイワ・株/債券/コモディ ティ・バランスファンド	34,375,673円	29,762,546円
ダイワ資産分散インカムオー プン(奇数月決算型)	37,139,949円	30,418,866円
DCダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/安定コース)	11,105,749円	9,610,627円
DCダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/6分散コー ス)	20,536,684円	17,222,460円
DCダイワ・ワールドアセッ ト(六つの羽/成長コース)	32,037,590円	28,117,722円
計	356,802,208円	306,837,536円
2. 期末日における受益権の総数	356,802,208口	306,837,536口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動、為替変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。 外貨建資産の売買代金等の受取りまたは支払いを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引を利用しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）	当期間の損益に 含まれた評価差額（円）
株式	3,258,176	14,485,341
投資証券	1,045,217	327,294
合計	4,303,393	14,812,635

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間（2020年4月16日から2020年5月11日まで、及び2020年10月16日から2020年11月10日まで）を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額	1.7518円	2.2665円
(1万口当たり純資産額)	(17,518円)	(22,665円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額	備考
----	----	-----	-----	----

			単 価	金 額	
オーストラリア・ドル		株	オーストラリア・ドル	オーストラリア・ドル	
	BHP GROUP LTD	8,700	35.880	312,156.000	
	SOUTH32 LTD	40,900	2.200	89,980.000	
	WOODSIDE PETROLEUM LTD	6,300	18.330	115,479.000	
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	14,300	19.760	282,568.000	
	WESTPAC BANKING CORP	2,500	17.760	44,400.000	
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	3,250	70.310	228,507.500	
	WOOLWORTHS GROUP LTD	5,600	39.440	220,864.000	
	MACQUARIE GROUP LTD	1,700	136.440	231,948.000	
	CSL LTD	600	304.920	182,952.000	
	WESFARMERS LTD	6,000	48.830	292,980.000	
JB HI-FI LTD	3,900	50.180	195,702.000		
オーストラリア・ドル 小計				オーストラリア・ドル 2,197,536.500 (168,243,395)	
オフショア・人民元		株	オフショア・人民元	オフショア・人民元	
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	600	1,742.570	1,045,542.000		
オフショア・人民元 小計				オフショア・人民元 1,045,542.000 (16,624,118)	
シンガポール・ドル		株	シンガポール・ドル	シンガポール・ドル	
	DBS GROUP HOLDINGS LTD	4,000	22.950	91,800.000	
	VENTURE CORP LTD	4,000	20.720	82,880.000	
WILMAR INTERNATIONAL LTD	39,100	4.380	171,258.000		
シンガポール・ドル 小計				シンガポール・ドル 345,938.000 (27,021,217)	
韓国・ウォン		株	韓国・ウォン	韓国・ウォン	
	HYUNDAI MOTOR CO	1,300	172,500.000	224,250,000.000	
	ORION CORP/REPUBLIC OF KOREA	500	120,000.000	60,000,000.000	
	HYUNDAI MOBIS CO LTD	300	232,500.000	69,750,000.000	
	COSMAX INC	773	113,500.000	87,735,500.000	
	KT&G CORP	800	83,300.000	66,640,000.000	
NAVER CORP	550	298,000.000	163,900,000.000		

	KIWOOM SECURITIES CO LTD	700	111,500.000	78,050,000.000	
	LG CHEM LTD	200	734,000.000	146,800,000.000	
	KB FINANCIAL GROUP INC	3,800	42,950.000	163,210,000.000	
	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	10,700	60,200.000	644,140,000.000	
	HANA FINANCIAL GROUP	4,100	33,000.000	135,300,000.000	
韓国・ウォン 小計				韓国・ウォン 1,839,775,500.000 (173,306,852)	
香港・ドル		株	香港・ドル	香港・ドル	
	GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT	28,000	21.050	589,400.000	
	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	4,100	387.800	1,589,980.000	
	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	7,500	51.850	388,875.000	
	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	82,000	5.910	484,620.000	
	AIA GROUP LTD	17,000	82.300	1,399,100.000	
	CHINA RESOURCES CEMENT	42,000	10.460	439,320.000	
	COUNTRY GARDEN SERVICES HOLD	10,000	49.850	498,500.000	
	CHINA AOYUAN GROUP LTD	49,000	8.260	404,740.000	
	CHINA INTERNATIONAL CAPITA- H	32,000	19.680	629,760.000	
	KWG LIVING GROUP HOLDINGS LT	37,750	6.220	234,805.000	
	KWG GROUP HOLDINGS LTD	75,500	11.580	874,290.000	
	SANDS CHINA LTD	26,000	30.500	793,000.000	
	WEICHA I POWER CO LTD-H	32,000	16.980	543,360.000	
	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	28,000	17.800	498,400.000	
	CITIC SECURITIES CO LTD-H	24,500	18.180	445,410.000	
香港・ドル 小計				香港・ドル 9,813,560.000 (133,170,009)	
台湾・ドル		株	台湾・ドル	台湾・ドル	
	MEDIATEK INC	11,000	702.000	7,722,000.000	
	MEGA FINANCIAL HOLDING CO LT	112,000	28.750	3,220,000.000	
	CTBC FINANCIAL HOLDING CO LT	180,000	18.650	3,357,000.000	
	WIN SEMICONDUCTORS CORP	11,000	321.000	3,531,000.000	
	POYA INTERNATIONAL CO LTD	6,000	608.000	3,648,000.000	
	MERIDA INDUSTRY CO LTD	5,000	280.500	1,402,500.000	

	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	38,000	458.500	17,423,000.000	
台湾・ドル 小計				台湾・ドル 40,303,500.000 (148,719,915)	
合計				667,085,506 [667,085,506]	

(2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	オーストラリア・ドル	GOODMAN GROUP	5,700	113,829.000	
		オーストラリア・ドル 小計		113,829.000 (8,714,748)	
投資証券 合計				8,714,748 [8,714,748]	
合計				8,714,748 [8,714,748]	

投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

- (注) 1. 各種通貨毎の小計の欄における () 内の金額は、邦貨換算額であります。
 2. 合計欄における [] 内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。
 3. 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入株式 時価比率	組入 投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
オーストラリア・ドル	株式 11銘柄 投資証券 1銘柄	95.1%	4.9%	26.2%
オフショア・人民元	株式 1銘柄	100%	-%	2.5%
シンガポール・ドル	株式 3銘柄	100%	-%	4.0%
韓国・ウォン	株式 11銘柄	100%	-%	25.6%
香港・ドル	株式 15銘柄	100%	-%	19.7%
台湾・ドル	株式 7銘柄	100%	-%	22.0%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

「ダイワ好配当日本株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

貸借対照表

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	202,403,881	386,640,602
株式	13,959,425,020	14,657,037,600
未収入金	27,392,381	187,605,705
未収配当金	243,277,561	177,577,700
流動資産合計	14,432,498,843	15,408,861,607
資産合計	14,432,498,843	15,408,861,607
負債の部		
流動負債		
未払金	17,810,509	22,120,214
未払解約金	4,331,000	44,766,000
その他未払費用	652	-
流動負債合計	22,142,161	66,886,214
負債合計	22,142,161	66,886,214
純資産の部		
元本等		
元本	1 6,000,019,760	5,728,483,009
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	8,410,336,922	9,613,492,384
元本等合計	14,410,356,682	15,341,975,393
純資産合計	14,410,356,682	15,341,975,393
負債純資産合計	14,432,498,843	15,408,861,607

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>なお、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額又は受託会社と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

区 分	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首	2019年11月12日	2020年5月12日
期首元本額	6,468,718,130円	6,000,019,760円
期中追加設定元本額	230,808,793円	110,895,334円
期中一部解約元本額	699,507,163円	382,432,085円
期末元本額の内訳		
ファンド名		
ダイワ好配当日本株投信（季節点描）	4,134,498,086円	3,850,932,341円
ダイワ・バランス3資産（外債・海外リート・好配当日本株）	28,255,361円	26,569,688円
安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	32,878,566円	26,226,959円
インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	26,874,471円	24,091,913円
成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）	466,837,546円	432,822,965円
ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド	78,664,680円	74,736,938円
ダイワ資産分散インカムオープン（奇数月決算型）	86,719,802円	76,910,507円

DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)	200,625,107円	210,148,120円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)	366,915,329円	384,770,643円
DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)	577,750,812円	621,272,935円
計	6,000,019,760円	5,728,483,009円
2. 期末日における受益権の総数	6,000,019,760口	5,728,483,009口

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

区 分	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク(価格変動等)、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。

金融商品の時価等に関する事項

区 分	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

(2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等
 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しい
 ことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当期間の損益に 含まれた評価差額(円)
株式	832,464,997	598,630,043
合計	832,464,997	598,630,043

(注) 「当期間」とは当親投資信託の計算期間の開始日から期末日までの期間(2020年4月16日から2020年5月11日まで、及び2020年10月16日から2020年11月10日まで)を指しております。

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	2.4017円 (24,017円)	2.6782円 (26,782円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

銘 柄	株 式 数	評価額(円)		備考
		単 価	金 額	
ウエストホールディングス	1,000	3,615.00	3,615,000	
ミライト・ホールディングス	15,000	1,543.00	23,145,000	
国際石油開発帝石	75,000	542.00	40,650,000	
大成建設	12,500	3,560.00	44,500,000	
熊 谷 組	30,000	2,536.00	76,080,000	
五洋建設	135,000	750.00	101,250,000	
住友林業	39,200	1,674.00	65,620,800	

大和ハウス	35,700	3,087.00	110,205,900
日本工営	7,900	2,963.00	23,407,700
九電工	31,000	3,130.00	97,030,000
ブルボン	23,200	1,851.00	42,943,200
ディップ	48,800	2,414.00	117,803,200
エレマテック	22,800	1,039.00	23,689,200
パルグループHLDGS	68,600	1,237.00	84,858,200
太陽化学	23,000	1,778.00	40,894,000
日本たばこ産業	66,800	2,088.00	139,478,400
グンゼ	19,800	3,800.00	75,240,000
アルコニックス	66,300	1,442.00	95,604,600
J. フロント リテイリング	39,400	927.00	36,523,800
東洋紡	38,200	1,434.00	54,778,800
富士紡ホールディングス	13,800	3,615.00	49,887,000
ダイワボウHD	13,500	6,640.00	89,640,000
レスターホールディングス	11,700	2,354.00	27,541,800
TOKAIホールディングス	194,700	1,091.00	212,417,700
三洋貿易	149,200	981.00	146,365,200
旭化成	192,900	963.00	185,762,700
川田テクノロジーズ	13,400	4,525.00	60,635,000
信和	55,800	720.00	40,176,000
ハウスドゥ	49,300	1,313.00	64,730,900
コメダホールディングス	32,800	1,923.00	63,074,400
共和レザー	67,900	624.00	42,369,600
セーレン	42,300	1,668.00	70,556,400
SRAホールディングス	7,800	2,444.00	19,063,200
クレハ	15,000	4,735.00	71,025,000
日本曹達	19,400	2,811.00	54,533,400
大阪ソーダ	22,300	2,581.00	57,556,300
信越化学	9,300	15,180.00	141,174,000
日本化学工業	8,700	2,620.00	22,794,000
四国化成	46,900	1,223.00	57,358,700
三菱瓦斯化学	52,800	1,865.00	98,472,000
東京応化工業	11,500	5,980.00	68,770,000
旭有機材	58,400	1,450.00	84,680,000
リケンテクノス	52,400	434.00	22,741,600
ダイキアク시스	44,500	882.00	39,249,000
第一工業製薬	49,500	4,255.00	210,622,500
三洋化成	6,200	4,540.00	28,148,000
武田薬品	110,000	3,548.00	390,280,000

アステラス製薬	43,200	1,583.50	68,407,200	
沢井製薬	11,600	5,020.00	58,232,000	
大塚ホールディングス	50,000	4,297.00	214,850,000	
太陽ホールディングス	11,000	5,560.00	61,160,000	
日本空調サービス	78,700	770.00	60,599,000	
Zホールディングス	159,100	613.20	97,560,120	
伊藤忠テクノソリューションズ	12,300	3,755.00	46,186,500	
デクセリアルズ	151,200	1,152.00	174,182,400	
ENEOSホールディングス	157,000	372.10	58,419,700	
TOYO TIRE	29,500	1,689.00	49,825,500	
AGC	36,900	3,405.00	125,644,500	
日本特殊陶業	32,600	1,897.00	61,842,200	
ニチアス	53,500	2,302.00	123,157,000	
日本冶金工	25,100	1,553.00	38,980,300	
栗本鉄工所	23,100	1,829.00	42,249,900	
大紀アルミニウム	53,700	681.00	36,569,700	
三井金属	39,300	2,967.00	116,603,100	
住友鉱山	27,500	3,606.00	99,165,000	
アサヒHD	34,800	3,455.00	120,234,000	
OSJ B HD	310,400	253.00	78,531,200	
三和ホールディングス	96,500	1,272.00	122,748,000	
日東精工	121,700	493.00	59,998,100	
マルゼン	32,600	1,737.00	56,626,200	
ファインシンター	19,500	1,584.00	30,888,000	
タクマ	58,900	1,680.00	98,952,000	
テクノプロ・ホールディング	8,700	7,460.00	64,902,000	
DMG森精機	30,000	1,574.00	47,220,000	
ソディック	68,700	810.00	55,647,000	
ベルシステム24HDGS	65,700	1,628.00	106,959,600	
豊田自動織機	13,900	6,960.00	96,744,000	
技研製作所	21,200	3,905.00	82,786,000	
クボタ	46,900	2,033.50	95,371,150	
荏原実業	17,100	3,630.00	62,073,000	
三精テクノロジーズ	30,000	617.00	18,510,000	
ダイフク	11,000	11,340.00	124,740,000	
キトー	59,700	1,493.00	89,132,100	
日本トムソン	138,800	383.00	53,160,400	
日立	74,900	3,880.00	290,612,000	
三菱電機	75,000	1,406.00	105,450,000	
富士電機	43,500	3,535.00	153,772,500	

マブチモーター	22,400	4,425.00	99,120,000
愛知電機	20,000	2,215.00	44,300,000
M C J	78,200	878.00	68,659,600
テクノメディカ	1,700	1,598.00	2,716,600
E I Z O	13,300	3,700.00	49,210,000
T D K	11,500	13,100.00	150,650,000
アドバンテスト	33,900	6,480.00	219,672,000
デンソー	39,400	5,079.00	200,112,600
村田製作所	24,000	7,563.00	181,512,000
I H I	79,900	1,484.00	118,571,600
プレミアグループ	85,600	2,086.00	178,561,600
トヨタ自動車	52,200	7,267.00	379,337,400
ミクニ	69,700	290.00	20,213,000
本田技研	77,600	2,927.50	227,174,000
萩原電気H L D G S	18,200	2,469.00	44,935,800
コ ジ マ	81,100	669.00	54,255,900
アルゴグラフィックス	29,500	3,310.00	97,645,000
ダイトロン	57,100	1,452.00	82,909,200
ナカニシ	15,300	2,000.00	30,600,000
スター精密	42,500	1,465.00	62,262,500
リ コ ー	111,800	720.00	80,496,000
トランザクション	37,800	940.00	35,532,000
フジシールインターナショナル	47,900	2,143.00	102,649,700
大日本印刷	67,900	2,185.00	148,361,500
藤森工業	10,600	4,380.00	46,428,000
リンテック	23,600	2,334.00	55,082,400
信越ポリマー	130,400	947.00	123,488,800
任 天 堂	2,300	54,010.00	124,223,000
伊 藤 忠	72,700	2,644.50	192,255,150
三井物産	119,000	1,793.00	213,367,000
東京エレクトロン	7,800	29,470.00	229,866,000
スターゼン	10,800	4,330.00	46,764,000
セイコーHD	41,000	1,438.00	58,958,000
日本ユニシス	12,000	3,520.00	42,240,000
三菱商事	41,700	2,481.50	103,478,550
三菱UFJフィナンシャルG	664,700	445.90	296,389,730
りそなホールディングス	150,000	369.00	55,350,000
三井住友トラストHD	45,100	3,091.00	139,404,100
三井住友フィナンシャルG	89,300	3,085.00	275,490,500
セブン銀行	151,800	254.00	38,557,200

SBIホールディングス	65,000	2,700.00	175,500,000	
オリックス	135,000	1,494.50	201,757,500	
SOMPOホールディングス	20,000	4,102.00	82,040,000	
MS&AD	55,000	3,124.00	171,820,000	
第一生命HLDGS	40,000	1,734.00	69,360,000	
東京海上HD	69,600	5,315.00	369,924,000	
三井不動産	17,500	2,064.00	36,120,000	
東京建物	85,000	1,367.00	116,195,000	
丸全昭和運輸	14,600	3,250.00	47,450,000	
センコーグループHLDGS	72,000	987.00	71,064,000	
西本WISMETTACHD	18,000	1,926.00	34,668,000	
三井倉庫HOLD	57,600	1,992.00	114,739,200	
コネクシオ	29,600	1,225.00	36,260,000	
日本電信電話	160,900	2,433.00	391,469,700	
KDDI	95,000	3,050.00	289,750,000	
ソフトバンク	149,200	1,225.00	182,770,000	
シーイーシー	25,200	1,573.00	39,639,600	
日本管財	10,400	2,118.00	22,027,200	
丹青社	35,700	782.00	27,917,400	
コナミホールディングス	18,200	5,260.00	95,732,000	
日鉄物産	29,500	3,200.00	94,400,000	
合計			14,657,037,600	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（2020年5月12日から2020年11月10日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	7,693,546	8,151,788
親投資信託受益証券	613,682,193	637,131,199
未収入金	-	2,000,000
流動資産合計	621,375,739	647,282,987
資産合計	621,375,739	647,282,987
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	1,123,775	1,087,980
未払解約金	2	1,026,487
未払受託者報酬	57,010	58,386
未払委託者報酬	1,397,122	1,430,903
その他未払費用	27,655	26,325
流動負債合計	2,605,564	3,630,081
負債合計	2,605,564	3,630,081
純資産の部		
元本等		
元本	1 749,183,529	1 725,320,563
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 130,413,354	2 81,667,657
（分配準備積立金）	19,245,234	20,466,157
元本等合計	618,770,175	643,652,906
純資産合計	618,770,175	643,652,906
負債純資産合計	621,375,739	647,282,987

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前 期 自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
営業収益		
受取利息	9	18
有価証券売買等損益	25,399,196	53,449,006
営業収益合計	25,399,187	53,449,024
営業費用		
支払利息	1,400	1,350
受託者報酬	184,834	176,096
委託者報酬	1 4,529,484	1 4,315,683
その他費用	27,658	26,363
営業費用合計	4,743,376	4,519,492
営業利益又は営業損失()	30,142,563	48,929,532
経常利益又は経常損失()	30,142,563	48,929,532
当期純利益又は当期純損失()	30,142,563	48,929,532
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	358,238	571,310
期首剰余金又は期首欠損金()	109,888,306	130,413,354
剰余金増加額又は欠損金減少額	14,190,200	4,928,388
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	14,190,200	4,928,388
剰余金減少額又は欠損金増加額	727,577	1,257,168
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	727,577	1,257,168
分配金	2 3,486,870	2 3,283,745
期末剰余金又は期末欠損金()	130,413,354	81,667,657

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当 期	
	自 2020年5月12日	至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間末日 2020年5月10日が休日のため、前特定期間末日を2020年5月11日としております。このため、当特定期間は183日となっております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首元本額	855,213,901円	749,183,529円
期中追加設定元本額	5,358,492円	10,162,525円
期中一部解約元本額	111,388,864円	34,025,491円
2. 特定期間末日における受益権の総数	749,183,529口	725,320,563口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は130,413,354円でありませ	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は81,667,657円でありませ

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日

1.	1 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	189,024円	182,960円
2.	2 分配金の計算過程	<p>(自2019年11月12日 至2020年1月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,197,726円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(898,216円)及び分配準備積立金(19,769,864円)より分配対象額は22,865,806円(1万口当たり280.93円)であり、うち1,220,899円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年1月11日 至2020年3月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(731,506円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(867,367円)及び分配準備積立金(19,382,756円)より分配対象額は20,981,629円(1万口当たり275.54円)であり、うち1,142,196円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2020年5月12日 至2020年7月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,193,644円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(889,061円)及び分配準備積立金(18,943,413円)より分配対象額は22,026,118円(1万口当たり298.33円)であり、うち1,107,462円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年7月11日 至2020年9月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(2,073,863円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(956,362円)及び分配準備積立金(19,603,209円)より分配対象額は22,633,434円(1万口当たり311.95円)であり、うち1,088,303円(1万口当たり15円)を分配金額としております。</p>

	<p>（自2020年3月11日 至2020年5月11日）</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,727,057円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（878,859円）及び分配準備積立金（18,641,952円）より分配対象額は21,247,868円（1万口当たり283.61円）であり、うち1,123,775円（1万口当たり15円）を分配金額としております。</p>	<p>（自2020年9月11日 至2020年11月10日）</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（1,150,117円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（1,139,442円）及び分配準備積立金（20,404,020円）より分配対象額は22,693,579円（1万口当たり312.88円）であり、うち1,087,980円（1万口当たり15円）を分配金額としております。</p>
--	--	---

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当 期
	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	前 期	当 期
	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	2,482,629	2,141,937
合計	2,482,629	2,141,937

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

前 期	当 期
2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

当 期
自 2020年5月12日
至 2020年11月10日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.8259円 (8,259円)	0.8874円 (8,874円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益 証券	ダイワ・外債ソブリン・マザーファン ド	244,438,546	443,729,292	
	ダイワ・グローバルREIT・マザー ファンド	12,577,474	32,491,388	
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	24,091,913	64,522,961	
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	6,746,181	21,550,000	
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	13,180,482	21,507,910	
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株 マザーファンド	9,456,274	21,432,645	
	ダイワJ-REITアクティブ・マ ザーファンド	11,470,854	31,897,003	
親投資信託受益証券 合計			637,131,199	
合計			637,131,199	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」受益証券、「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」受益証券、「ダイワ北米好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」受益証券及び「ダイワ好配当日本株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの特定期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ北米好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ好配当日本株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

【成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6か月未満であるため、財務諸表は6か月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（2020年5月12日から2020年11月10日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

(1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	47,880,538	46,488,367
親投資信託受益証券	3,033,402,087	3,265,596,473
未収入金	-	3,000,000
流動資産合計	3,081,282,625	3,315,084,840
資産合計	3,081,282,625	3,315,084,840
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	14,946,834	14,433,671
未払解約金	-	785,766
未払受託者報酬	274,805	296,978
未払委託者報酬	7,145,339	7,721,969
その他未払費用	140,016	133,395
流動負債合計	22,506,994	23,371,779
負債合計	22,506,994	23,371,779
純資産の部		
元本等		
元本	1 3,736,708,513	1 3,608,417,895
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	2 677,932,882	2 316,704,834
（分配準備積立金）	273,521,282	256,636,887
元本等合計	3,058,775,631	3,291,713,061
純資産合計	3,058,775,631	3,291,713,061
負債純資産合計	3,081,282,625	3,315,084,840

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前 期 自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
営業収益		
受取利息	38	98
有価証券売買等損益	380,871,672	414,194,386
営業収益合計	380,871,634	414,194,484
営業費用		
支払利息	6,333	6,270
受託者報酬	933,718	889,913
委託者報酬	1 24,277,661	1 23,139,141
その他費用	140,034	133,647
営業費用合計	25,357,746	24,168,971
営業利益又は営業損失()	406,229,380	390,025,513
経常利益又は経常損失()	406,229,380	390,025,513
当期純利益又は当期純損失()	406,229,380	390,025,513
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	1,046,186	2,714,157
期首剰余金又は期首欠損金()	246,744,933	677,932,882
剰余金増加額又は欠損金減少額	22,957,398	21,913,306
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	22,957,398	21,913,306
剰余金減少額又は欠損金増加額	3,457,259	4,089,627
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	3,457,259	4,089,627
分配金	2 45,504,894	2 43,906,987
期末剰余金又は期末欠損金()	677,932,882	316,704,834

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	当 期	
	自 2020年5月12日	至 2020年11月10日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。	
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間末日 2020年5月10日が休日のため、前特定期間末日を2020年5月11日としております。このため、当特定期間は183日となっております。	

(貸借対照表に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
1. 1 期首元本額	4,008,085,836円	3,736,708,513円
期中追加設定元本額	27,702,752円	31,943,313円
期中一部解約元本額	299,080,075円	160,233,931円
2. 特定期間末日における受益権の総数	3,736,708,513口	3,608,417,895口
3. 2 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は677,932,882円でありま す。	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は316,704,834円でありま す。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区 分	前 期	当 期
	自 2019年11月12日 至 2020年5月11日	自 2020年5月12日 至 2020年11月10日

1. 1 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	2,375,827円	2,270,004円
2. 2 分配金の計算過程	<p>(自2019年11月12日 至2020年1月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(11,193,051円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(16,492,097円)及び分配準備積立金(292,539,291円)より分配対象額は320,224,439円(1万口当たり828.77円)であり、うち15,455,378円(1万口当たり40円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年1月11日 至2020年3月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(1,370,533円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(16,611,821円)及び分配準備積立金(281,205,824円)より分配対象額は299,188,178円(1万口当たり792.41円)であり、うち15,102,682円(1万口当たり40円)を分配金額としております。</p>	<p>(自2020年5月12日 至2020年7月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(11,701,075円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(18,151,049円)及び分配準備積立金(269,976,326円)より分配対象額は299,828,450円(1万口当たり809.86円)であり、うち14,808,893円(1万口当たり40円)を分配金額としております。</p> <p>(自2020年7月11日 至2020年9月10日)</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(9,348,989円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、投資信託約款に規定される収益調整金(18,551,259円)及び分配準備積立金(263,694,875円)より分配対象額は291,595,123円(1万口当たり795.38円)であり、うち14,664,423円(1万口当たり40円)を分配金額としております。</p>

	<p>（自2020年3月11日 至2020年5月11日）</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（24,543,413円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（17,280,744円）及び分配準備積立金（263,924,703円）より分配対象額は305,748,860円（1万口当たり818.23円）であり、うち14,946,834円（1万口当たり40円）を分配金額としております。</p>	<p>（自2020年9月11日 至2020年11月10日）</p> <p>計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額（17,453,333円）、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額（0円）、投資信託約款に規定される収益調整金（18,969,396円）及び分配準備積立金（253,617,225円）より分配対象額は290,039,954円（1万口当たり803.79円）であり、うち14,433,671円（1万口当たり40円）を分配金額としております。</p>
--	---	--

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区 分	当 期 自 2020年5月12日 至 2020年11月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2. 金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細を附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券、デリバティブ取引に投資しております。 これらの金融商品に係るリスクは、市場リスク（価格変動、為替変動、金利変動等）、信用リスク、流動性リスクであります。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。

4. 金融商品の時価等に関する事項 についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。
--------------------------------	--

金融商品の時価等に関する事項

区 分	当 期
	2020年11月10日現在
1. 金融商品の時価及び貸借対照表 計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	前 期	当 期
	2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	63,485,274	77,964,103
合計	63,485,274	77,964,103

(デリバティブ取引に関する注記)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

前 期	当 期
2020年5月11日現在	2020年11月10日現在
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

当 期
自 2020年5月12日
至 2020年11月10日

市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	前 期 2020年5月11日現在	当 期 2020年11月10日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.8186円 (8,186円)	0.9122円 (9,122円)

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種 類	銘 柄	券面総額	評価額 (円)	備考
親投資信託受益 証券	ダイワ・外債ソブリン・マザーファン ド	346,706,403	629,376,133	
	ダイワ・グローバルREIT・マザー ファンド	63,556,987	164,186,764	
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	432,822,965	1,159,186,464	
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	120,527,514	385,013,090	
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	234,746,144	383,058,757	
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株 マザーファンド	172,123,733	390,118,440	
	ダイワJ-REITアクティブ・マ ザーファンド	55,617,947	154,656,825	
親投資信託受益証券 合計			3,265,596,473	
合計			3,265,596,473	

親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドは、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」受益証券、「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」受益証券、「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」受益証券、「ダイワ北米好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」受益証券、「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」受益証券及び「ダイワ好配当日本株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、当ファンドの特定期間末日（以下、「期末日」）における同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ」-REITアクティブ・マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ北米好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

「ダイワ好配当日本株マザーファンド」の状況

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」に記載のとおりであります。

2 【ファンドの現況】

安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

【純資産額計算書】

2020年11月30日

資産総額	703,789,170円
負債総額	3,581,379円
純資産総額（ - ）	700,207,791円
発行済数量	760,454,588口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.9208円

(参考) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	21,465,395,337円
負債総額	63,022,383円
純資産総額（ - ）	21,402,372,954円
発行済数量	11,750,857,071口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.8213円

(参考) ダイワ日本国債マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	186,640,515,364円
負債総額	214,441,318円
純資産総額（ - ）	186,426,074,046円
発行済数量	147,663,841,293口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.2625円

(参考) ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	75,548,474,202円
負債総額	479,559,050円
純資産総額(-)	75,068,915,152円
発行済数量	28,742,902,193口
1単位当たり純資産額(/)	2.6117円

(参考) ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	88,030,393,648円
負債総額	1,468,142,336円
純資産総額(-)	86,562,251,312円
発行済数量	31,306,851,469口
1単位当たり純資産額(/)	2.7650円

(参考) ダイワ北米好配当株マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	3,071,704,336円
負債総額	15,241,009円
純資産総額(-)	3,056,463,327円
発行済数量	949,844,806口
1単位当たり純資産額(/)	3.2179円

(参考) ダイワ欧州好配当株マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	1,259,392,594円
負債総額	4,181,000円
純資産総額（ - ）	1,255,211,594円
発行済数量	744,640,149口
1単位当たり純資産額（ / ）	1.6857円

(参考) ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	721,646,538円
負債総額	22,254,993円
純資産総額（ - ）	699,391,545円
発行済数量	296,608,896口
1単位当たり純資産額（ / ）	2.3580円

(参考) ダイワ好配当日本株マザーファンド

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	15,330,052,336円
負債総額	49,945,819円
純資産総額（ - ）	15,280,106,517円
発行済数量	5,607,314,895口
1単位当たり純資産額（ / ）	2.7250円

インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	645,930,847円
負債総額	4,765,558円
純資産総額（ - ）	641,165,289円
発行済数量	718,042,011口
1単位当たり純資産額（ / ）	0.8929円

(参考) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ北米好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ欧州好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ好配当日本株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）

純資産額計算書

2020年11月30日

資産総額	3,307,206,803円
負債総額	14,175,142円
純資産総額（ - ）	3,293,031,661円
発行済数量	3,554,031,077口
1 単位当たり純資産額（ / ）	0.9266円

(参考) ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ北米好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ欧州好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

(参考) ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

（参考）ダイワ好配当日本株マザーファンド

前記「安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）」の記載と同じ。

第4 【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1) 名義書換えの手続き等
該当事項はありません。

(2) 受益者に対する特典
ありません。

(3) 譲渡制限の内容
譲渡制限はありません。

(4) 受益証券の再発行
受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

(5) 受益権の譲渡
受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(6) 受益権の譲渡の対抗要件
受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

(7) 受益権の再分割
委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(8) 償還金
償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

(9) 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第三部 【委託会社等の情報】

第1 【委託会社等の概況】

1 【委託会社等の概況】

a. 資本金の額

2020年11月末日現在

資本金の額 151億7,427万2,500円

発行可能株式総数 799万9,980株

発行済株式総数 260万8,525株

過去5年間ににおける資本金の額の増減：該当事項はありません。

b. 委託会社の機構

会社の意思決定機構

業務執行上重要な事項は、取締役会の決議をもって決定します。取締役は、株主総会において選任され、その任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでです。

取締役会は、4名以内の代表取締役を選定し、代表取締役は、会社を代表し、取締役会の決議にしたがい業務を執行します。

また、取締役、執行役員等から構成される経営会議は、経営全般にかかる基本的事項を審議し、決定します。経営会議は、分科会を設置し、専門的な事項についてはその権限を委ねることができます。

投資運用の意思決定機構

投資運用の意思決定機構の概要は、以下のとおりとなっています。

イ. 商品会議

ファンド設立時に経営会議の分科会である商品会議を開催し、ファンドの新規設定を決定します。

ロ. 商品担当役員

商品担当役員は、ファンド設立の趣旨に沿って、各ファンド運営上の諸方針を記載した基本計画書を決定します。

ハ. 運用会議

CIOが議長となり、原則として月1回運用会議を開催し、基本的な運用方針を決定します。

ニ. 運用部長・ファンドマネージャー

ファンドマネージャーは、基本計画書に定められた各ファンドの諸方針と運用会議で決定された基本的な運用方針にしたがって運用計画書を作成します。運用部長は、ファンドマネージャーから提示を受けた運用計画書について、基本計画書および運用会議の決定事項との整合性等を確認し、承認します。

ホ．運用審査会議、リスクマネジメント会議および経営会議

・運用審査会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用実績の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・リスクマネジメント会議

経営会議の分科会として、ファンドの運用リスクの状況・運用リスク管理等の状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

・経営会議

法令等の遵守状況についての報告を行ない、必要事項を審議・決定します。

2 【事業の内容及び営業の概況】

委託会社は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社として、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務等の関連する業務を行なっています。

2020年11月末日現在、委託会社が運用を行なっている投資信託（親投資信託を除きます。）は次のとおりです。

基本的性格	本数（本）	純資産額の合計額（百万円）
単位型株式投資信託	46	77,980
追加型株式投資信託	723	18,565,711
株式投資信託 合計	769	18,643,691
単位型公社債投資信託	41	141,526
追加型公社債投資信託	14	1,525,302
公社債投資信託 合計	55	1,666,829
総合計	824	20,310,520

3 【委託会社等の経理状況】

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）並びに同規則第38条及び第57条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、当中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）は、改正府令附則第3条第1項ただし書きにより、改正後の中間財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第61期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の財務諸表についての監査を、有限責任 あずさ監査法人により受けております。

また、第62期事業年度に係る中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

3．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(1) 【貸借対照表】

（単位:百万円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	28,489	2,741
有価証券	554	22,167
前払費用	214	205
未収委託者報酬	11,468	10,847
未収収益	98	63
その他	56	62
流動資産計	40,882	36,088
固定資産		
有形固定資産	1	217
建物	10	7
器具備品	195	209
無形固定資産	2,821	2,362

ソフトウェア	2,804	2,028
ソフトウェア仮勘定	17	333
投資その他の資産	12,799	15,844
投資有価証券	8,493	9,153
関係会社株式	1,836	3,972
出資金	183	183
長期差入保証金	1,070	1,069
繰延税金資産	1,183	1,431
その他	31	33
固定資産計	15,827	18,424
資産合計	56,709	54,512

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	75	69
未払金	8,548	7,573
未払収益分配金	15	14
未払償還金	40	39
未払手数料	4,610	3,988
その他未払金	2 3,882	2 3,530
未払費用	3,735	3,830
未払法人税等	726	656
未払消費税等	255	590
賞与引当金	725	688
その他	2	5
流動負債計	14,070	13,414
固定負債		
退職給付引当金	2,389	2,574
役員退職慰労引当金	103	88
その他	2	5
固定負債計	2,496	2,667
負債合計	16,567	16,082
純資産の部		
株主資本		

資本金	15,174	15,174
資本剰余金		
資本準備金	11,495	11,495
資本剰余金合計	11,495	11,495
利益剰余金		
利益準備金	374	374
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,052	11,749
利益剰余金合計	13,426	12,123
株主資本合計	40,096	38,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46	363
評価・換算差額等合計	46	363
純資産合計	40,142	38,430
負債・純資産合計	56,709	54,512

(2) 【損益計算書】

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	76,052	69,550
その他営業収益	673	583
営業収益計	76,725	70,134
営業費用		
支払手数料	35,789	31,120
広告宣伝費	694	745
調査費	9,066	8,858
調査費	1,057	1,188
委託調査費	8,009	7,670
委託計算費	1,351	1,410
営業雑経費	1,557	1,770
通信費	228	240
印刷費	513	524
協会費	55	56
諸会費	13	13
その他営業雑経費	746	936
営業費用計	48,459	43,906
一般管理費		

給料	5,755	5,793
役員報酬	373	374
給料・手当	4,145	4,335
賞与	510	395
賞与引当金繰入額	725	688
福利厚生費	796	838
交際費	64	62
旅費交通費	178	154
租税公課	472	451
不動産賃借料	1,291	1,299
退職給付費用	374	368
役員退職慰労引当金繰入額	34	37
固定資産減価償却費	907	925
諸経費	1,819	1,770
一般管理費計	11,693	11,702
営業利益	16,572	14,525

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31 日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	38	912
投資有価証券売却益	215	214
有価証券償還益	133	24
その他	134	78
営業外収益計	521	1,230
営業外費用		
有価証券償還損	32	71
投資有価証券売却損	40	1
その他	60	54
営業外費用計	132	127
経常利益	16,961	15,629
特別損失		
システム刷新関連費用	-	537
投資有価証券評価損	-	48
関係会社整理損失	29	-
特別損失計	29	585
税引前当期純利益	16,931	15,043
法人税、住民税及び事業税	5,076	4,555
法人税等調整額	15	78

法人税等合計	5,060	4,477
当期純利益	11,870	10,566

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,850	14,225	40,895
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	12,669	12,669	12,669
当期純利益	-	-	-	11,870	11,870	11,870
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	798	798	798
当期末残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	216	216	41,112
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	12,669
当期純利益	-	-	11,870
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	170	170	170
当期変動額合計	170	170	969
当期末残高	46	46	40,142

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	15,174	11,495	374	13,052	13,426	40,096
当期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	11,868	11,868	11,868
当期純利益	-	-	-	10,566	10,566	10,566
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	1,302	1,302	1,302
当期末残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	46	46	40,142
当期変動額			
剰余金の配当	-	-	11,868
当期純利益	-	-	10,566
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）	410	410	410
当期変動額合計	410	410	410
当期末残高	363	363	38,430

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

（1）子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

（2）その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	8～18年
器具備品	4～17年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

3．引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与についても、当社の退職金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

5．連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

6．連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(未適用の会計基準等)

1．収益認識に関する会計基準等

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）

- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)

(1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足した時に又は充足するにつれて収益を認識する。

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

2. 時価の算定に関する会計基準等

- ・「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日)
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日)
- ・「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)

(1) 概要

国際的な会計基準の定めとの比較可能性を向上させるため、「時価の算定に関する会計基準」及び「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(以下「時価算定会計基準等」という。)が開発され、時価の算定方法に関するガイダンス等が定められました。時価算定会計基準等は次の項目の時価に適用されます。

- ・「金融商品に関する会計基準」における金融商品

(2) 適用予定日

2022年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「受取配当金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の財務諸表において、「営業外収益」の「その他」に表示していた172百万円は、「受取配当金」38百万円、「その他」134百万円として組替えております。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
建物	31百万円	34百万円
器具備品	264百万円	276百万円

2 関係会社項目

関係会社に対する資産及び負債には区分掲記されたもののほか次のものがあります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
未払金	3,788百万円	3,397百万円

3 保証債務

前事業年度(2019年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,719百万円に対して保証を行っております。

当事業年度(2020年3月31日)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,603百万円に対して保証を行っております。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位:千株)

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,669	4,857	2018年 3月31日	2018年 6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2019年6月21日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	11,868百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,550円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2019年6月24日

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

（単位：千株）

	当事業年度期首 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	剰余金の配当の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	11,868	4,550	2019年 3月31日	2019年 6月24日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2020年6月23日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

剰余金の配当の総額	10,564百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,050円
基準日	2020年3月31日
効力発生日	2020年6月24日

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言・代理業などの資産運用に関する事業を行っております。資金運用については安全性の高い金融商品に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

証券投資信託に係る運用報酬の未決済額である未収委託者報酬は、運用するファンドの財産が信託されており、「投資信託及び投資法人に関する法律」、その他関係法令等により一定の制限が設けられているためリスクは極めて軽微であります。有価証券及び投資有価証券は、証券投資信託、株式であります。証券投資信託は事業推進目的で保有しており、価格変動リスク及び為替変動リスクに晒されております。株式は上場株式、非上場株式、子会社株式並びに関連会社株式を保有しており、上場株式は価格変動リスク及び発行体の信用リスクに、非上場株式、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクに晒されております。

未払手数料は証券投資信託の販売に係る代行手数料の未払額であります。その他未払金は主に連結納税の親会社へ支払う法人税の未払額であります。未払費用は主にファンド運用に係る業務を委託したこと等により発生する費用の未払額であります。これらは、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

市場リスクの管理

() 為替変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに為替変動リスク管理の検討を行っております。

() 価格変動リスクの管理

当社は、財務リスク管理規程に従い、個別の案件ごとに価格変動リスク管理の検討を行っており、定期的に時価や発行体の財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

信用リスクの管理

発行体の信用リスクは財務リスク管理規程に従い、定期的に財務状況等を把握しリスクマネジメント会議において報告を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（（注2）参照のこと）。

前事業年度（2019年3月31日）

（単位：百万円）

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		28,489	28,489	-
(2) 未収委託者報酬		11,468	11,468	-
(3) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券		8,380	8,380	-
資産計		48,338	48,338	-
(1) 未払手数料		(4,610)	(4,610)	-

(2) その他未払金	(3,882)	(3,882)	-
(3) 未払費用(*2)	(2,805)	(2,805)	-
負債計	(11,298)	(11,298)	-

(*1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

当事業年度(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	貸借対照表	計上額(*1)	時価(*1)	差額
(1) 現金・預金		2,741	2,741	-
(2) 未収委託者報酬		10,847	10,847	-
(3) 有価証券及び投資有価証券				
有価証券		21,900	21,900	-
その他有価証券		8,754	8,754	-
資産計		44,243	44,243	-
(1) 未払手数料		(3,988)	(3,988)	-
(2) その他未払金		(3,530)	(3,530)	-
(3) 未払費用(*2)		(2,889)	(2,889)	-
負債計		(10,408)	(10,408)	-

(*1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) 未払費用のうち金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金・預金、並びに(2) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、証券投資信託については、基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項(有価証券関係)をご参照下さい。

負 債

(1) 未払手数料、(2) その他未払金、並びに(3) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位:百万円)

区分	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
(1) その他有価証券 非上場株式	666	666
(2) 子会社株式及び関連会社株式 非上場株式	1,836	3,972

(3) 長期差入保証金	1,070	1,069
-------------	-------	-------

これらは、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるものであるため、時価開示の対象としておりません。

(注3) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2019年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	28,489	-	-	-
未収委託者報酬	11,468	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	554	4,284	2,227	1,227
合計	40,512	4,284	2,227	1,227

当事業年度(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	2,741	-	-	-
未収委託者報酬	10,847	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	21,900 267	- 3,463	- 1,184	- -
合計	35,756	3,463	1,184	-

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度(2019年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,836百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度(2020年3月31日)

子会社株式(貸借対照表計上額 1,944百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額 2,027百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

前事業年度(2019年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	87	55	32
(2) その他	4,991	4,712	278
小計	5,079	4,767	311
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	3,301	3,560	258
小計	3,301	3,560	258
合計	8,380	8,328	52

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

当事業年度(2020年3月31日)

	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
(1) 株式	60	55	5
(2) その他	3,004	2,772	232
小計	3,064	2,827	237
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
その他	27,589	28,354	764
小計	27,589	28,354	764
合計	30,654	31,181	526

(注) 非上場株式(貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	389	86	-
(2) その他 証券投資信託	3,517	128	40
合計	3,907	215	40

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

種類	売却額 (百万円)	売却益の合計額 (百万円)	売却損の合計額 (百万円)
(1) 株式	-	-	-
(2) その他			

証券投資信託	1,492	214	1
合計	1,492	214	1

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、該当事項はありません。

当事業年度において、証券投資信託について48百万円の減損処理を行っております。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、非積立型の確定給付制度（退職一時金制度であります）及び確定拠出制度を採用しております。

2. 確定給付制度

（1）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
退職給付債務の期首残高	2,350百万円	2,389百万円
勤務費用	158	159
退職給付の支払額	171	183
その他	52	207
退職給付債務の期末残高	2,389	2,574

（2）退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
非積立型制度の退職給付債務	2,389百万円	2,574百万円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,389	2,574
退職給付引当金	2,389	2,574

貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	2,389	2,574
-------------------------	-------	-------

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前事業年度	当事業年度
	(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
勤務費用	158百万円	159百万円
その他	41	27
確定給付制度に係る退職給付費用	199	187

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度174百万円、当事業年度181百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
	(2019年3月31日)	(2020年3月31日)
繰延税金資産		
退職給付引当金		788
	731	
システム関連費用	170	198
賞与引当金	182	177
未払事業税	141	129
出資金評価損	94	94
投資有価証券評価損	32	47
その他	240	399
繰延税金資産小計	1,592	1,835
評価性引当額	164	173
繰延税金資産合計	1,428	1,661
繰延税金負債		
連結法人間取引(譲渡 益)	159	159
その他有価証券評価差 額金	85	71
繰延税金負債合計	244	230
繰延税金資産の純額	1,183	1,431

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（2019年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

当事業年度（2020年3月31日）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

内国籍証券投資信託又は本邦顧客からの営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の子会社

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有)直接100.0	経営管理	債務保証 (注1)	1,719	-	-
子会社	Daiwa Portfolio Advisory (India) Private Ltd.	India	1,207	金融商品取引業	(所有)直接91.0	経営管理	有償減資 (注2)	3,293	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(注2) 当該子会社における株主総会決議及びインド会社法法廷の承認に基づき払戻しを受けております。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Daiwa Asset Management (Singapore) Ltd.	Singapore	133	金融商品取引業	(所有)直接100.0	経営管理	債務保証 (注)	1,603	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) シンガポール通貨庁(MAS)に対する当社からの保証状により、当該関連当事者の債務不履行、及びMASへの全ての損害等に対して保証しております。なお、債務総額は当該関連当事者の総運用資産額に応じて保証状にて定めるとおりに決定しております。

(イ) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円) (注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券㈱	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料 (注2)	19,975	未払手数料	3,400
同一の親会社をもつ会社	㈱大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入 (注3)	1,052	未払費用	173

同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,063	長期差入保証金	1,055
-------------	------------	--------	-----	--------	---	---------	-------------	-------	---------	-------

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金または出資金 (百万円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円) (注1)	科目	期末残高 (百万円) (注1)
同一の親会社をもつ会社	大和証券(株)	東京都千代田区	100,000	金融商品取引業	-	証券投資信託受益証券の募集販売	証券投資信託の代行手数料(注2)	16,953	未払手数料	2,984
同一の親会社をもつ会社	株大和総研ビジネス・イノベーション	東京都江東区	3,000	情報サービス業	-	ソフトウェアの開発	ソフトウェアの購入(注3)	1,031	未払費用	224
同一の親会社をもつ会社	大和プロパティ(株)	東京都中央区	100	不動産管理業	-	本社ビルの管理	不動産の賃借料(注4)	1,061	長期差入保証金	1,054

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2)証券投資信託の代行手数料については、証券投資信託の信託約款に定める受益者が負担する信託報酬のうち、当社が受け取る委託者報酬から代理事務に係る手数料として代行手数料を支払います。委託者報酬の配分は、両者協議のうえ合理的に決定しております。

(注3)ソフトウェアの購入については、市場の実勢価格を勘案して、その都度交渉の上、購入価格を決定しております。

(注4)差入保証金および賃借料については、近隣相場等を勘案し、交渉の上、決定しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社大和証券グループ本社（東京証券取引所、名古屋証券取引所に上場）

（1株当たり情報）

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	15,389.06円	1株当たり純資産額	14,732.52円
1株当たり当期純利益	4,550.81円	1株当たり当期純利益	4,050.66円

(注1)潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2)1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(百万円)	11,870	10,566
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間 (2020年9月30日)	
資産の部		
流動資産		
現金・預金		2,811
有価証券		12,910
未収委託者報酬		11,357
その他		360
流動資産合計		27,439
固定資産		
有形固定資産	1	226
無形固定資産		
ソフトウェア		1,720
その他		687
無形固定資産合計		2,408
投資その他の資産		
投資有価証券		10,638
関係会社株式		3,972
繰延税金資産		1,053
その他		1,286
投資その他の資産合計		16,951
固定資産合計		19,586
資産合計		47,025

(単位:百万円)

当中間会計期間
(2020年9月30日)

負債の部	
流動負債	
未払金	5,860
未払費用	3,365
未払法人税等	594
賞与引当金	571
その他	2 608
流動負債合計	11,000
固定負債	
退職給付引当金	2,609
役員退職慰労引当金	110
その他	4
固定負債合計	2,724
負債合計	13,724
純資産の部	
株主資本	
資本金	15,174
資本剰余金	
資本準備金	11,495
資本剰余金合計	11,495
利益剰余金	
利益準備金	374
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	5,784
利益剰余金合計	6,158
株主資本合計	32,828
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	472
評価・換算差額等合計	472
純資産合計	33,301
負債・純資産合計	47,025

(2)中間損益計算書

(単位:百万円)

当中間会計期間

（自 2020年4月1日

至 2020年9月30日）

営業収益		
委託者報酬		31,426
その他営業収益		214
営業収益合計		31,641
営業費用		
支払手数料		13,509
その他営業費用		5,825
営業費用合計		19,334
一般管理費	1	5,708
営業利益		6,597
営業外収益	2	239
営業外費用	3	156
経常利益		6,679
特別利益		-
特別損失		-
税引前中間純利益		6,679
法人税、住民税及び事業税		2,071
法人税等調整額		8
中間純利益		4,599

(3) 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	15,174	11,495	374	11,749	12,123	38,793
当中間期変動額						
剰余金の配当	-	-	-	10,564	10,564	10,564

中間純利益	-	-	-	4,599	4,599	4,599
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
当中間期変動額合計	-	-	-	5,965	5,965	5,965
当中間期末残高	15,174	11,495	374	5,784	6,158	32,828

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	363	363	38,430
当中間期変動額			
剰余金の配当	-	-	10,564
中間純利益	-	-	4,599
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額(純額)	836	836	836
当中間期変動額合計	836	836	5,128
当中間期末残高	472	472	33,301

注記事項

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社及び関連会社株式

移動平均法による原価法により計上しております。

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8～18年
器具備品	4～17年

（２）無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年間）に基づく定額法によっております。

３．引当金の計上基準

（１）賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

（２）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。これは、当社の退職金は、将来の昇給等による給付額の変動がなく、貢献度、能力及び実績等に応じて事業年度ごとに各人別の勤務費用が確定するためであります。また、執行役員・参与及び上席参事についても、当社の退職金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

（３）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社の役員退職慰労金規程に基づく当中間会計期間末要支給額を計上しております。

４．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

５．連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

６．連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和２年法律第８号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年３月31日）第３項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年２月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（追加情報）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年７月４日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年７月４日）第44 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	当中間会計期間 (2020年9月30日現在)
有形固定資産	316百万円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

3 保証債務

当中間会計期間(2020年9月30日現在)

子会社であるDaiwa Asset Management(Singapore)Ltd.の債務1,623百万円に対して保証を行っております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
有形固定資産	11百万円
無形固定資産	327百万円

2 営業外収益の主要項目

	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資有価証券売却益	203百万円

3 営業外費用の主要項目

	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
為替差損	63百万円
有価証券償還損	46百万円
投資有価証券売却損	33百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計期間末 株式数
発行済株式				
普通株式	2,608	-	-	2,608
合計	2,608	-	-	2,608

2. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2020年6月23日 定時株主総会	普通株式	10,564	4,050	2020年3月31日	2020年6月24日

(金融商品関係)

当中間会計期間(2020年9月30日)

金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(以下、「時価算定適用指針」という。)第26項に従い経過措置を適用した有価証券、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって中間貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額(*1)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券(1)	60			60
資産合計	60			60

（ 1 ）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、有価証券410百万円、投資有価証券9,911百万円は上記の表に含めておりません。

（ 2 ）時価をもって中間貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、コマーシャル・ペーパー、未払金及び未払費用は、短期間（ 1 年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注 1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

投資有価証券

株式は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル 1 に分類しております。なお、時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用している有価証券は、公表されている基準価格によっていることからレベルを付しておりません。保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項（有価証券関係）をご参照下さい。

（注 2）市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中の投資有価証券には含めておりません。

（単位：百万円）

区分	当中間会計期間
非上場株式等	666
子会社株式	1,944
関連会社株式	2,027

（有価証券関係）

当中間会計期間（2020年9月30日）

1．子会社株式及び関連会社株式

子会社株式（中間貸借対照表計上額 1,944百万円）及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 2,027百万円）は、市場価格がないことから、記載しておりません。

2．その他有価証券

	中間貸借対照表 計上額（百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
（ 1 ）株式	60	55	5
（ 2 ）その他	7,989	7,141	847
小計	8,049	7,196	852
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			

その他	14,833	15,006	173
小計	14,833	15,006	173
合計	22,882	22,203	679

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額 666百万円)については、市場価格がないことから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社は、資産運用に関する事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

[関連情報]

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. サービスごとの情報

単一のサービス区分の営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

内国籍投資信託又は本邦顧客からの営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
1株当たり純資産額	12,766.41円
1株当たり中間純利益	1,763.16円

(注1) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注2) 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
中間純利益(百万円)	4,599
普通株式に係る中間純利益(百万円)	4,599
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	2,608,525

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4 【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行なうこと。

委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5 【その他】

a. 定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

2020年2月17日付で、Daiwa Capital Management Silicon Valley Inc.への出資を行い、当該会社を子会社といたしました。

2020年4月1日付で、定款について次の変更をいたしました。

- ・ 商号の変更（大和アセットマネジメント株式会社に変更）

b. 訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実

訴訟事件その他委託会社に重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

第2 【その他の関係法人の概況】

1 【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称 三井住友信託銀行株式会社

資本金の額 342,037百万円（2020年3月末日現在）

事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 単位：百万円 (2020年3月 末日現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
寿証券株式会社	305	
内藤証券株式会社	3,002	
南都まぼろば証券株式会社	3,000	
ニュース証券株式会社	1,000	
野村證券株式会社	10,000	
松阪証券株式会社	100	
むさし証券株式会社	5,000	
楽天証券株式会社	7,495	
岐阜信用金庫	21,100	
株式会社きらやか銀行	22,700	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社佐賀共栄銀行	2,679	
株式会社静岡中央銀行	2,000	
湘南信用金庫	24,900	(注1)
全国信用協同組合連合会	111,875	(注2)
株式会社但馬銀行	5,481	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社東北銀行	13,233	
株式会社東和銀行	38,653	
株式会社栃木銀行	27,408	
株式会社富山第一銀行	10,182	
株式会社福岡中央銀行	4,000	
株式会社福島銀行	18,682	

ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド(香港上海銀行)	()	
---	-----	--

() 1161億247万9495香港ドル、71億9800万米ドル(香港ドル建と米ドル建の株式が発行されており、合算せずに併記しております。)

(注1) 信用金庫法に基づく金融業を営んでいます。

(注2) 協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。

<参考> 「ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド」および「ダイワ北米好配当株マザーファンド」の投資顧問会社

名称 コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

資本金の額 527千米ドル(2019年12月末日現在)

事業の内容 資産運用業務を行なっています。

<参考> 「ダイワ欧州好配当株マザーファンド」の投資顧問会社

名称 アムンディ・アイルランド・リミテッド

資本金の額 1,032,912ユーロ(2019年12月末日現在)

事業の内容 資産運用業務を行なっています。

2 【関係業務の概要】

受託会社は、信託契約の受託者であり、委託会社の指図に基づく信託財産の管理・処分、信託財産の計算等を行ないます。なお、外国における資産の保管は、その業務を行なうに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行なう場合があります。

販売会社は、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金・償還金・一部解約金の支払いに関する事務等を行ないます。

3 【資本関係】

委託会社は、寿証券株式会社の株式を185,000株所有しております。

委託会社は、むさし証券株式会社の株式を41,500株所有しております。

<再信託受託会社の概要>

名称：株式会社日本カストディ銀行

資本金の額：51,000百万円(2020年7月27日現在)

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

再信託の目的：原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

第3 【その他】

(1) 目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。

目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。

委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。

詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。

- ・委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
- ・請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
使用開始日を記載することがあります。

届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。

- ・届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
- ・届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
次の事項を記載することがあります。
- ・投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
- ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨

- ・「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。

ファンドの形態等を記載することがあります。

図案を採用することがあります。

ファンドの管理番号等を記載することがあります。

委託会社のインターネットホームページのアドレスに加え、他のインターネットのアドレス（当該アドレスをコード化した図形等も含まれます。）を掲載することがあります。

UD FONT マークおよび説明文を記載することがあります。

(2) 当ファンドは、評価機関等の評価を取得、使用する場合があります。

(3) 交付目論見書に最新の運用実績を記載することがあります。

(4) 請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。

独立監査人の監査報告書

2020年5月22日

大和アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員業 務執行社員	公認会計士	小倉 加奈子	印
--------------------	-------	--------	---

指定有限責任社員業 務執行社員	公認会計士	間瀬 友未	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員業 務執行社員	公認会計士	深井 康治	印
--------------------	-------	-------	---

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社（旧社名 大和証券投資信託委託株式会社）の2019年4月1日から2020年3月31日までの第61期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社（旧社名 大和証券投資信託委託株式会社）の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年12月11日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 英之 印**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年5月12日から2020年11月10日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年11月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年12月11日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 英之 印**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているインカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年5月12日から2020年11月10日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年11月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年12月11日

大和アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 深井 康治 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 英之 印**監査意見**

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年5月12日から2020年11月10日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）の2020年11月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、大和アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

大和アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2020年11月20日

大和アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	間瀬 友未	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	深井 康治	印

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている大和アセットマネジメント株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの第62期事業年度の中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、大和アセットマネジメント株式会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注) 2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。